

2023（R5）年度

事業報告書



BOWA SUMIRE

社会福祉法人 ボワ・すみれ福社会

目次

法人理念等	1
役員名簿	2
理事会・評議員会の開催状況	3
監事監査・苦情解決第三者委員会開催状況	7
法人本部	8
花の家（生活介護）	12
クッカ広場（就労継続支援B型）	24
かけはし（相談支援）	30
医務部門	33
栄養部門	34
運営部門	38
花の郷（生活介護）	55
支援部門	55
生産活動部門	64
医務部門	70
栄養部門	72

委員会年間総括	75
ボワ・アルモニー（経営計画より）	87
ボワ・アルモニー（就労継続支援B型）	89
ボワ・アルモニー（生活介護）	92
栄養部門	95
業務分担	98
居住支援部（ボワ・ミニヨン・クレール・あかね・ひなた・はるかぜ）	109
であい（短期入所）	111
児童支援部	113
ボワ・コンサル（児童発達支援・放課後等デイサービス）	127
ボワ・フルール（放課後等デイサービス）	130
ボワ・エール（放課後等デイサービス）	132

社会福祉法人ボワ・すみれ福社会

理念

「誰にも優しい地域社会をつくります」

経営姿勢

- ・ **職員を大切にすることを旨とします**
法人は、元気に笑顔で仕事ができるように、職員を大切にします。
- ・ **質の高い利用者支援を提供します**
法人が目指す支援は、ご利用者が望む支援を質の高さを常に意識して提供していきます。
- ・ **新たな事業に挑戦し多様な支援を提供します**
法人はニーズに応じて新しい事業や多様な支援を提供していきます。
- ・ **法人は職員と共に成長します**
法人＝職員の考えに基づき、職員の成長なくして法人の成長はない、人材育成の取り組みを行っていきます。

行動指針

- ・ **私たちは、常に熱い心と冷静な姿勢で仕事に取り組みます**
仕事に対して熱意を持ち、冷静沈着な姿勢で仕事に取り組み成果を出していきます。
- ・ **私たちは、より高度な倫理観を持ち社会的責任を自覚し誠実な行動をします**
支援者として常にご利用者の人権と自己決定を尊重し、社会的責任、役割を理解し、社会福祉法人の職員としてふさわしい行動をします。
- ・ **私たちは、法人職員として夢と希望をもって行動します**
自分たちの職場を大切に、全職員自らが夢と希望を持ちご利用者支援の仕事を行います。

社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会
理事・監事・評議員名簿

2023年6月15日～2025年6月
定時評議員会終結時、任期2年

		氏名
1	理事長	田部井眞
2	理事	鈴木一典
3	理事	守屋 和夫
4	理事	山田 都
5	理事	熊谷 春一
6	理事	畠山史郎
7	理事	角井まな
1	監事	大久保悦子
2	監事	市川健一

2021年6月13日～2025年6月
定時評議委員会終結時、任期4年

1	評議員	金子好雄
2	評議員	平本善一
3	評議員	石原正義
4	評議員	柴適
5	評議員	木下美夏
6	評議員	志村邦義
7	評議員	岩切孝光
8	評議員	稲田公明 2024年4月8日～
	評議員	小野田義之 ～2023年12月14日

2023年度 理事会・評議員会の開催状況

開催日	議案・報告事項等
<p>第1回理事会 2023年5月30日（火）</p>	<p>(1) 専決事項 (2) 決議事項 第1号議案 規程類の改定承認の件 (役員報酬規程、給与・退職金規程、育児介護休業規程、配属事業所特別手当に関する規定、有期契約職員給与退職金規定) 第2号議案 2022年度事業報告及び決算報告承認の件（監事監査報告含む） 第3号議案 評議員会召集の件 第4号議案 役員賠償責任保険契約承認の件 第5号議案 定款変更承認の件 (3) 報告事項 ① 報告事項 ・後援会総会の報告（4/18開催） ・新生活介護事業進捗報告 ・市内公園の指定管理導入について ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定 ⑦ その他</p>
<p>第1回評議員会 2023年6月15日（木）</p>	<p>(1) 決議事項 第1号議案 2022年度事業報告及び決算報告承認の件（監事監査報告含む） 第2号議案 次期役員選任の件 第3号議案 役員報酬規程改定承認の件 第4号議案 定款変更承認の件 (2) 報告事項 ① 報告事項 ・規程類改定について ・後援会総会の報告（4/18開催） ・新生活介護事業進捗報告 ・市内公園の指定管理導入について ③ 理事長の職務執行状況報告 ④ 医療的ケアなどに関する報告 ⑤ 職員の採用と退職の報告 ⑥ 運営状況報告及び活動報告 ⑦ 今後の予定</p>

	⑧ その他
第2回理事会 2023年6月15日(木)	(1) 理事長の選任
第3回理事会 2023年9月5日(火)	(1) 専決事項 (2) 決議事項 第1号議案 9月補正予算の件 第2号議案 規程類の改定承認の件 (就業規則、有期契約職員給与退職金規定、医療的ケア指針及び要綱の改定について) 第3号議案 評議員会召集の件 (3) 報告事項 ① 報告事項 ・理事長重任及び資産総額の変更登記完了 ・新生活介護事業中止報告 ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定 ⑦ その他
第2回評議員会 2023年9月14日(木)	(1) 専決事項 (2) 決議事項 第1号議案 9月補正予算の件 (3) 報告事項 ① 報告事項 ・規程類の改定承認の件 (就業規則、有期契約職員給与退職金規定、給与退職金規定改定、医療的ケア指針及び要綱の改定について) ・理事長重任及び資産総額の変更登記完了 ・新生活介護事業中止報告 ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定 ⑦ その他

<p>第 4 回理事会 2023 年 12 月 5 日（火）</p>	<p>(1) 専決報告 (2) 決議事項 第 1 号議案 12 月補正予算承認の件 第 2 号議案 規程類の改定承認の件 (職員等の出張旅費規程、海外研修規定、経理規定、有期契約職員給与・退職金規定、花の家医療的ケア要領) 第 3 号議案 定款変更の件 第 4 号議案 管理職の人事異動承認の件 第 5 号議案 評議員会召集の件 (3) 報告事項 ① 報告事項 ・法人本部・花の家町田市実地指導について ・責任者等の解任に関する取扱いについて ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定</p>
<p>第 3 回評議員会 2023 年 12 月 14 日（木）</p>	<p>(1) 専決事項 (2) 決議事項 第 1 号議案 12 月補正予算承認の件 第 2 号議案 定款変更の件 (3) 報告事項 ① 報告事項 ・管理職の人事異動について ・法人本部・花の家町田市実地指導について ・責任者等の解任に関する取扱いについて ・規定類の改定について（職員等の出張旅費規程、海外研修規定、経理規定、有期契約職員給与・退職金規定、花の家医療的ケア要領、ボワ・アルモニー運営規定の改定について） ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定</p>

<p>第 5 回理事会 2024 年 3 月 5 日 (火)</p>	<p>(1) 専決報告 (2) 決議事項 第 1 号議案 3 月補正予算について 第 2 号議案 2023 年度事業計画及び予算の承認の件 第 3 号議案 評議員選任・解任委員会の開催について (候補者の選任) 第 4 号議案 規程類の改定承認の件(短時間正規職員就業規則、有期契約職員就業規則、資格取得支援規定、運営規定) 第 5 号議案 てんかん発作時の緊急対応としての医薬品の取り扱いについて 第 6 号議案 定時評議員会召集の件 (3) 報告事項 ①報告事項 ・一般雇用主行動計画、キャリアアップ計画書 ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定</p>
<p>第 4 回評議員会 2024 年 3 月 14 日 (木)</p>	<p>(1) 専決事項 (2) 決議事項 第 1 号議案 3 月補正予算について 第 2 号議案 2024 年度事業計画及び予算の承認の件 第 3 号議案 評議員選任・解任委員会の開催について (候補者の選任) (3) 報告事項 ①報告事項 ・規程類の改定承認の件(短時間正規職員就業規則、有期契約職員就業規則、資格取得支援規定、運営規定) ・てんかん発作時の緊急対応としての医薬品の取り扱いについて ・一般雇用主行動計画、キャリアアップ計画書 ② 理事長の職務執行状況報告 ③ 医療的ケアなどに関する報告 ④ 職員の採用と退職の報告 ⑤ 運営状況報告及び活動報告 ⑥ 今後の予定</p>

監事監査の実施状況

実施日	監事名	監査項目
2023年5月29日(月)	市川 健一 大久保 悦子	法人定款第18条の規定に基づき、2022年度事業にかかわる理事の職務執行状況及び法人の財務監査

苦情解決第三者委員会

氏名	開催日
叶内 昌志 比留川 昇良	2023年9月29日(木) 2024年3月28日(水)

2023年度 法人本部 事業報告

1. 法人本部経営企画部門

(1) 目標
① 新体制での事務分担において、事務処理の正確性、速度の向上を目指します。
② ペーパーレス化をさらに進めます。
③ 職員にとって親切丁寧な本部事務を目指します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) - ① 複数担当制を4月に検討、5月から10月まで試行し適切な分担を確立します。	年度途中で勤怠管理を主に行っていた職員の退職に伴い、勤務処理、給与、請求の担当者を複数担当制にし、滞りなく業務を行うことができました。	実施しました。	
(1) - ② データ、文書等の保管方法を再検討し、検索等の時間を短縮します。	以前から決められていたフォルダの再確認や職員個々の専用フォルダで管理することで検索等の時間の短縮につながりました。	実施しました。	
(1) - ③ 本部事務と事業所での事務の分担を明確にし、事務処理の漏れ、遅れなどが発生しないようにします。	一部領収書のやり取りやジョブカンでの申請方法など各事業所と調整連絡をすることがありましたが概ね分担は明確にできました。	概ね実施しました。	
(2) - ① 人事システム等使用しているシステム内に保存しているデータはプリント保存しないようにシステムの理解促進に努めプリントを減らします。	人事大臣や給与大臣のデータの見直しを行い、最新のデータに更新し管理することができました。	実施しました。	
(2) - ② 事業所から提出されているペーパーをデータでの提出に変更していきます。	事務処理の正確性や今までの流れの部分で完全にペーパーレス化はできませんでしたが、給与処理の際に自己負担などをCSVで取り込めるようにしました。	概ね実施しました。	
(3) - ① 勤務処理、有休処理などわかりやすく取扱い資料等を作成し間違いのない処理を目指します。	勤務管理申請簿の書き方や有給休暇の管理方法など取り扱い資料を作成し、間違いのない処理ができるようにしました。	実施しました。	

<p>(3) - ② 証明書類等本部が行う事務についても事前に案内し、遅滞なく処理できるようにしました。</p>	<p>安否確認メールや経営会議等で事前にアナウンスをするようにし、遅滞なく処理できるようにしました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・運営協議会 各事業所の保護者会を対象として、理事長等が参加し、経営状況の報告をし意見交換を行い、法人経営、事業所運営に反映していきます。</p>	<p>新型コロナウイルスが5類になったことに伴い、再開することができました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・苦情解決第三者委員会 苦情解決の請求があった場合に、委員会を開催します。また、9月、3月に法人に寄せられた意見要望等に関して、外部委員と意見交換を行います。</p>	<p>2回実施しました。委員からの確かな助言をいただきました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・法人医務会議 新たな、医療的ケアに関する指針、要綱を制定し、それに基づく対象事業所における要領、マニュアルの作成を支援し、医ケア児者に対する支援が安全にできるように管理します。</p>	<p>各事業所での開催となりました。医療的ケアの指針、要領の一部改正を行い、各事業所も指針、要領の改正を行いました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>・法人衛生会議 毎月開催される、経営会議と同時開催とし労働安全衛生等に関する内容に関して意見交換等を行います。腰痛防止や労働環境点検を実施します。6月に全職員対象としたストレスチェックを実施します。</p>	<p>感染防止のため中止し、各事業所での開催となりました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>・法人栄養会議 法人全体の栄養調理に関する内容について必要に応じて開催します。</p>	<p>開催しませんでした。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	

<p>・法人感染症等防止委員会（旧法人安全衛生委員会） 感染症防止対応、食中毒防止対応等の各事業所の実施状況の管理及び運用支援を行います。また、法人として統一した対応についての整理等を行います。</p>	<p>毎月開催の経営会議にて感染状況を共有し各事業所の感染対策の徹底を図りました。</p>	<p>概ね実施しました。</p>	
<p>・法人虐待防止委員会 事業所ごとの虐待防止委員会の運営を支援し、研修等の実施に関して管理を行います。10月を虐待防止強化月間として、集中的に虐待防止等に取り組みます。</p>	<p>各事業所の虐待防止委員会の議事録の確認及び12月に虐待防止チェックリストを配信し集計を行い1月の経営会議で確認し各事業所で虐待防止に努めるように取り組みました。</p>	<p>概ね実施しました。</p>	
<p>・法人身体拘束等適正化委員会 事業所ごとの身体拘束等適正化委員会の運営を支援し、研修等の実施に関して管理を行います。</p>	<p>各事業所の運営状況を確認し、適切に実施できるように確認作業を行いました。</p>	<p>概ね実施しました。</p>	
<p>・法人広報委員会 年4回の広報誌を発行します。</p>	<p>年4回発行することができました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・法人防災委員会 BCPの作成管理、事業所ごとに作成するBCPを法人防災委員会で作成の支援、シミュレーション訓練の実施、法人としての統一した対応等を管理します。 無線電話通話訓練、安否確認メールの送信及び返信訓練の実施。夜間参集訓練の実施。</p>	<p>BCPの作成は完了しませんでした。シミュレーション訓練も感染防止のため実施しませんでした。無線電話訓練は実施。夜間参集訓練も未実施です。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>・管理者評価 9月上旬に評価用紙を配布し、評価を行います。評価結果は、理事会・評議員会に報告します。</p>	<p>実施し、必要に応じて管理者指導を行いました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・災害対応マニュアル見直し 7・8月にマニュアル見直し作業を実施します。修正分は9月に配布します。</p>	<p>本年度の修正要望はなく、改定しませんでした。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	

<p>・職員満足度調査の実施 9月に実施します。昨年度実施結果と比較して改善点を見つけ出し、次年度の計画に反映させます。</p>	<p>9月末に実施し、結果は職員に開示しました。経営会議では結果についての共有を行いました。</p>	<p>概ね実施しました。</p>	
<p>・社内報の発行 法人の情報伝達を目的として、適宜発行します。</p>	<p>1回発行しました。</p>	<p>実施しました。</p>	
<p>・法人研修（外部・内部研修） ① 参加職員の意識向上と、知り得た情報を共有し法人の発展につなげます。 ② 法人連等の主催する研修への参加をします。</p>	<p>感染予防の観点から主にオンラインでの参加になりましたが、感染防止対策をしたうえで、徐々に対面での研修に参加するような取り組みも再開することができました。</p>	<p>概ね実施しました。</p>	
<p>・法人表彰式の開催 当法人および各施設において長年貢献された方などを対象として、表彰を行います。</p>	<p>感染防止のため開催は、対象事業で実施となりました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>・町田市社会福祉法人施設等連絡会への参加 引き続き参加し、町田市の福祉の向上のために役割を果たしていきます。</p>	<p>昨年度より理事長が代表を務めています。また、今年度町田市障がい者自立支援研究・研修会を設立しました。</p>	<p>実施しました。</p>	

2023年度 ニーズセンター花の家 年間総括

1. 生活介護「花の家」

【支援全体】

(1) 目標 「花の家では、ご利用者やご家族、地域の多様なニーズに対し、以下の視点から高い専門性を持った支援を提供します」
①（支援）ご利用者一人ひとりの状態像や想いに寄り添った支援を提供します。
②（活動）活動の充実を図り、豊かな経験と彩りある生活を支援します。
③（健康）専門職や関係機関と連携しながら健康生活を支援します。
④（職員）質の高い支援、サービスを提供する為、職員育成（資質向上と専門性の習得）を図ります。
⑤（安全）リスク管理を徹底し、ご利用者が安心して過ごせる環境を整えます。
⑥（地域）開かれた施設運営を通し、地域福祉の発展に貢献します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 ご本人のニーズやご家庭の想い、年齢や状態等を加味した上でAからGの7グループ編成として環境を整え、その人らしい成長を支援します。	・各グループ、部署において、個人毎のアセスメント、ニーズに基づく計画に沿った支援を行えています。 しかし、支援方法がマンネリ化していたり、新たな取り組みや支援を深めることはできていませんでした。	実施できました。	
①-2 <支援における5つの柱>①人権擁護・不適切な関りや虐待の防止②生活支援（ADLの向上、自立生活に向けた取り組み等）③活動支援（作業及び療育活動を通じた成長を支援）④健康支援（医療的な支援、栄養と食生活支援）⑤コミュニケーション支援・人間関係形成への取り組みに基づき、多角的な観点から、ご利用者の生活が豊かになるよう支援します。	・上述のように、計画に基づく支援や活動提供はできていたものの、改めて<支援における5つの柱>を意識する機会はなく、支援や日常業務がルーチンワーク（定型業務）化していたように思います。	実施しましたが到達しませんでした。	
①-3 多くの人との関わりを通し、集団の中の一人ひとりの役割や力が発揮されるように支援します。	・例えば、グループの朝礼での挨拶（日直）、給食を事務所まで運ぶ等、係りを決めて取り組んでもらうことで、ご本人達のやる気や達成感、成長に繋げることができました。	実施できました。	

<p>①ー４施設内の相談支援事業や地域の障がい者支援センターを中心とした関係機関と連携を図りながら、家庭を含めた総合的な支援を行います。</p>	<p>・相談支援事業所との連携が一般化されてきており、花の家が担うこと、範囲を超えて相談支援や地域支援センターが担うこと等を分担、共有しながら支援に当たる事例が増えてきている。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①ー５研修等を通じて職員の人権意識を高め、虐待が疑われる関わりや不適切な関わりを撲滅に努めます。</p>	<p>・ご利用者への支援方法を巡ってなかなか改善が図れず、保護者との疎通が適切に図れなかったことからご利用者の尿で濡れたＴシャツをドライヤーで乾かそうとして皮膚が火傷様になってしまう虐待事案が発生してしまいました。その後、保護者への説明会やアンケート、研修、識者による施設、活動見学会の実施等を行う等、虐待や不適切支援の再発防止に努めました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	
<p>②ー１＜活動における５つの柱＞ ①)生産活動（園芸、陶芸、販売活動等） ②療育活動（音楽、調理、創作、ムーブメント、スヌーズレン、生活等） ③健康への取組（リハビリ、体操、体づくり、散歩等） ④社会活動・余暇活動（外出、レクリエーション、社会貢献活動等） ⑤個別活動（プール、ヘアカット、パソコン操作等）に基づき、多角的な観点から、ご利用者の生活が豊かになるよう支援します。</p>	<p>・上述のように、計画に基づく支援や活動提供はできていたものの、改めて＜支援における５つの柱＞を意識する機会はなく、支援や日常業務がルーチンワーク（定型業務）化していたように思います。</p> <p>※記述</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②ー２ ニーズがあるご利用者に対し、入浴支援を行います（週１回）。</p>	<p>・ご利用者からの要望に基づき、週１回実施しました。入浴リフトの使い方等の研修会も実施し、安全な支援が提供できるように努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>②-3 補足的な支援として、通所時間外の支援（日中一時支援）、保護者による通院が困難な場合の付添い、入浴（週1回）サービスを提供します。</p>	<p>・ 規程に基づくレスパイト支援を実施しました。 コロナ感染が流行して以降、17時以降の送迎を中止した為、利用希望は激減し、毎月3、4回程度の利用に留まっています。 基本的には特定のご利用者が利用することが多いですが、時々色々なご利用者も利用していることを考えると事業の意義はあるものと考えます。</p>	<p>実施してきました。</p>	
<p>②-4 2022年度に取り組んだ<専門性PT>を発展的に解消し、新たに立ち上げる<ICT推進委員会>が中心となって、支援等におけるICTの活用に取り組んでいます。</p>	<p>・ ICTの専門家(CIAO田中様)と契約し、月2回巡回指導と勉強会等を実施しました。 陶芸や園芸作業で利用できる支援機器を製作してもらったり、個別支援に関する相談に乗っていただきました。</p>		
<p>③-1 ご利用者の状態、体調等を配慮した活動プログラムを提供し、生活リズムを整えます。</p>	<p>・ 基本的には毎日同じリズムで生活を過ごすことで健康状態の安定を図っています。 体調に配慮が必要な人、場合には、個別の事情に配慮して過ごし方を工夫しました。</p>	<p>実施してきました。</p>	
<p>③-2 看護師や嘱託医（内科、小児科、歯科）、訓練士等の専門職や地域の医療機関等と連携しながら、健康を支援します。</p>	<p>・ 各職種の専門性を活かしながら、計画通りの支援を実施できました。 特にPTの関わり方については記録の仕方を変更し、より具体的、継続的な関わりができるようにしていただきました。</p>	<p>実施してきました。</p>	

<p>③-3 一人ひとりに合った食事形態や環境の提供と喫食状況の把握をし、安心、安全で楽しく食事ができるよう支援します。</p>	<p>・年3回実施する歯科医師による摂食評価、指導等の機会を利用しながら、一人一人に合った食事形態と介助方法にて食事を提供している。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-4 花の家「医療的ケア要領」に基づき、医療的ケアを必要とされる方に対し、安心と安全が保たれた質の高い支援を提供します。</p>	<p>・昨年度刷新された医療的ケア要領に基づき、各人の手続きを行っています。 各ご利用者の主治医から、具体的な指示をいただけることで看護師や支援者が安心して安全な支援を提供できています。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-1 研修等を通じて必要な知識や専門性、高い技術を身につけ、適切な支援ができるよう努めます。</p>	<p>・研修委員会が中心となり、職員研修を計画、実施、受講の推奨を行っています。 外部研修を受講した職員が内部で講師として報告研修を行う等、研修内容を広く職員全体で共有するように配慮しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-2 外部研修や学習会等で得た知識や情報を職員間で共有し、支援現場で活かしていきます。</p>	<p>・研修委員会が中心となり、職員研修を計画、実施、受講の推奨を行っています。 外部研修を受講した職員が内部で講師として報告研修を行う等、研修内容を広く職員全体で共有するように配慮しました。 ※同上</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>研修を受講した内容がきちんと身につけて、実践できているかどうかの確認作業が今後必要と考えられます。</p>

<p>④-3 法人の身人事制度に基づく研修制度と育成面談等の仕組みを活用し、職員にとって「働きやすく、且つ働きがいのある職場」を目指して取り組んでいきます。</p>	<p>・新人事制度では管理者から期待される像や目標に関するメッセージを伝える機会にはなりましたが、職員自身の働きやすさや働き甲斐に関する聞き取りが十分できなかったように思います。 職員間のコミュニケーションを高めようと企画も考えましたが（任意のコミュニケーション広場や運動（卓球））、実施には至りませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-4 職員が安心して働けるよう、「心の健康づくり計画」に基づくメンタルヘルスの取り組みを進めていきます。</p>	<p>・法人で毎年定期的に行っているメンタルヘルスチェックとアフターフォローの他、メンタルヘルスを担当する主任が各グループ会議の中でメンタルヘルスに関する講習を実施する等の取り組みを行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-5 新たに策定された「ハラスメント規程」に基づき、研修や啓蒙を通じてハラスメントのない職場作りを目指します。</p>	<p>・定期的に行っているグループ会議において、eラーニングを利用してハラスメント防止に関する研修を職員全員で受講しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-1 避難訓練、応急救護訓練、防災教育等の訓練を継続して実施します。</p>	<p>9月と2月に計画通りの避難訓練、初期消火訓練、応急救護訓練を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>⑤-2 防災訓練（内容）のバリエーションを増やし、いろいろな状況に合わせて避難行動がとれるように訓練していきます。</p>	<p>・計画とは異なりましたが、避難訓練の内容や避難経路等についてバリエーションを増やすより、ご利用者がしっかり覚えてもらえるよう同じ経路での避難訓練を実施しました。訓練中ふざける者もおらず、避難の際の決まった行動が身に付いてきたように思います。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-3 近隣の福祉施設（藕絲館）や町内会（桜美林台、もみじ台）と連携した防災訓練を実施します。</p>	<p>・昨年度に引き続き、2月に行った避難訓練は近隣の施設ぐうし館や桜美林台町内会の役員も参加して合同で行いました。</p>	<p>着手できませんでした。</p>	
<p>⑤-4 BCP（事業継続）を策定し、計画に基づいた訓練を実施します。</p>	<p>・BCPについて、感染症及び自然災害時の2計画を策定。訓練の実施には至らなかったため、次年度に必ず実施します。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>⑤-5 研修の実施や警察などと連携を図りながら、防犯への意識づけを行います。</p>	<p>・昨年度に警察官による防犯研修を実施しましたが、今年度は特に同様の研修は設定しませんでした。防犯に関する行政や警察等からの情報提供や注意喚起もなかったこともあり、施設内での周知や啓蒙は行いませんでした。</p>	<p>着手しましたが達成できませんでした。</p>	<p>行政や警察等からの情報提供や注意喚起がなくとも防犯に関する意識づけは何らかの方法で必ず毎年行うようにする。</p>

<p>⑤ー6 新型コロナウイルスやインフルエンザ等への感染予防策として、手洗いうがいの励行、換気、3密の回避、マスク着用等を徹底し、安全で安心して過ごせる施設環境を整えます。</p>	<p>・ワクチン接種や抗原検査の実施を含め、計画に基づく感染症対策を行うことができました。</p> <p>新型コロナウイルスについては5月8日に国が感染症分類を2類から5類（インフルエンザと同様）に変更しましたが、花の家では基本的な予防策は継続させ感染の予防に努めました。</p> <p>以降、コロナの感染状況を鑑みつつ、少しずつ予防策のレベルを緩和させましたら、施設内で感染が広がることはありませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤ー7 新たに策定された「感染症と食中毒の発生と蔓延防止の為の指針」に基づく研修と啓蒙を通じて、保健衛生の更なる徹底を図ります。</p>	<p>・例年通り、手洗いチェッカーを利用した手洗い実習やノロキットを使用する吐瀉物等の処理研修を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑥ー1 小中高等学校、専門学校、大学等の教育機関と連携を図りながら、実習やボランティアの受け入れを行い、福祉教育や後進育成、進路選択、資格取得等を支援します。</p>	<p>・実習生には毎回抗原検査を実施する等の感染予防を徹底した上で、介護福祉士や社会福祉士、保育士、公認心理師等の実習受け入れを行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑥ー2 施設開放や各種講座の開催等を通じ、地域住民の福祉向上に協力する。</p>	<p>・昨年度までコロナ感染予防の為に施設貸出等は休止していましたが、今年度から施設貸出や各種講座の開催を再開しています。</p> <p>ただ、施設貸出についてはHP等を利用して宣伝してはなかった為、申し出は1件のみでした。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>⑥-3 大規模災害発生時に、地域の福祉避難所としての役割を担っていきます。医療的ケアが必要とする方も安心して利用できるよう防災備蓄品等の拡充に努めます。</p>	<p>・町田市二次避難所としての準備は整えています（一日300食×3日分の備蓄食等）。その他、医療的ケアが必要な方を想定した電源を使わない吸引機等の設置も行っています。今年度の半ばに防災備蓄食を3日分から7日分に拡充させる方向性が示されましたが、場所や予算等の兼ね合いもあり、年度内の拡充はできませんでした。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	<p>・次年度には備蓄食を1.5倍に増量し、次年度内に7日分に拡充する為の場所や内容等について検討することとしています。</p>
---	--	--------------------	--

【Aグループ】

<p>(1) 目標「日々、変化のある生活を作り出す工夫を大切に支援します。」</p>
<p>① ご本人らしさが表現できるように配慮した関わりを意識した支援を提供します。</p>
<p>② 社会資源を活用することで、日中活動が「楽しい・うれしい・ドキドキする・満足・ほっとする体験を大切にします。</p>
<p>③ 生活リズムを整え健康維持に努めるとともに、個別性のある質の高いケアを提供します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 活動や余暇時間等の中で、役割を持つことができる関わりを行います。また、一人ひとりがどのようなことに興味・関心を抱いているかを日々の生活から見つけ出し、自分自身で行おうとする意思やサインを見つけ、支援に繋がります。</p>	<p>活動時の号令・準備、日用品の補充など、各自の役割を考え、随時設定しました。また、ご本人が興味を示す事柄を見つけられるよう、随時声掛けや表情の観察を行いました。全員のはっきりとした意思を確認することはできませんでしたが、常に観察して考え続けることで、内容により表情が異なるなど、意思表示の理解に繋げることができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>意思を理解できるように、常に声掛け、観察を行います。</p>
<p>①-2 安定した心休まる生活環境に配慮します。</p>	<p>連絡帳やご本人の様子から、ご利用者一人ひとりの情緒面や体調を理解し、体を休ませながら活動を行ったり、早めに切り上げるなど、気持ちが休まる生活環境を整えました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>②-1 感染症対策に配慮しながら、ボランティアや実習生等の幅広い人たちと触れ合う機会を設けます。</p>	<p>実習前の抗原検査を徹底しつつ、学生の実習生等を受け入れました。職員とは違った声掛けをするなど、実習生がグループに入ることで普段と違う雰囲気を味わうことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-2 タブレットやスイッチ等の機器を導入し、新しい活動に取り組みます。</p>	<p>新しい活動の実施はできませんでしたが、今年度からIICT委員会を発足し、既存の活動の中でスイッチやセンサーを駆使したICT機器を導入しました。始めたばかりということもあり、ご利用者の積極性を引き出すまでには至りませんでした。ご利用者と共に今後の活動方法を考える良い機会となりました。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分でした。</p>	<p>ICT機器を活用し、ご利用者が取り組みやすく、分かりやすい活動を模索します。</p>
<p>③-1 ご家庭と情報共有を行いながら健康状態を把握し、心身ともに安定して過ごせるよう、医療職と連携を図りながら健康支援の充実に努めます。</p>	<p>ご家庭や看護師、嘱託医や他事業所等の関係者と情報共有を行い、ご利用者の体調に合わせて休む時間や食事時間を調整しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 ケアの基礎の観察力をしっかり持ち、根拠のある支援を行います。</p>	<p>新たな職員への引き継ぎ、医療的ケアの第三号研修、看護師との連携等を常時実施し、グループ職員全員が適切な支援を実施できるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	

【BCDグループ】

<p>(1) 目標「多種多様で豊富な活動と社会との繋がりを大切にし、ご利用者・ご家族の笑顔溢れる支援を提供します」</p>
<p>① 様々な活動を提供し、ご利用者の笑顔を引き出します。</p>
<p>② 地域交流や集団生活を通し、自主性と社会との繋がりを大切にします。</p>
<p>③ ご家庭のニーズ等を把握し、地域における自立を支援します。</p>

<p>(2) 計画</p>	<p>実施状況</p>	<p>評価</p>	<p>今後の課題</p>
---------------	-------------	-----------	--------------

<p>①-1 楽しみと社会性の双方が培われるよう、活動と作業を随時行います。</p>	<p>トランポリンやスヌーズレン、音楽などの『活動』と、リサイクルや園芸・陶芸などの『作業』を随時設定し、ご利用者が選択できるように努めました。時には他グループ間で連携し、作業ニーズのあるご利用者が仕事に取り組めるように配慮しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-2 新たな内容を模索・実施し、常に高揚感が味わえるよう支援します。</p>	<p>活動内容や提供方法などについて田中アドバイザーに相談を始めました。よりご利用者目線で支援が提供できるよう検討中です。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>①-3 他グループとの活動共有を図ります。</p>	<p>安全衛生委員会にて感染症対策を継続検討をしていますが、5月よりご利用者同士の距離感や環境整備に十分配慮しながら活動共有を再開しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>②-1 ご利用者のできることを把握し、ご利用者が意識的に行動に移せるよう支援します。</p>	<p>活動準備や食事の片付け、送迎の乗車確認など、個々でできることを見つけ、それに合わせた声掛け等を行いました。声掛け等に合わせ、各ご利用者も積極的に行動する様子が見られました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-2 集団生活の中で周囲のことを意識した行動ができるよう支援します。</p>	<p>ご利用者自身が周囲のことを考え、配慮できるよう、常に支援者が間に入り、声を掛けました。ご利用者によっては理解している行動も多く、周囲を気にしている様子が伺えました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>②-3 安全に配慮した中で地域交流や外出を行い、周囲と関わる機会を豊富に作ります。</p>	<p>世間に感染症の動向や外出先の混雑状況等を勘案しながら、外出の機会が増えるよう企画を積極的に行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>②-4 職員との繋がりを大切に、適切な関係のなかで距離が縮まるよう支援します。</p>	<p>職員との関係が適切に保たれるよう、言葉遣いや身体拘束などについて、職員全体に随時研修を行いました。職員によっては、時折、適切でない言葉遣いが見られましたが、ほとんどの職員が昨年度よりも言動に注意した支援が行えました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>③-1 社会資源の活用により、自立に向けて支援します。</p>	<p>相談支援かけはしと連携し合い、個々のご利用者・ご家庭に合った社会資源の情報を提供しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 家庭環境を把握・理解し、各ご家庭に寄り添った支援を行います。</p>	<p>各ご家庭の状況を把握し、通院同行や送迎の調整、レスパイトなど、ご家族のご要望にできる限り応えられるよう支援しました。</p>	<p>実施できました。</p>	

【EFGグループ】

<p>(1) 目標「一人ひとりの障がい特性に合わせ活動提供し、自分の力を存分に発揮できるよう支援します」</p>
<p>① 個々のニーズや得意なことを活動や生活面に取り入れ、持てる力を発揮できるように支援します。</p>
<p>② 地域との繋がりを大切に活動を行います。</p>
<p>③ ご家庭やグループホームと連携しながら健康で安定した生活を支援します。</p>
<p>④ レクリエーションを充実させることで心身のリフレッシュの機会を持ち、日々の活動に取り組む意欲につながるようにします。</p>
<p>⑤ 職員の障がいへの知識・理解が共有、向上できるよう目指します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 他グループと活動共有をしながら、個々の興味や状態に合った活動提供をします。</p>	<p>EFGグループで活動共有を行いました。 ご利用者の状態や特性に合わせて、個々に配慮できる活動提供をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>①-2 作業を含めた活動や生活の中で、ご本人が行えることの幅を広げながら、一人一人の力が発揮できるよう支援します。</p>	<p>ご利用者一人ひとり、「できることは自身でやる」を支援の基本理念とし、日々の声掛けや関りを徹底しました。それにより、少しずつではありますが、できることが増えたご利用者もいました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-1 施設外での活動（リース等納品やビラ配り、出張販売等の作業や買い物など）に取り組むことで、地域の方々と触れ合う機会を設け、社会参加につなげていきます。</p>	<p>リースや納品、買い物など施設外での活動を行いました。活動の回数を重ねていくことで、社会との繋がりを感じている様子でした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-1 ご家庭・グループホームや医務と情報を共有しながら、体調把握に努めます。</p>	<p>怪我や体調不良時には、ご家庭・グループホームへの連絡や医務と情報共有を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 日々のバイタルチェック及び月1回の体重測定を行い、健康状態の把握に努めます。</p>	<p>毎日の検温、バイタルチェックを行いました。また、月1回の体重測定を行い健康状態の把握に努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-1 心身のリフレッシュや日々の意欲に繋がるイベントを企画し、実施します。</p>	<p>各グループとも月一回はイベントを行いました。ご利用者それぞれが楽しみにされ、充実した日々を過ごされました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-2 ご利用者が楽しみながら参加できる運動プログラムの充実に努めます。</p>	<p>体操やトランポリンでは、音楽に合わせて身体を動かし、ご利用者も笑顔で参加していました。また、体づくりではストレッチを中心に行い、少しずつ可動域が広がっている様子がありました。</p>	<p>実施できました。</p>	

⑤-1 情報共有のさらなる向上と研修への積極的参加が出来るよう努めます。	「強度行動障がい」「摂食」「ダウン症」「虐待防止」などの研修への参加を促し、多くの職員が受講しました。	実施できました。	
--------------------------------------	---	----------	--

2. クッカ広場

【全体】

(1) 目標「ご利用者が充実した社会生活を継続的に送れるよう、個々のライフステージやニーズに応じた就労支援・生活支援を行います」
① 事業収入(売上)1,660万円を達成し、工賃向上につなげます。
② ご利用者一人ひとりの状態像に適正に応じた就労・生活支援を行います。
③ 心身ともに安全、安心して過ごせる環境を整えます。
④ 求められる質の高い支援とサービスの提供を目指し職員育成に努めます。
⑤ 地域に必要とされる施設をめざします。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 リサイクル事業では、「飽きの来ないショップづくり」をモットーに適宜セールを開催し商品を入れ替えたり、お客様に楽しんでいただける企画を適時開催し、売上1,200万円を達成します。	飽きの来ない店づくりを基本に、4月・6月・8月・12月・3月にリサイクル全品半額セールを行い商品の入れ替えをしました。セールのない月にはスカート、ズボン10円やマフラー、帽子50円企画・300円割引企画、衣類単独半額セールなどの企画を適宜実施しお客様から好評を得ることができ、売り上げの向上につなげることができました。店舗売り上げ13,979,960円、その他の収入56,500円、合計売上14,036,460円となりました。	実施できました。	

<p>①-2 ガーデン事業では、草花・観葉のショップ販売を中心にショップPRを兼ねて出張販売や外売りに力を入れ、売り上げ250万円を達成します。</p>	<p>お客様に喜んでいただけるように店舗での季節の草花や観葉植物の販売を行いました。また、「しょうぶ、あじさい祭り」や「ずしまちいち」「忠生スポーツ公園オープニングイベント」「ECO+フェスタ」「プール祭り」等に積極的に参加し、ドライフラワーや植物の販売を行い増収に努めるとともに花の家クッカ広場の宣伝活動を行い、新規顧客の確保に努めました。新型コロナウイルスやインフルエンザの影響で予定していたイベントが実施されないものもありましたが、店舗売り上げ2,203,748円、その他の収入45,840円、合計売り上げ2,249,588円となりました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>売り上げ増収を目指し、店舗での販売方法を検討していきます。</p>
<p>①-3 受注事業では、花壇管理、除草・観葉リース・施設清掃などの定期契約作業を継続し安定した収入を得るとともに、分別作業などの下請け作業では作業効率を上げ納品回数を増やし、収入180万円を達成します。</p>	<p>5月に町田市の小学校3校に学習教材として使用する花苗や資材の納品、町田市の小山田児童公園の花壇撤去・植え付を行いその後も毎月水やりや清掃の花壇管理を行いました。毎月の観葉リースが3件と隔月の観葉リース1件を行いました。日々CD仕分け作業を行いました。ご利用者への作業の割り振りや、作業場所を工夫しながら技術の向上を図り、作業ペースを上げ納品回数を増やすことができました。4月から花の家除草作業に着手し、計9回実施しました。また、10月から花の家清掃作業に着手し、着手時期が遅くなりましたが3月には予定の場所すべてを完了することができました。2月には封入作業も行い、いつもとは違う作業を行うことで作業意欲の向上を図ることができました。年間収入は1,899,424円となりました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>①-4 季節販売品として11月から3月まで焼き芋販売を実施し、売上30万円を達成します。</p>	<p>11月から翌年3月に毎年お客様に好評の紅はるかの焼き芋を販売しました。温度変化が大きかったこともあり、日々の売れ行きにむらが多く見られました。去年は仕入の時期が遅くなったこともあり、売り上げは269,480円となりました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>②-1 モニタリングやアセスメント面談を6ヶ月毎に行うとともに、必要に応じて面談を行い、ご利用者の状態像変化や生活環境の変化を把握し、ご本人のニーズや課題を整理し支援計画書を作成し支援します。</p>	<p>9月・2月に支援計画の振り返りをご利用者とともにいき目標の達成度を確認しました。また状態像の変化や新たなニーズや課題を把握し、職員間で情報共有し、今後の支援につなげていくことを話し合いました。11月～12月にコロナ禍で実施できなかったご家族面談を行い、ご家族の要望や意見を確認しました。より支援の状況をわかりやすくするために2月の振り返りや次年度の個別支援計画の書式を変更しました。必要に応じて個別の面談や話し合いを積極的に行いよりよい支援につなげられるよう努力しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-2 職場でのあいさつの習慣化やコミュニケーションの回り方、身だしなみへの意識づけなど、社会性が学べるよう支援します。</p>	<p>日々積極的に職員から挨拶や声掛けを行いました。何気ない話を日常の中で行うことでご利用者とのよりよい関係性を築き社会性が学べるように努めました。納品時の挨拶や、店舗でのお客様への声掛けがしっかりできるご利用者が増えました。衣服やマスクの乱れや汚れなどが見られた際にはその場で伝え正していただくことで身だしなみに対する意識の向上が見られました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>③-1 医務部門と連携し、体調変化の早期発見・対応に努めるとともに健康診断、歯科検診を実施します。また、精神的安定が図れるように相談しやすい環境づくりに努めます。</p>	<p>医務と連携し7月に健康診断、11月町田市口腔保健センターによる歯科検診を実施しました。日常的に来所時の顔色や行動の変化を見逃さないよう観察しました。不調が見られたりや不調の訴えがあった際には状態を確認し、必要に応じて医務に連絡を取り対応、対処しました。精神的に不安定になるご利用者や面談を希望するご利用者には随時面談を行い精神的安定を図りました。クッカ広場での多きなケガや不調はありませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 防災訓練・避難訓練・応急救護訓練・防犯訓練を実施し、様々な状況に合わせて安全な対応・行動・誘導が出来るようにします。</p>	<p>9月に地震を想定した避難訓練を行いました。2月には近隣福祉施設との合同防災訓練を行い避難経路、避難行動を確認するとともに緊急時に必要な想定洗い出しや災害時の対応を学びました。繰り返し訓練を行うことで地震発生の声掛けにすぐに机の下に入る、頭をかごで覆うなどの状況にあわせた身を守る行動を取り、スムーズに避難することができました。3月には職員対象で応急救護訓練を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>③-3 ノロウイルス研修をはじめ様々な感染症や食中毒に関する知識を深め感染症対策を徹底し、蔓延防止に努めます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に変更後も、日々感染症対策を徹底しました。手洗い、マスクの着用はもとより、ご利用者の作業場等の消毒、換気、朝の検温、分散活動を継続しました。店舗ではお客様にマスクの着用、入店前の手指消毒にご協力いただき、常時換気を行い、使用後の買い物カゴの消毒、感染症対策協力のアナウンスを行いました。また、職員は週2回の抗原検査を実施し、体調不良の状態によりご利用者の抗原検査も行いました。2月に「感染症対策」の研修を実施し感染症に対する知識を深めました。ご利用者、職員数人の方にコロナの家庭内感染がありましたが、その後適切な感染症対策を行うことで拡大することはありませんでした。インフルエンザやノロウイルスの感染者はありませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-1 新人事制度に基づく研修や外部研修を通じて必要な知識や技術・専門性を身につけ、質の高い支援をめざします。研修等で得た知識や技術、情報を全職員間で共有し、よりよいチーム支援につなげます。</p>	<p>毎月、虐待防止及び身体拘束適正化委員会を行い支援の振り返りを行うことで不適切支援をなくし、質の高い支援が行えるよう努めました。7月に外部より有識者を招き「障がい者虐待防止・身体拘束適正化研修」全職員で実施しました。現場に直結する話を聞くことができ改めて虐待や身体拘束が身近で起こることを実感しました。研修後には職員間でディスカッションを行い研修で得た知識を深め共有し、3か月後に振り返りを行いました。10月・11月には強度行動障害研修に参加するなど積極的に知識や技術の向上に努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>④-2 メンタルヘルスへの取り組みやハラスメントのない環境づくりに努め職員が安心して働き、成長できる職場を目指します。</p>	<p>日々、明るく話しやすい環境づくりに努めました。7月にハラスメント研修、9月にメンタルヘルス研修を行い。ハラスメントの起こる過程や自身の精神を健全に保つための工夫を学びました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>⑤-1 各種教育機関や関係機関からの実習・見学や地域住民ボランティアの受け入れを行います。</p>	<p>一年を通じて社会福祉士、公認心理士、保育士等の実習を受けるとともに町田の丘学園や町田市ない中学生の職場体験・地域小学校の見学の受け入れを行いました。店舗商品の入れ替えの際にはボランティアを希望する地域住民の方の受け入れを行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-2 ショップを通じて地域住民との交流を深めるとともにショップに関するアンケートの実施や地域農家の野菜販売を検討し、開かれた施設運営を行います。</p>	<p>ご家庭での不用品の受け取りや、リサイクル、ガーデン商品の販売を通じてご利用者とともに地域の方々と交流することができました。「家庭の不用品の受け取りはありがたい。楽しい、気分転換になる」等の声をいただき喜んでいただくことができました。また、地域のイベントに積極的に参加しました。ショップに関するアンケートを予定していましたが実施するには至りませんでした。地域農家の野菜販売についてはベジハブでの野菜販売に向け話し合いをしましたが実施には至らず、地域農家の野菜販売については現状維持となりました。</p>	<p>実施しましたが結果不十分でした。</p>	<p>次年度、ベジハブの野菜販売に向け検討を継続します。</p>

<p>⑤-2 地域の福祉避難所としての役割を担い、AEDの施設外設置など地域貢献に努めます。</p>	<p>地域の避難所としての役割を果たすために2月に近隣福祉施設と地域の方も参加していただき合同防災訓練を行いました。2回目の実施でスムーズに行動ができました。また、AEDの施設外設置を継続しました。幸い使用者はありませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
--	--	-----------------	--

3. かけはし

<p>(1) 目標</p>
<p>① 障がい福祉サービスを利用する方のより良い暮らしづくりを目指し、当事者の想いに寄り添った相談支援を提供します。</p>
<p>② 当事者のニーズに応え、当事者が望む生活を支える為に、各種サービス利用や社会資源の調整、マネジメントを行い、計画立案と定期的な状況確認（モニタリング）を行います。</p>
<p>③ 相談支援で得られた情報を通して地域における課題を明らかにする中で、障がいのある方が暮らしやすい地域社会の実現を目指していきます。</p>
<p>④ 相談支援の質の向上、相談業務の専門性の習得を目指し、研修等を通じて相談員の育成に努めます。</p>
<p>⑤ 事業の継続と発展を目指し、適正な人員配置と収支バランスを意識した運営を行います。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 ご利用者の想いにより添った、丁寧な相談支援(基本相談)を行います。</p>	<p>・計画書やサービス利用に繋がらないような内容の相談にも丁寧に対応するようにしました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>②-1 ご本人が望むご本人らしい生活の実現を目指して、各種機関・サービスと連携し、サービス等利用計画の作成およびサービスのマネジメントを行います。</p>	<p>・かけはし開設以来6年が経過し、情報も集積してきており、関係機関とのネットワークも構築できており、情報網を利用した支援ができるようになりました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

<p>②-2 定期的な状況確認（モニタリング）を行うことで、ニーズの変化や追加、サービス利用上の課題等に対応していきます。</p>	<p>・モニタリング期間に関しては全員に対し、等しく計画通りに実施することはできませんでした。 ただ、ご本人やご家族の状況に変化がある方については適切なタイミングで関与できました。</p> <p>・今年度から相談員が一名増員されたこともあり、情報共有とスケジュール管理の為の会議を設定しましたが、相談員のスケジュールが合わずなかなか定期的な開催ができませんでした。</p>	<p>実施出来ました。</p>	<p>・モニタリング期間を全員（GHや入所施設利用者以外）が3ヶ月とするのではなく、状況の変化の少ない人では、期間をあらかじめ6ヶ月とすることも検討していても良いかもしれません。</p>
<p>②-3 計画立案やモニタリングに遅れが生じないようにスケジュール管理を確実に行っていきます。</p>	<p>・モニタリング期間に関しては全員に対し、等しく計画通りに実施することはできませんでした。 ただ、ご本人やご家族の状況に変化がある方については適切なタイミングで関与できました。</p> <p>・今年度から相談員が一名増員されたこともあり、情報共有とスケジュール管理の為の会議を設定しましたが、相談員のスケジュールが合わずなかなか定期的な開催ができませんでした。</p> <p>※同上</p>	<p>実施出来ました。</p>	<p>・モニタリング期間を全員（GHや入所施設利用者以外）が3ヶ月とするのではなく、状況の変化の少ない人では、期間をあらかじめ7ヶ月とすることも検討していても良いかもしれません。</p> <p>※同上</p>
<p>③-1 ご利用者が地域で豊かに暮らせるために、関係機関（相談支援事業所、地域障がい者支援センター、行政、法人連絡会等）との連携を図ります。</p>	<p>・町田市や法人連絡会の相談支援事業所連絡会、忠生地域のネットワーク会議等を通じて顔の見える関係性が構築されている。</p> <p>いろいろなご利用者の相談に対し、様々な地域の多様な関係機関の協力を得ながら（相談）支援を提供できている。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

<p>③-2 相談支援を通じて得られた情報や相談支援事業所連絡会での意見交換を通じて得られた情報等から地域の課題を明らかにする中で、関係機関や行政と連携を図りながら障がいのある方々が暮らしやすい社会の実現を目指しま</p>	<p>・上述した連絡会やネットワーク会議において、個々の事例を踏まえた地域の課題を共有しながら、上部団体等へ改善に向けた取り組みを提案する等の活動を行っている。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>③-3町田市で検討している「地域生活支援拠点」「緊急時予防・対応プラン」「個別避難計画」等の計画立案と実施に向けて協力していく。</p>	<p>・町田市で取り組みが始まった「地域生活支援拠点」への参画を予定していましたが、業務遂行に追われ申請に至りませんでした。</p>	<p>実施出来ませんでした。</p>	
<p>④-1法人の新人事制度の活用や研修等を通じて、相談支援の質の向上、相談業務の専門性の習得を図ります。</p>	<p>・新人事制度に基づき、階層で設定されている役割基準に基づく目標と評価を行いました。 なかなか目標通りの育成はできませんでした。 研修については、就労に関する研修や事例検討等に参加し、一定程度学びを深められました。</p>	<p>概ね実施出来ました。</p>	
<p>⑤-1 高い質の相談支援を行う為の人員配置を行いつつ、収支バランスが適正に保てるよう、相談件数が月35件を目指して段階敵に取り組めます。</p>	<p>・年度途中で相談員が体調を崩したこともあり、予定通りのE-リングの実施ができませんでした。</p>	<p>実施しましたが到達しませんでした。</p>	

3. 医務部門

(1) 目標

① ご利用者の安心・安全な生活を目指して心身の健康支援を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 ご利用者の体調を把握し、異常の早期発見・早期対応に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽微なけがなどの処置 ・バイタルサインチェック (毎日) ・嘱託医 (内科医、小児神経科医) による医療相談 (毎月) ・健康診断のチェック (年1回) ・訓練士 (PT) による作業訓練 (月2回/不定期) ・町田市歯科医師会による歯科検診 (年1回) ・鶴川記念病院健診部による健康診断 (年1回) ・歯科医師による摂食指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽微なけがの処置や体調不良時については支援職員やご家族、グループホームと連携し対応しました。 ・7月13日鶴川記念病院健診部による健康診断を実施しました。(生活介護、就労Bの希望者) 健診結果は嘱託医に確認・助言をいただき支援職員と共有していきます。 ・11月27日に町田市口腔保健センターによる歯科健診を実施し、結果を支援職員と共有しました。 ・毎月2回嘱託医による医療相談を実施しました。 ・訓練士 (PT) による作業訓練等は生活介護の各グループを巡回し支援職員や看護師に対して助言・指導を行なっています。頂いた助言はグループと共有しました。 	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き行なっています。</p>
<p>①-2 服薬管理を適切に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な服薬内容の把握 ・3日分の予備薬管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・予備薬の交換を行いました。 屯用薬の提出忘れは減りましたが体調不良時の対応票裏面の記載漏れが多くありました。 ・4月、新入職員に対して「薬の取り扱い」について研修を行いました。 ・市販薬、屯用薬の服用介助については徐々にルールが定着しつつあります。 ・薬のダブルチェックについてのルールを明確にし、安全な服薬管理が行えるように努めました。 	<p>概ね実施できました。</p>	<p>引き続き行なっています。対応票の記載漏れ対策を行います。</p>

<p>①-3 ご家族、主治医、嘱託医、提携病院、他の専門職（栄養士、PT等）、支援職員、他事業所等との連携を図り情報の共有をします。</p>	<p>・日々、支援職員、ご家族、主治医、嘱託医、他事業所等との連携に努めました。主治医とメールにてご利用者の体調について相談し助言をいただく機会もありました。訪看と情報共有を行い連携を取っていきました。 ・ワクチンバスによる職域接種の会場準備や接種者の誘導等の協力をしました。</p>	<p>実施しました。</p>	<p>引き続き行なっています。</p>
<p>①-4 軽微なけがなどの処置は、支援職員が安全に実施できるように指導していきます。（「医行為でない行為」に基づいて）。</p>	<p>・軽微なけがや虫刺されなどの処置はその場で支援職員に指導をし処置をできるように努めました。処置前に洗浄してから医務室へ来ることや、報告したあとは各グループで対処を行うことが増えています。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き行なっています。支援職員が行う処置の対象を就労施設の客など外来者への対応にも広げて指導し、社会福祉法人としての公共性を高めていきます。</p>
<p>①-5 介護職員等による喀痰吸引等の指導要綱に基づき、対象者への実地研修指導を行います。</p>	<p>・認定特定行為業務従事者に対して実地研修を行い日々医療的ケアの指導を行いました。座学修了後時間が経ってしまった職員に対し、改めて手技の指導も行います。食品注入が行える支援職員が増えました。 ・看護師二名第三号指導者の研修を修了しました。 ・11月注入手技のフォローアップ研修を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き行なっています。</p>

4. 栄養部門

(1) 目標			
① 季節感のあるメニュー、味付けや盛り付けの工夫、利用者の嗜好の反映等に努め、より美味しく、飽きのこない食事の提供を目指します。			
② ご利用者個人にあわせた食事形態を提供をします。			
③ HACCPに沿った調理環境の整備、衛生管理を徹底し、安心・安全な食事を提供します。			
④ 肥満、生活習慣病予防対策としてご利用者の栄養管理を行います。			
⑤ 知識や技術の向上を目指します。			
⑥ 安定した食事を提供する為、発注漏れ等の事故防止に努めます。			

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
--------	------	----	-------

<p>①-1 旬の食材や行事食を取り入れ、季節感のある食事を提供します。</p>	<p>旬の食材の使用(当施設で採れたじゃが芋の利用、季節の果物や野菜の使用)、行事食(入所式・子供の日・七夕・土用の丑・海の日・山の日・夏祭り・十五夜・ハロウィン・クリスマス・成人式・節分・バレンタインデー・ひな祭り・ホワイトデー)を取り入れ、季節感のある食事を提供しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-2 嗜好調査(5月・11月)残食調査(8月・2月)を実施します。</p>	<p>嗜好調査を、1回目 5/22(月)~5/26(金)・2回目 11/13(月)~11/17(金)に実施。 残食調査を、1回目 8/21(月)~8/25(金)・2回目 2/5(月)~2/9(金)に実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-3 栄養会議を実施し、献立や食事内容の改善を行います。(毎月)</p>	<p>支援各事業所(生活介護・クッカ)へアンケートを配布し、それを元に栄養会議を行いました。(支援からの意見や喫食状況・要望を把握した上で、食事内容の改善を行いました。質問があった場合は、回答を正職会議資料に載せ、全体へ周知できるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-4 リクエスト給食や栄養部門アンケートを実施し、ご利用者の嗜好を取り入れた献立を作成します。</p>	<p>栄養部門アンケートの要望やリクエスト内容を検討し、献立に取り入れました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-5 保護者向けの給食試食会を実施し、保護者のニーズや意見を把握します。</p>	<p>今年度も、コロナ対策の為、実施できませんでした。</p>	<p>着手できなかった。</p>	<p>施設の感染症対策の動向をみながら実施予定。</p>
<p>①-6 調理研修の実施やマニュアルを作成し、安定した食事の提供をします。</p>	<p>調理研修については、コロナ対策の為、実施できませんでした。</p>	<p>着手できなかった。</p>	<p>施設の感染動向をみながら実施予定。</p>

<p>①-7 グループ訪問を行い、ご利用者の食事状況の把握に努めます。(11月～3月感染予防週間以外の期間と、コロナの感染状況による)</p>	<p>10月に新人の三上・笠原が全てのグループを訪問予定でしたが、グループ側の多忙(外出等)と笠原がインフルエンザに罹患したため一部のグループ訪問になってしまった。(B・C・D・就B訪問)</p>	<p>概ね実施できませんでした。</p>	<p>コロナ感染状況・11月～3月の感染予防週間以外の期間の状況による。</p>
<p>②-1 支援職員と連携を図り、ご利用者の摂食機能に合った食事形態を、年3回の歯科医師の回診によるアドバイスを含めて検討し、食べやすい食事を提供します。</p>	<p>摂食については、摂食会議の結果・歯科医師の巡回診察(年3回)の結果を考慮している。今年度1回目6月・2回目10月に歯科医師の巡回診察を行った。11月より形態変更の要望が1名あり常食より後期食への変更をしました。</p>	<p>概ね実施できませんでした。</p>	
<p>②-2 ご利用者個人に合わせたアレルギー対応・制限食等の提供をします。</p>	<p>新規のアレルギー対応・制限食対応のご利用者はおりませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-3 食品注入食導入に向けて、支援・医務との連携を図ります。</p>	<p>1名注入食に移行予定はありますが、具体的な進展は現在の所なし。</p>	<p>概ね実施できませんでした。</p>	
<p>③-1 配膳間際の盛り付けや、保温性のある食缶の使用、電子レンジを活用し適温での食事の提供をします。HACCPに沿った衛生管理を行います。</p>	<p>適時適温と調理後2時間以内の喫食を遵守する為に、調理工程の見直しと配膳間際の盛り付け、冷蔵庫での保管等の適切な温度管理を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 細菌検査を実施します。(毎月)</p>	<p>毎月1回実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-3 冷凍・冷蔵庫、厨房の室温等の温度管理を行います。</p>	<p>調理機器の温度管理を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>③-4 手洗い後のペーパータオルの使用・アルコールでの消毒、使い捨てマスクの使用等、衛生管理を徹底して行います。</p>	<p>計画通り徹底して行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-5 電解水、殺菌庫、食器消毒保管庫を使用して調理器具類の消毒や殺菌を行います。</p>	<p>計画通り徹底して行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-6 日常的な清掃（床、冷蔵庫、トイレ他）と定期的な清掃（換気扇、下水）を行い、厨房内を衛生的に保ちます。</p>	<p>日常清掃に加え、随時気になる所の清掃を行っている為、清潔に保つ事が出来ました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-7 調理従事者の衛生教育を行います。</p>	<p>年度はじめに、改めて衛生マニュアルを全員で確認を行った。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-8 HACCPに沿った厨房の環境整備を行います。</p>	<p>計画通り徹底して行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-1 年1回実施のご利用者の健康診断のデータと、給与栄養量に基づいた食事を提供します。</p>	<p>6月提出の栄養管理報告書を保健所に提出の際、塩分量のご指摘いただいた。7月より、利用者様の様子を観ながら徐々に減塩を進めています。体重増加のため、2名のご利用者様からの依頼で、主食の減量をしました。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分。</p>	<p>前年の塩分給与量より月平均0.2g~0.4gの減塩を実施しました。目標値との誤差は0.5gあり徐々に減塩を進めてまいります。</p>
<p>⑤-1 調理実習や試食会の参加等を行い、技術や知識の向上を目指します。</p>	<p>今年度もコロナ対策の為、調理研修、試食会等の参加はできませんでした。</p>	<p>着手できなかった。</p>	<p>施設の感染症対策の動向をみながら実施予定。</p>

<p>⑤-2 法人内の他事業所との連携を図り、知識や技術の向上を目指します。</p>	<p>6月に着任直後の栄養士が、花の郷の栄養士にお会いして、栄養業務の不明点を教えていただきました。8月に材料費の価格高騰に伴いアルモニーや花の郷と食材等の話し合いを行った。10月には、ご寄付をいただいた米を花の郷と分け合い利用しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>食材費に関しては、価格高騰で昨年度と比較をする為、今年度一杯引き続き値上げをするかを踏まえて出来るだけコストを抑えるように対策をとる。</p>
--	---	-----------------	--

5. 運営部門

(1) 目標

① 設備環境や人的環境を効果的に運用し、健全な財政運営を行います。
② 法人の人事制度と連動させながら、職員の育成と専門性の向上を図ります。
③ 働きやすい環境と自己責任と自主性、チームワークを大切にした強い組織作りを目指します。
④ 職員の心身の健康管理に努めます。
⑤ 感染予防、防災、防犯等に努め、安全で安心して過ごせる環境を整備します。

(2) 計画

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 設備環境や人的環境を効果的に運用しながら、健全な財政運営、資金の確保に努め、将来的に持続可能な施設運営、法人経営を行います。</p>	<p>・花の家とクッカ広場、エール等複数事業を営む多機能事業所として、効率的な人員配置等を行うことができる為、人件費率も60%台に抑えることができる等、財政面上も効率の良い運営ができています。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①-2 財政状態を勘案しつつ、適正な職員配置を行い、予算と現場のバランスが取れた運営を行います。</p>	<p>・花の家とクッカ広場、エール等複数事業を営む多機能事業所として、効率的な人員配置等を行うことができる為、人件費率も60%台に抑えることができる等、財政面上も効率の良い運営ができています(同上)。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

<p>②-1 法人の新人事制度と連携し、職位や経験、自己目標に応じた育成計画を立案し、職員の成長を図ります。</p>	<p>準備してきた法人の人事制度がスタートし、新しい制度に基づき、各階層毎に設定された役割基準に照らした個別目標を設定し、期初・期中・期末の面接を実施しました。これまでの面接とは異なり、管理者から期待する像とそれに基づく具体的な目標を設定して伝えるという方法に変わったことで、個人毎の目標や期待像に沿った育成ができたと考えます。</p>	<p>概ね実施出来ました。</p>	
<p>②-2 新人事制度と連動する計画に基づいた研修を実施し、支援の質と専門性の向上を図ります。</p>	<p>・研修自体は一定程度計画通りに実施できたものの、新人事制度と研修を上手く連動させることができませんでした。</p>	<p>実施出来ませんでした。。</p>	<p>新人事制度自体が法人の中での試行錯誤が続いており、研修制度との連動についても更なる検討が必要になっています。</p>
<p>②-3 ご利用者の人権擁護・虐待防止の観点から、研修委員会と連携しながら「不適切な支援」事例を通し「適切、適正な支援」方法を考えます。</p>	<p>・「不適切支援」に関して、定期的に行っているグループ会議の中で振り返り、検討する機会を設けています。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>③-1 職位と業務内容、権限を明確にすることで、一人ひとりの職員が自分の役割と職責を理解し自主的かつ積極的な働きができ、他者への思いやりとチームワークを大切にしたい職員関係の構築を目指します。</p>	<p>・新人事制度はまだ試行段階ではあるが、少しずつ職位への意識づけもできてきている様子。 それぞれの職位にあるものが、相応しい行動を取ることによって、良いチームワークが形成されていると言える。</p>	<p>概ね実施出来ました。</p>	

<p>④-1 産業医の指導を仰ぎつつ、職員の健康管理や健康診断後のアフターフォローを確実に実施します。</p>	<p>・昨年度から産業医の関わりが明確化され、健診結果に指導内容が記載されることになりました。 今年度に関し、大きな指摘はありませんでした。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>④-2 新たに策定された「心の健康づくり計画」に基づいた研修等を通じて、職員のメンタルヘルスに取り組みます。</p>	<p>・上述のように、今年度から健康診断結果について産業医に見ていただき、指導と助言をいただけるようになりました。 その他、職員のメンタルヘルス等に関しては、必要な事例が出た場合に助言をいただいています。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>⑤-1 新たに策定された「感染症と食中毒の発生と蔓延防止の為の指針」に基づき、「施設の衛生管理（消毒等）、手洗いやうがい、換気、3密の回避等」の感染予防策を徹底します。</p>	<p>・計画に基づく感染症対策を行うことができました。 新型コロナウイルスについては5月8日に国が感染症分類を2類から5類（インフルエンザと同様）に変更しましたが、花の家では基本的な予防策は継続させ感染の予防に努めました。 以降、コロナの感染状況を鑑みつつ、少しずつ予防策のレベルを緩和させましたら、施設内で感染が広がることはありませんでした。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>⑤-2 防災対策では、実態に即した訓練や地域と連携した訓練、備蓄品の拡充に努めます。</p>	<p>・9月と2月に避難訓練、初期消火訓練及び応急救護訓練を実施しました。 避難訓練に関しては、バリエーションを増やして実施するよりも、基本的な避難方法を全員が身に付けられるようにと昨年度と同じ経路での訓練を実施しました。 また、2月の訓練は昨年度に引き続き、近隣の障がい者施設「ぐうし館」との合同訓練を行いました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

<p>⑤-3 BCP（事業継続計画）を策定し、計画に基づいた訓練を実施します（年3回・9～11月予定）</p>	<p>・BCPについて感染症及び自然災害時の対応の2計画を策定することができました。BCPに基づく研修を次年度に実施する予定にしています。</p>	<p>実施できました（計画策定）。実施できませんでした（研修）。</p>	
<p>⑤-4防犯対策として、警察署（交番）や地域、関係機関と情報共有し連携を図ります。</p>	<p>・今年度は警察と連携を図る等の具体的な行動は行えませんでした。行政からも年間を通じて防犯に関する情報提供もなく、改めての施設内での周知は行いませんでした。</p>	<p>実施出来ませんでした。</p>	<p>行政や警察等からの情報提供や注意喚起等がなくとも、自発的に防犯に関する譲歩収集と周知に努めるようにします。</p>

安全衛生美化委員会

<p>①作業場や生活空間、施設全体の環境整備に努めます。</p>
<p>②感染症予防に努めます。</p>
<p>③事故時の迅速な対応と、事故件数、前年度比10%減を目指します。</p>
<p>④環境整備、保健衛生、リスクマネジメント等に関する研修を実施し、職員の意識向上に努めます。</p>
<p>⑤医務部門と協力し、職員、スタッフ、ご利用者の健康を支援します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 日々の定期清掃の実施</p>	<p>各グループごと決められた箇所の清掃を行うことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-2 『年3回以上の美化DAY』と『外部への清掃依頼』を実施し、定期的に普段行えない場所を清掃します。</p>	<p>年度内で6回、「美化デイ」と称する日程を組み、職員全体で普段行えない場所を清掃しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-3 担当を配置し、機器類（加湿器や捕虫器等）の管理を徹底します。</p>	<p>各グループの加湿器や扇風機については、グループごと時期をみて設置するなど、適宜管理をしました。ホール等に設置した加湿器、捕虫器に関しては、管理する担当を決め、適切に清掃等を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>機器類が増えた際などは、管理が適正に行えるよう、その都度担当を配置します。</p>

<p>①-4 清掃や整理整頓に関する啓蒙および指導を行います。</p>	<p>清掃に関する研修は行いませんでしたが、美化委員主導のもと、随時清掃の方法を職員に伝えました。整理整頓については、ポスター等を靴箱等に掲示し、常に意識できるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-5 理美容の調整をし、月1回程度実施します。</p>	<p>月の最終週の月曜日にカットボラを行いました。美容師資格のある職員がカットを行い、ご利用者からの評判も良く、滞りなく実施できました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-1 インフルエンザ予防接種の推奨します。</p>	<p>職員向けに助成金を設定し、予防接種を推奨しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>より効果のある勧奨方法を考えつつ、来年度も実施します。</p>
<p>②-2 感染予防マニュアルの周知徹底を図り、予防対策を徹底します。新型コロナウイルスの動向には特に注意し、その時の情勢等を見極めて予防対策を実施します。</p>	<p>感染症予防のため、空気清浄機や加湿器、CO2計測器を設置し、室内環境に十分注意を払いました。新型コロナウイルスに関しては、国からの濃厚接触者の特定がなくなった5月8日直後、感染が広がる事案がありました。その後は施設独自の対応を適宜行い、感染の拡大を防ぐことができました。また、施設内でワクチン接種を行うなど、できる限りリスクが軽減できるよう配慮しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>随時状況を精査し、引き続き感染対策を実施します。</p>
<p>②-3 ノロウイルス等感染性胃腸炎対策については、栄養部と連携し、HACCPや電解水等を活用しながら食品卫生管理を徹底します。</p>	<p>電解水、HACCP（食中毒などの健康被害を引き起こす可能性のある危害要因を科学的根拠に基づき管理する方法）を随時活用し、適切な衛生管理を実施しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>職員全体が指針の内容を把握、理解できるように、周知方法を検討し、実施します。</p>

<p>③-1 事故・ひやりはっと発生時の迅速な対応を行います。</p>	<p>事故・ひやりはっと発生時は各現場で迅速に行動し、当該者への通院の促しなど、適宜その事象にあった対応を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 会議や朝礼等で気づき報告、KYT（危険予知トレーニング）研修などを、ひやりはっと等への意識を向上させ、事故を未然に防ぎます。</p>	<p>各グループ会議内でKYT研修を常時行いました。KYT研修を行ったことで、事故に対する意識づけが行え、支援の事故減少に繋がりました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-3 事故・ひやりはっとの記録と管理、周知を徹底し、再発防止に努めます。</p>	<p>事故が起こった際は担当で速やかに会議し、記録と関係者への周知を徹底しました。。また、3か月後に事故のモニタリングをし、その記録の記載も徹底しました。ひやりはっとに関しては、起こったすべての内容を各グループ会議で伝え、共有理解ができるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-4 上記の計画を行い、事故件数、前年度比10%減を目指します。</p>	<p>昨年度と比較し、支援中の事故は約5割減、車両事故は約4割減にすることができました。ただ、市に報告が必須な重大事故が3件と、安心安全を提供するには至りませんでした。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>事故総数を減らすとともに、重大な事故をなくします。</p>
<p>④-1 様々な媒体を活用し、安全衛生等に関する研修、職員の派遣を行います。</p>	<p>手洗い研修やノロ研修などの実地研修の他、オンラインやe-ラーニングを活用し、安全衛生に関わる研修を随時行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>⑤-1 ご利用者、職員対象の健康診断（年1～2回）の実施と、アフターフォローを確実に行います。</p>	<p>健康診断を計画通り実施し、検査結果を管理者、産業医で確認しました。その後、再検査等のある職員に関しては声掛けをし、アフターフォローを徹底しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-2 腰痛予防PTを設置し、腰痛対策に関して継続的に取り組みます。（アンケート実施・腰痛ベルト支給、機器類の配置等）</p>	<p>腰痛ベルトや膝・腱鞘炎サポーターの助成を行いました。また、昇降リフトの継続的な使用や床走行リフトの導入、電動ベッドの購入など、腰痛予防への取り組みを強化しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-3 心身の健康に関して、事業所の指針『心の健康づくり推進計画』に基づき、適切に対応します。</p>	<p>法人全体でストレスチェックを実施して、職場環境の把握に努めました。また、メンタルヘルスに関する研修や指針の周知、外部相談窓口のポスター掲示など、職員が相談しやすい環境を整えました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>メンタルヘルスに関する指針を職員全体に周知し、今以上に相談しやすい環境を整えます。</p>

医療的ケア委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①医療的ケアを安全且つ適切に実施するための情報共有、検討を行います。</p>
<p>②医療的ケアや重症心身障害者支援に関する職員の知識や技術の向上、育成に努めます。</p>
<p>③認定特定行為業務従事者(以下、従事者)を1名増員し、ご利用者の生活の幅を広げます。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 医ケア要領に基づき、毎月の委員会内で要医ケア者の体調や手技、リスク、変更事項等の確認を行います。</p>	<p>毎月の委員会にて、ご利用者の健康状態や手技、事故やヒヤリ等の確認をメンバー間で共有することで、日々安心、安全に医療的ケアを実践することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-2 医療的ケアに関する書類等を整備し、関係者で共有します。</p>	<p>看護師が医療的ケア実施申請書、医療的ケア指示書、指導医健診記録、医療的ケア実施通知書を整備し、委員会等で共有することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>①-3 最新情報をマニュアルに反映させ、周知徹底を図ります。</p>	<p>注入や吸引、酸素吸入等の医療的ケアに関して、各ご利用者の手技や対応で変化があった際は、看護師が随時マニュアルを更新しました。また、マニュアル更新と同時に看護師、支援職員で内容を共有し、周知徹底が図れるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-4 新たなケアのご要望に対して、主治医や保護者、嘱託医、他事業所等と連携し、よりよいサービスを提供します。</p>	<p>胃ろうを造設したご利用者、将来的に給食注入を希望しているご利用者など、医療的ケアの内容に変更がある際は、ご家族との話し合いや主治医、嘱託医等との連携を通し、ご利用者個々に適してケアを提供しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-1 医療的ケアや重症心身障害者支援に関する研修を企画・実施します。～研修テーマ～「姿勢」</p>	<p>今年度はグループ職員の体制が大きく変更したこともあり、医療的ケアに関する研修を実施することができませんでした。</p>	<p>着手できませんでした。</p>	<p>研修委員会と連携し、必要な研修を適宜実施します。</p>
<p>②-2 ICT関連の知識を深めご利用者支援に活かせるよう、専門知識を有する方へのアプローチを検討します。</p>	<p>ICT委員会を通じ、ご利用者が能動的に活用できるスイッチ等を使用し、活動を行いました。ただ、慣れていないためか、ご利用者によっては意識的な活動をするまでには至りませんでした。</p>	<p>実施しましたが結果が不十分でした。</p>	<p>ICT委員会の中で個々にあった方法を模索して実施します。</p>
<p>②-3 感染症等の状況を勘案しながら、医療的ケアや重症心身障害者支援に関する施設の見学や外部研修等の積極的な研修企画・実践をします。</p>	<p>コロナウイルス感染症の影響で、外部施設への見学や研修企画等は控えました。</p>	<p>着手できませんでした。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>③-1 従事者らによる喀痰吸引の実施対象者が増えるよう、計画的に実地研修を企画します。</p>	<p>医療的ケアが必要なグループに新しく配属になった職員への第3号研修、個々のご利用者への実地研修を適宜行い、喀痰吸引等が行える支援職員を増やすことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-2 従事者が同一技術の支援を維持できるよう、フォローアップ研修を企画・実施します。</p>	<p>第3号研修受講者全員を対象とした、フォローアップ研修を実施しました。吸引の手順の振り返りと演習を行うことで、基本に立ち返り、正しい手技の再確認をすることができたのと同時に、日頃医療的ケアに関わらない職員にとっては再確認の貴重な場となりました。</p>	<p>実施できました。</p>	

リスク管理委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①大規模災害や防犯対策等へのリスク管理を徹底し、ご利用者、職員の安全を図ります。また、備蓄の充実、避難訓練や防災・防犯研修等を通じた職員やご利用者の防災意識の向上、関係機関や地域ネットワーク構築を行います。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 避難訓練の想定を工夫し、実効性のある訓練を行ってまいります。</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防に努めつつ、施設全体での避難訓練を行いました。今年度は年2回の実施をすることが出来ました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①-2 心肺蘇生やAED操作など応急救護訓練を実施します。</p>	<p>消防署に依頼をし心肺蘇生、AED操作、誤嚥時の対応方法など正規職員中心での訓練を行いました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	

<p>①-3 不審者などへの対応を統一する防犯研修を行います。</p>	<p>町田警察署とも話をし毎年行わなくてもということだった為、数年に一度の設定で行っていくことを検討しました。</p>	<p>実施出来ませんでした。</p>	
<p>①-4 事業継続計画（BCP）に基づく訓練を行います。</p>	<p>BCPの作成を行いました但し訓練の実施は出来ませんでした。</p>	<p>実施出来ませんでした。</p>	
<p>①-5 近隣の自治会や関係施設等との連携を図り、エリア全体で一体的に災害対策に努めます。</p>	<p>桜美林町内会の協力も得つつ近隣関係機関(ぐうし館)と訓練の共同開催を行いました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①-6 町田市二次避難所として、町田市と連携しながら、地域貢献を図ります。</p>	<p>会議などもなく具体的なことは出来ませんでした。</p>	<p>実施出来ませんでした。</p>	
<p>①-7 町田市の福祉施設情報伝達訓練に参加し、災害時等における市や関係機関との連絡の強化を図ります。</p>	<p>計画通り、訓練に参加したが、それ以上の発展はありませんでした。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①-8 防災備蓄品について見直し、消耗や賞味期限等について管理を行います。</p>	<p>備蓄食料の消費（給食で提供）や期限管理、補充等は計画通り実施できました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>①-9 防災マニュアル、災害時対応マニュアル等の周知を図ります。</p>	<p>防災マニュアルや災害時対応マニュアルについて周知する機会は特に設けることができませんでした。</p>	<p>実施出来ませんでした。</p>	

①-10 防災、防犯に関する研修会に参加して最新の情報を収集し、施設の防災対策、職員の防災教育を行います。	防災研修（リスクマネジメント）に参加をしましたが、他職員への研修などは出来ませんでした。	概ね実施出来ました。	
①-11 施設に合った、防災環境対策を検討していきます。	現施設に合った防災対策などを話し合うことが出来ませんでした。	実施出来ませんでした。	

研修委員会

(1) 目標
①職員が「知りたい！学びたい！」ころころ☆おどる研修の企画・実践を通じて、職員のスキルアップと仕事へのモチベーションアップを目指します。
②他の委員会と連動しながら、職員の専門性の向上を図ります。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 階層別研修、事業所全体に係る研修、入職必須研修、グループ会議内研、〇〇強化WEEK等、昨年度の研修アンケートを基に、楽しく学べるような研修計画を立案・執行します。	下半期にて、虐待防止・身体拘束等適正化に関する報告研修を支援職員が講師となって全職員を対象に実施しました。寄せられた意見に対し検討を行うなどして改善に努めました。また、てんかん・アンガーマネジメントの報告研修に向けて、担当職員が企画、実践中です。	概ね実施出来ました。	
①-2 感染症等を考慮しながら、外部講師招聘研修を年3回企画します。	7月に人権擁護、9月には強度行動障害に関する学びについて外部講師を招いた研修を実施しました。参加者より、基本的な知識の習得に合わせて「こんなときどうする」のような支援方法のヒントやアドバイスを求める声が多く募りました。	実施出来ました。	強度行動障害や自閉症に関する内容に焦点を当て、日々の支援での悩みや困りごとが改善されるような研修を企画していく。

<p>①-3 eラーニング視聴後はディスカッションやケーススタディ、事例紹介等を設定し、取得した知識の定着化を図ります。</p>	<p>7月にハタラズメント、9月にメンタルヘルスについて各グループ会議内で視聴しました。基本的な情報の共有後に意見交換をすることであらたな気づきを得る者もいました。またテキストを作成し、各グループ会議での音読をすることで振り返りをし知識の定着化に努めました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	
<p>②-1 摂食委員会による摂食勉強会や医療的ケア委員会による勉強会・第3号研修、安全衛生委員会による感染症対策や虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会による最新情報の共有やディスカッション等を企画します。</p>	<p>各委員会内で計画された研修が、漏れなく企画・実施が出来るよう連携を図りましたが、医療的ケア委員会による「姿勢」についての研修は委員会内での検討が出来ませんでした。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分でした。</p>	<p>委員会内での計画的な検討が出来ているか、随時確認する。</p>

広報委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①法人で発行する広報誌の紙面、ホームページ等を利用し、花の家の活動を広く地域に向けて周知をします。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 年4回発行される法人広報誌の紙面と適宜更新されるホームページを利用して、ニーズセンター花の家で行っている諸活動等について、広く地域に向けて発信します。</p>	<p>広報誌については、特集や時宜に叶った内容で記事を掲載できました。ホームページの活用については、今年度から事務員が定期的に行事等の報告を記載してもらうようにしましたが、なかなか定着しませんでした。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>ホームページへの掲載については事務員任せにせず、管理者や担当者からもタイミングを見て声をかけるようにします。</p>

人権擁護・虐待防止委員会

(1) 目標
①国や都等における人権擁護や虐待防止に関する情報を収集し、施設内で情報提供、周知徹底を図ります。
②施設内や近隣地域等の虐待に纏わる情報を把握し、施設内で周知、改善を図ります。
③人権擁護・虐待防止に関する研修を通して、職員の意識向上を図り、虐待や不適切な関わりの根絶に努めます。
④定期的に身体拘束の状況について情報共有し、不適切な関わりの有無の確認や代替方法がないか等についての検討を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 行政や関係機関等から送られてくる人権擁護や虐待防止に関する情報を集約し、職員会議や掲示等を通じて施設内に情報提供し、周知徹底を図ります。	行政や関係機関等から送られてくる人権擁護や虐待防止に関する情報を集約し、職員会議や掲示等を通じて職員に情報提供しました。	実施できました。	
②-1 運営会議の中で施設内や近隣で生じた虐待事例等の情報を収集し、運営者で対応について協議、職員会議等で方針について徹底します。	9月19日に発生したご利用者にドライヤーの熱が当たって火傷様になり虐待事案に認定された件につき、事後で保護者及び職員アンケートや外部識者の視察、活動見学会等を行い、施設全体で再発防止に向けた取り組みを実施しました。 上記を踏まえ、職員会議の中で討議し、新たな虐待防止スローガンを「全ての土台は笑顔から～元気に挨拶、コミュニケーション」としました。	概ね実施できました。	
②-2 虐待防止月間（10月）にはポスター掲示をする等して、人権や虐待防止への意識付けを図ります。	上述した事案に対する再発防止策に加え、毎年行っている「虐待防止節句リスト」を用いた虐待に関する知識や現状に関する確認作業を行いました。	実施できました。	
③-1 人権擁護及び虐待防止等における研修を全職員へ実施し、職員の人権意識の向上を図ります。	東京都が主催した人権擁護・虐待防止研修に職員が参加し、その報告研修を全職員に対し行いました。	実施できました。	

<p>③-2 「不適切な関り」事例を題材にした研修を通し、人権擁護の視点に立った「適切な支援」について学びます。</p>	<p>全職員を対象にして不適切支援に関するグループワークやeラーニングでの研修を実施し、改めて支援のあり方について学び直しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-3 定期的（3ヶ月目安）に支援方法、声掛けの仕方等について確認作業を行います。</p>	<p>不適切支援等に関する勉強会を各グループ会議においてほぼ定期的に行いました。全体的に声掛けの仕方等についての意識が改善されたように思います。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>④-1 毎月の運営会議において、身体拘束に関する各現場の状況を確認します。</p>	<p>計画通り運営会議での状況確認の他、対象者がいるグループでは毎月対応について検討を重ねてまいりました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-2 止むを得ず拘束する必要がある場合は、マニュアルに照らしつつ、保護者への確認、施設内での情報共有と施設決定、3要件（切迫性、一時性、非代替性）の該当等の手順や条件を達成しているか確認します。</p>	<p>身体拘束に当たる対象者がいるグループにおいて、毎月状況（切迫性、一時性、非代替性）や対応について、専門家（PT等）の助言を受けるなどしながら検討を重ねてまいりました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-3 また、止むを得ず拘束する必要がある場合は、専門家等の意見や助言等も聞きながら代替方法について検討します。</p>	<p>身体拘束に当たる対象者がいるグループにおいて、毎月状況（切迫性、一時性、非代替性）や対応について、専門家（PT等）の助言を受けるなどしながら検討を重ねてまいりました。</p>	<p>実施できました。</p>	

サービス向上委員会

(1) 目標
①ご利用者や保護者、職員等の関係者からの要望や苦情、意見等を収集し、事業所運営や支援に活かしていきます。
②国や都等における福祉関連のサービス提供に関する情報を収集し、施設内に情報提供、周知徹底を図ります。
③施設内のサービス提供の実態を把握し、改善、向上を図ります。
④福祉サービスに関する研修を通し、職員の意識の変革やサービスの向上を図ります。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1ご利用者のご要望や意見等については年6回行う保護者会や毎年行うアンケートを通じて、また、施設内関係者から直接的な申し出の他、ご意見箱を活用する等して意見や提案等を収集し、事業運営や支援に活かしていきます。	行政や関係機関等から送られてくる福祉関連の情報を集約し、職員会議や掲示等を通じて職員に情報提供しました。	実施できました。	
②-1 行政や関係機関等から送られてくる福祉関連の情報を集約し、職員会議や掲示等を通じて施設内に情報提供し、周知徹底を図ります。	今年度については主に感染予防等に関する情報が多かったですが、適宜職員に情報提供と意識づけを行いました。	実施できました。	
③-1 運営会議の中で施設におけるサービス提供に関する情報を収集し、運営者で対応について協議、職員会議等で方針について徹底します。	意見箱を通して意見を募る等、サービス課題の把握に努めました。意見が出た際には運営会議等関係会議で取り上げ、対応・改善の検討を持った。検討・対応の結果については職員に周知をしています。	実施できました。	意見箱と会議報告書での意見のやり取りは直接的な対話とは異なり、どちらも一方通行になりがちで申し出た者の気持ちには不全感が残る可能性がある。
④-1 福祉サービスに関する研修を実施し、職員の意識変革、知識や技術の向上を図ります。	チェックリストを活用したりグループワークを行う等して虐待防止や不適切支援の防止に関する取り組みを実施したほか、知識や技術向上に関しては、対外研修やeラーニング等を通じた学びをしています。	実施できました。	

摂食委員会

(1) 目標
①ご利用者が安心・安全に食事が摂れるよう、職員の知識と技術の向上を目指します。
②歯科医師のアドバイスをもとに、ご利用者個人に合わせた摂食指導を行います。
③保護者や歯科医師等との情報共有を図ります。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 研修委員会と連携し、職員への研修（web研修も活用）を設定します。	11月に、入職3年目までの職員を対象に、摂食の基礎知識を含めた研修を行いました。	実施できました。	
①-2 委員会のメンバーが率先して研鑽し、知識と技術の向上を図りました。	歯科医師からの摂食指導の際、委員会のメンバーが必ず同行し学ばせていただき、最新の摂食に関しての技術・知識が向上し、食事介助の際に活用しました。	実施できました。	
②-1 新規入所者、又は摂食に課題のあるご利用者の摂食指導を、歯科医師のアドバイスをもとに行います。	6月、10月、2月に新規入所者と摂食に課題のあるご利用者の摂食指導を行っていただきました。	実施できました。	
②-2 摂食指導を撮影した様子と、歯科医師からのアドバイスを担当職員にフィードバックします。	歯科医師からのアドバイスを担当職員へ当日フィードバックし、今後の活用方法などを伝えました。	実施できました。	
③-1 新規入所者と摂食に課題のあるご利用者を委員会で把握し、情報共有します。	摂食について課題のあるご利用者のご家族へ、摂食指導がある日程の情報を提供しました。	実施できました。	

<p>③-2ご家庭からの要望や摂食状況を考慮し、食形態の見直し・モニタリングをおこないます。</p>	<p>グループ職員からの相談を受け、摂食委員会と情報を共有し、速やかに食形態の見直しをする為に、モニタリングしました。 普通食から後期食へ変更し、安心・安全に食事ができるようになりました。</p>	<p>実施できました。</p>	
--	--	-----------------	--

ICT委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①学習や情報収集、専門家等の助言等を通じて、ICTの利用や活用方法等について研究していきます。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 ICTに関する研修会に参加したり、専門家や特別支援学級等から情報提供をいただきながら、ICTの利用や活用方法について研究を行い、実践への適用を検討していきます。</p>	<p>ICTの知識豊富なアドバイザーと契約をし、月2回、会議やご利用者の状態像を確認してICTが活かせる方法を模索しました。スイッチを活用した水やり器、陶芸機器等を作成し、ご利用者のできることが増えるよう取り組みましたが、職員、ご利用者が慣れていないこともあり、各機器を継続的に使用するまでには至りませんでした。</p>	<p>概ね実施できませんでした。</p>	<p>スイッチを活用した機器の他、ご利用者が集団活動の中で活用できるPC作業等を考慮し実施します。</p>

2023年度 花の郷 年間総括

部門別年間総括

1. 支援部門

【全体】

(1) 目標
① 支援者はプロとしての意識を持ち、専門職としての知識、技術の向上、ご利用者個々の障がい特性を理解する取り組みを行います。
②ご利用者の思いに寄り添った、安心・安全な支援を行い、豊かで幸せな時間を過ごせるようにします。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 理学療法士、臨床心理士、言語聴覚士の専門職からアドバイスを頂き、ご利用者に寄り添った質の高い支援につなげます。	理学療法士、言語聴覚士、公認心理士を島田療育センターより派遣していただき、日常的な支援のアドバイスを受けることができました。体に関わること、食事、環境等ご利用者が快適に過ごすための支援につなげることができました。	概ね実施できました。	食事支援の中で、ご利用者の摂食機能の変化に対応する必要性を感じる出来事がありました。摂食評価をもとにご本人、ご家族と相談しながら、楽しく、おいしく、安全に食事をする環境を整えていきます。
①-2 研修に参加し、またeラーニングなど自己学習で知識など向上させます。	強度行動障害基礎研修、実践研修、虐待防止研修等、支援に関する外部の研修を積極的に受講しました。受講した職員で研修報告会を企画し、支援正職で学んできたことを共有しました。	概ね実施できました。	継続していきます。
②-1 ご利用者の気持ちやニーズを大切にし、一人ひとりのペースを大切に活動を提供します。	意欲、ペース、気持ちを大切に、無理なく活動に参加できるように配慮しました。集団活動が難しい場合は、個別対応の設定をしました。	概ね実施できました。	今後も安全に、安心して過ごせる環境づくりに努めていきます。

<p>②-2 一人ひとりのペース、方法を大切にしながら、グループ生活の支援を展開してまいります。</p>	<p>ご本人の得意なことや興味のあることを積極的に取り入れ、グループ活動に参加しやすい設定を工夫しました。ご利用者の得意なことを活動の中で共有することができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>個別対応で安心できる環境を整えた後、グループの中でも個々の力を発揮していただけるよう、引き続き、環境整備に努めます。</p>
<p>②-3 年度内に1回ご利用者面談を行い、ご要望をお聞きして、より良い支援につなげます。面談方法は、対面、電話のアンケートを取り、実施してまいります。</p>	<p>ご家族やご本人の要望を確認し、面談の中で再確認できました。対面面談に限定せず、電話での面談を実施することで幅広い時間設定の中で、無理なく実施することができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>継続してまいります。</p>
<p>②-4 ご利用者の活動内容をご家族に見学していただく場の設定や活動の情報を提供する機会を作ります。</p>	<p>感染症対策で中止していた活動見学会を再開しました。アンケートにて見学日や活動内容をご希望を調査し、できる限りご希望の活動見学会ができるよう設定しました。花の郷で生き生きと活動に参加される様子を見ていただきことができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>引き続き、実施してまいります。</p>
<p>②-5 感染症対策に向けた取り組みとして、密を避けた活動の提供に配慮します。 (手洗い、うがい、フェイスシールド着用、換気など)</p>	<p>コロナは5類に移行しましたが、基本的な感染対策は継続し、施設内で感染が広がらないよう配慮しました。濃厚接触者の取り扱いについては、徐々に緩和し、個別対応、自主送迎での受け入れを実施しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>感染対策に配慮しながら、安心して通所できる場を保障できるよう努めてまいります。</p>

<p>②-6 コロナ禍で中止していた活動を安全に実施します。また、それに代わる活動や行事を検討します。</p>	<p>花の郷祭りの開催、活動時間内での外出等を実施しました。花の郷祭りでは徐々に地域の方々や市内の福祉施設のご協力の中大盛況でした。地域とのつながりの大切さを再確認する機会となりました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>感染対策をしながら、地域とのつながりを大切にした施設運営をしていきます。また、ご利用者の豊かな生活の保障として地域に出て行く活動を設定していきます。</p>
---	---	-------------------	---

【Aグループ】

<p>(1) 目標</p>
<p>① 安全・安心して過ごせるよう支援します。</p>
<p>② 心身の健康に配慮します。</p>
<p>③ 一人ひとりのニーズやペースに合わせた活動の提供を目指します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 ご利用者一人ひとりに応じた支援を行い、安心・安全・安定した活動を提供します。</p>	<p>ご利用者一人ひとりに合わせた支援を行いました。状況に応じて、じっくりとお話を聞いたり、個別での対応を行うことで、安心・安全に過ごすことが出来ました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>①-2 支援者間で支援方法の共有をし、グループ全体で安全・安心な環境作りに努めます。</p>	<p>グループ日誌や会議資料、ケースカンファレンスを通して、支援方法の共有をし、安全・安心な環境づくりに努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>

<p>①-3 心の動きに配慮し、一人ひとりのニーズに合わせた支援を行います。ホール・グループ室を活用し、状況に応じて個別での支援や、少人数の支援を行ない、安心して過ごせられるようにします。</p>	<p>ご利用者の心の動きに配慮したり、個々のニーズを汲み取り、活動設定をしました。ホールとグループ室を活用して、状況に応じて少人数での支援を行いました。課題としてホール、グループ室が使用できないときにエレベーター前のスペースで活動することがあり、活動に集中できない様子がありました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>今後は1階のホールが活用できるように、他のグループと活動を調整します。</p>
<p>②-1 日々の生活（活動）の中で、看護師、ご家庭、グループホームと連携を図りながら健康の維持・増進に努めます。</p>	<p>体調に変化があった場合は、速やかに医務に報告し、ご家庭・グループホームと情報共有をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>②-2 基礎代謝を高める活動を行ない、健康の増進に努めます。</p>	<p>園芸・散歩・ムーブメントなど、体を動かす活動や足湯を設定し、基礎代謝を高めました。体制が整わないため、ご利用者の1週間の散歩の回数を把握し、平等に設定できるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>③-1 一人ひとりの自主的な行動や発言を受け止め、可能性・経験の広がりにつながるよう支援します。</p>	<p>活動の中で、ご利用者の自主的な行動や発言が引き出せるよう支援しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>③-2 ご利用者が楽しく、達成感を得られるような活動の提供を行ないます。</p>	<p>グループごとの活動設定のため、2つの活動を設定することで、ご利用者が楽しく活動参加できるようにしました。今年度体制が整わず、クッキーの設定はできませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>

<p>③-3 クッキー、園芸などの生産、販売活動を通してご利用者の社会とのつながりを大事に支援します。</p>	<p>園芸は定期的実施し、収穫物を販売しました。秋からアグリハウスでの販売を再開しました。</p>	<p>着手できませんでした。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます</p>
---	---	--------------------	------------------------

【Bグループ】

<p>(1) 目標</p>
<p>① 一人ひとりのニーズに合わせた活動提供をします。</p>
<p>② 安全に楽しく食事ができるよう工夫します。</p>
<p>③ 心と体の健康維持を図ります。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 生産活動や療育的活動の中で、個々の強みを活かした活動設定をします。</p>	<p>個々の能力に合わせてパッキン以外にもパックはがし、シール貼りを実施しました。また、新し生産活動としてビワの葉を使った草木染を取り入れました。葉を採集するところからはじまり、紙に色を付けて干すところまでと、色々な作業に取り組みました。トランポリンではできる方は揺られるだけではなく、座位や立位を取って跳ねるなど新しいことにチャレンジしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き生産・療育両方の活動の中で、ご利用者ができることを模索し、得意なことを伸ばす内容にします。</p>
<p>①-2 新型コロナウイルスの感染状況に応じて納品や販売等に参加し、社会とのつながりを大切にします。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で実施することができませんでした。</p>	<p>着手できませんでした。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染状況など見ながら実施します。</p>
<p>①-3 新型コロナウイルスの感染状況に応じて外出を設定し、自ら選択する、購入する、金銭のやりとりを行う等の機会を提供します。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染状況をふまえながら、短時間での外出を一回行いました。期間が空いてから初めての外出でしたがみなさん安全に楽しく外出することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染状況など見ながら実施します。</p>

<p>②-1 摂食に関する知識を共有し、一人ひとりに合った食事支援を行います。</p>	<p>日々グループの職員全員が摂食支援（口腔周辺のマッサージやレンゲのみ、かじりとりなど）に取り組みました。STカンファレンスではご利用者の評価の確認、摂食支援の確認を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き日々の支援の中で摂食支援にも取り組んでいきます。</p>
<p>③-1 安定して過ごせるように、その日の体調や気持ちに合わせた支援を行います。</p>	<p>連絡帳の記載やご本人の様子を見ながら、その日の体調や気持ちに合わせて活動設定を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き体調や気持ちに合わせた活動調整を行います。</p>
<p>③-2 てんかん発作や体調不良時は、看護師やご家庭、ホームと相談しながら迅速且つ適切に対応します。</p>	<p>発作時は安全に注意して対応しました。また体調不良やけがを確認した時には場合によっては看護師に相談し、連携して対応しました。寝不足の際は活動内容を変更し、安静に過ごせるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き発作、体調不良時は適切に対応します。</p>

【Cグループ】

<p>(1) 目標</p>
<p>① ご利用者が安全・安心して過ごせる環境を整えます。</p>
<p>② 充実した活動を提供します。</p>
<p>③ 一人ひとりの健康維持を支援します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 支援者が連携し合い、環境整理をし、転倒事故やその他事故防止に努め、安全・安心な環境づくりに努めます。</p>	<p>他害事故等が1件起きましたが、原因を分析し、話し合い、共有し、実践し再発防止に努め、安全安心な環境づくりに努めました。ヒヤリハットも共有しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>ヒヤリハットの活用しやすい環境作り、事故防止の為の更なる職員意識の向上。</p>

<p>②-1 創意工夫しながら活動を設定し、充実した楽しい活動を提供できるよう努めます。</p>	<p>ご利用者の精神面、体調に合わせて活動を設定しました。グループの小集団だからこそ、一人一人にスポットを当て、ニーズに合わせた活動設定をすることができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>ご利用者にあった更なる活動の工夫。</p>
<p>③-1 体の取り組みや散歩を定期的実施し、心身ともに健康維持を図ります。</p>	<p>散歩は安全に出かけることができる体制を整えて実施しました。また、PTからアドバイスをいただくことで、ご利用者の現状に合った体の取り組みを実施することができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>体の取り組みを行う時間、人手の工夫。</p>
<p>③-2 ご利用者の様子観察を行ない、健康状態や様子の変化の把握に努めます。また、看護師や専門職との連携を図り適切な対応をします。</p>	<p>記録表を用いて、てんかん発作や排泄の記録等について、ご家庭やグループホームと共有しました。STの評価を受け、できていること、現状の課題、将来に向けて必要な支援を理解することができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>年齢と共に変化する摂食機能の観察。口腔内の健康維持。</p>

【Eグループ】

(1) 目標
① 障がい特性を理解し、健康面に配慮をします。
② 安全で楽しい食事を提供します。
③ 充実した活動を提供します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 一人ひとりの体調に合わせた生活ペースを大切にします。</p>	<p>ご利用者個人の意思や体調、ペースを尊重しながら、無理のない範囲で集団生活を送れるように配慮しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>安全性の確保、より快適なペースの確保について考えていきます。</p>

<p>①-2 看護師と連携し、認定特定行為業務従事者が安全な医療的ケアを実施します。</p>	<p>口鼻腔吸引、胃瘻、経鼻胃管などの医療的ケアに関して、第三号研修を実施し、看護師と協力して安全に配慮した医療的ケアを行いました。 また、カニューレフリーの気管切開部の吸引も看護師のもと支援職員も安全に実施しています。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>積極的に医療的ケア者との関わりをもち、看護師と連携しながら、添乗、フォロー等に入れるようにしたいと考えます。また、他グループに異動になった職員であっても定期的に、手技の確認を行います。</p>
<p>①-3 体調の変化や緊急時には保護者、看護師と素早く連携を図ります。</p>	<p>体調変化があった時や新型コロナウイルスの疑いなど、緊急時には保護者、看護師と連携を取り合いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>継続します。</p>
<p>②-1 安全に楽しく食事できるように支援します。</p>	<p>決まった時間に食事をし、和気あいあいとした雰囲気の中かで食事を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>ご利用者を交えた内容の会話を心掛けていきます。</p>
<p>③-1 ムーブメントや音楽、スヌーズレンなど感覚を刺激する活動を大切にします。</p>	<p>ムーブメントではボールプール、ブランコ、トランポリン、サーキット、陣取り等様々な取り組みを行いました。朗読では沢山の本を読みました。朝顔やマリーゴールドの摘み取り等ガーデニングも行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>よりご利用者に楽しんで頂ける療育的活動を検討していきます。</p>
<p>③-2 常に活動の工夫をしながら安全に楽しく参加できるようにしたり、外出や季節感のある行事を通し、豊かな時間を過ごせるようにします。</p>	<p>レクリエーションではご利用者がより関わりやすく楽しめる工夫をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>ご利用者に楽しんで頂く活動を検討していきます。</p>

【Fグループ】

(1) 目標
①一人ひとりの体調に配慮し、安定した生活、楽しく安全な食事を提供します。
②一人ひとりのニーズに合わせて様々な活動を設定し、充実した時間を過ごします。
③たくさんの人との関わりを楽しみ、人間関係を広げます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 ご家庭と連携し、看護師と相談しながら全職員で安心して生活できる環境を作ります。	毎朝、連絡帳や健康ノートで体調やコンディションを確認し職員間で周知して、支援しました。ご家族や看護師と情報を共有しました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます。
①-2 一人一人に合わせた形態で食事を提供し、安全に食べられるよう食具や姿勢、介助方法を全職員で共有します。	安全に食事が出来るよう必要に応じて給食を携帯食に再調理して提供しました。食事姿勢や食事介助の方法を職員間で確認しながら行いました。食具はご本人にあったものを使い、周りの環境にも配慮しながら食事支援しました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます。
②-1 一人ひとりのニーズや興味に合った活動を設定します。出来る事が増やせるよう支援しました。	ご利用者が自信を持って出来る事が増えるよう活動を工夫しました。。それぞれの得意分野を伸ばし、苦手なことも職員が寄り添って一緒に行うことで、積極的にチャレンジ出来るよう支援しました。	実施できました。	今後も引き続き継続していきます。

<p>②-2 安全に充実した活動を設定し、楽しく過ごせるよう支援します</p>	<p>1人1人が安心して過ごせる環境を整えました。また安全に歩行できるよう、テーブルや椅子がご利用者の歩行の妨げにならないようにしました。また車椅子やベットで過ごすご利用者がベットや車椅子から転倒、転落しないようサイドレールやベルト、カットテーブルを使用しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>③-1 活動を通していろいろな人との関わりを楽しめるよう支援します。</p>	<p>毎日沢山の職員とコミュニケーションをとりました。職員も担当のご利用者だけでなく、くグループのご利用者全員に気を配りました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>③-2 外出する機会を設定し、地域社会とつながる機会を作ります。</p>	<p>今年度、ガストへランチ外出に行きました。ご利用者がそれぞれ好きなものを注文し、普段と違う環境での食事を楽しみました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>④-1 必要に応じ、面談やカンファレンスを設定します。また、関係機関との連携を図り、地域生活を支援します。</p>	<p>今年度STやPTの評価を行いました。カンファレンスは行えませんでした。その都度、職員間での引継ぎをしながら情報共有して行きました。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分でした。</p>	

2. 生産活動部門

【クッキー】

<p>(1) 目標</p>
<p>① 新型コロナウイルスの感染状況に応じた販売、納品を設定し、地域社会とのつながりを広げていきます。</p>
<p>② 品質の向上、新製品の開発により花の郷ブランドの向上を目指します。</p>
<p>③ クッカ広場、花の家と連携を図り委託販売、イベントへの参加など協力しあい販売を促進します。</p>

- ④ 工場の作業工程を見直し、多くのご利用者の作業参加を目指します。
- ⑤ 年間売り上げ300万円を目指します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 新型コロナウイルスの感染状況に応じて、販売、納品の設定を検討し、ご利用者が関わられるようにします。	秋からアグリハウスでの販売、テラスの販売を再開しました。納品はダリア園、しあわせハウスへ行きました。	実施できました。	
②-1 ご利用者の意見やお客様の声を大切にし、品質の向上に努めます。	ご利用者の意見やお客様の要望により、一般に販売していない特別注文として商品を作りました。卒業式、お花見などのイベントで使用してくださいました。	実施できました。	
②-2 工房会議を定期的実施します。	定期的実施しました。	実施できました。	
③-1 花の家やクッカ広場と協力し、委託販売、お中元、お歳暮を通して販売促進に努めます。	贈答用BOXの押し花のシールを日中の活動では作成できなかったため、押し花をコピーしたシールに変更しました。ご利用者が作業に入る機会が少なく、ご利用者の意見を聞くことができませんでした。	着手しましたが、達成できませんでした。	
④-1 クッキー作りの作業を見直し、支援職員、工房職員とご利用者が参加出来る作業方法を考え、環境を整えます。	5月の工房会議で話し合い、ご利用者と支援者が作業の見学をすることから始め、作業方法を見直すことになりました。作業の見学は数回実施できましたが、作業方法の見直しには至りませんでした。	概ね実施できました。	

⑤-1 新型コロナウイルスの感染状況に応じて、委託販売やイベントなどの出張販売に参加します。	ハッピー夏祭り、花の郷まつり、赤い屋根まつりでクッキーの販売をしました。年間の売り上げは400万弱となりました。	実施できました。	
⑤-2 花の郷通信、ホームページ、ちらし等を利用し、クッキーに関する情報を発信します。	イベント（クリスマス、ハロウィンなど）用のクッキーはチラシを配布しました。ホームページの活用には至っていません。	概ね実施できました。	

【動物用クッキー】

(1) 目標
① 誰もが参加出来る環境を整え、一人ひとりが力を発揮できるよう作業設定を行います。
② 動物用クッキーの宣伝活動を行い、地域に根ざした活動を展開します。
③ 年間売り上げ3万円を目指し、安全な商品を提供します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 活動時間や参加人数は、一人ひとりのご利用者の特性を理解した上で最適な設定・配置をします。	設定できませんでした。	着手できませんでした。	作業設定の時間、場所を確保が難しい。
①-2 道具や環境、身だしなみを整え、安全で衛生的な活動を提供します。	設定できませんでした。	着手できませんでした。	
①-3 作業行程を細分化し、一人ひとりのニーズに合わせてそれぞれの得意なことを活かした作業を設定します。 (生地作り、型抜き、袋詰め、買い物、パソコンでのポスターやラベル作りラベルのスタンプ押し等)	設定できませんでした。	着手できませんでした。	

②-1 定期的なテラス販売、花の家の納品を設定し、ご利用者が関わられるようにします。	設定できませんでした。	着手できませんでした。	作業設定を確保します。
③-1 計画的な活動設定を行い、安定した生産・販売を行います。	設定できませんでした。	着手できませんでした。	計画的な活動設定、活動場所を設定します。来年度は活動を見合わせ、環境が整い次第、活動を再開します。
③-2 動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）、食品表示法に基づき、商品のラベルの作成、品質管理に努めます。	設定できませんでした。	着手できませんでした。	

【草木染】

(1) 目標
① ご利用者の作業意欲や持っている力を引き出せるよう支援します。
② 植物採集を通して五感に働きかけます。
③ 販売を実施し社会参加を支援します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 紙すきや紙の染色、紙パッキンや紙ちぎりなど、様々な作業を行うことで個々のニーズに対応し作業意欲を高めます	各グループでご利用者の能力に合った活動を提供しました。出来ることが増えるよう作業方法を工夫しました。	概ね実施できました。	
①-2 ちぎる、すくう、押す、伸ばす、叩く、はがすといった作業工程を通じてご利用者の持っている力が発揮できるよう支援します。	作業工程を細分化しご利用者ができる作業から実施していくことで、作業能力を引き出すことができました。	実施できました。	

<p>②-1 植物を採集することで四季折々の草花に触れ、観たり匂いをかぐことで様々な感覚に働きかけます。</p>	<p>季節に応じて植物を育てたり、採取したりすることで五感に働きかけるよう支援しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>定期的な花の採集、年間を通して草花の栽培を行っています。</p>
<p>③-1 ご利用者、購入者ともに満足いく製品を作製し、社会参加意識と売上げ向上につながる支援を行います。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響のため、販売は実施しませんでした。</p>	<p>着手できませんでした。</p>	

【園芸】

<p>(1) 目標</p>
<p>① 作業を通して、運動量の確保、健康の増進に努めます。</p>
<p>② 他の生産活動との連携を図り、生産活動全体の収入増を目指します。</p>
<p>③ 花の郷敷地内の土地の有効活用を行います。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 ご利用者のニーズ、能力に合わせた作業提供を行います。</p>	<p>ご利用者のニーズ、能力、健康状態に合わせ畑作業、室内作業を行いました。室内作業では、新たにポットでの植えを設定し、外作業が難しい方でも園芸活動に参加できる機会を提供しました。夏場の暑さ、冬場の寒さ、雨天等、天候や気候に考慮し、作業設定しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>①-2 土運びや土ふるい等、体を動かす活動を行います。</p>	<p>土づくりや土ふるいなど、体を動かす活動を設定し、ご利用者の運動量の確保に努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>

<p>②-1 クッキーに使う野菜の栽培、ペパーミントの管理をします。</p>	<p>クッキーに使用する野菜の栽培をしました。今年度は落花生、ゴマ、サツマイモを栽培しクッキーに使用しました。ペパーミントは、夏場は露地で冬場は衣装ケースで、簡易栽培を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>③-1 作業棟が園芸作業だけでなく、他の活動や会議に使用できるように、清潔な環境を維持します。</p>	<p>定期的に作業棟内を掃き掃除などを行うことで、清潔な環境を整えることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>
<p>③-2 花の郷内の敷地内の土地を有効活用し野菜の栽培などを行い園芸収入アップとご利用者の豊かな生活に繋がるよう、年間を通して活用を試みます。</p>	<p>限られた敷地を有効活用し、一年を通して色々な野菜を栽培することができました。またご利用者へ収穫の喜びを得ることができるよう、農繁期に収穫できる作物を多く栽培することで、収穫の楽しさを感じる機会を多く提供できました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も引き続き継続していきます。</p>

3. 医務部門

(1) 目標	
①	ご利用者と支援の安全に配慮した環境を整えます。
②	ご利用者の個性を考慮した専門職との連携を強化します。
③	指導看護師として医療的ケアの安全な実施を継続します。
④	ご利用者の口腔衛生環境 向上に努めます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 健康にかかわる情報を中心に支援職員と共有します。	日々各グループに入り、健康ニーズの把握及び健康観察について職員と共有しました。特に睡眠・排泄についてニーズがあるご利用者・ご家族と情報を一本化することで、検討や課題が具体的にになり、その対応を提案、支援することができました。ご家庭で、サービス支援記録にある健康面記載の周知他、健康のしおりを改訂し、ご家庭に再確認していただきました。	概ね実施できました。	連絡ノート等健康に関する記載事項について、今後も「困りごと」を少しでも軽減できるよう努めます。
①-2 緊急時、災害時等、非日常的な生活を想定し、災害看護について学びを深めます。	預かり薬や医療的ケアに関わる備品、感染症対策備品の管理を継続しました。特に災害後の二次災害について共有しました。	概ね実施できました。	災害時に関わる医療及び健康・感染対策見直すべき内容を確認し、改訂します。
②-1 専門職に関わる基礎知識や技術を共有し、支援のサポートに努めます。	相談事業では、各専門職からの助言を支援に反映できるよう、支援職員が中心に実施できるよう協力しました。専門職担当や看護師が相談に立ち会うことが体制上困難だったため、来年度は総合的に関わられるよう取り組みます。摂食嚥下勉強会をサポートしました。	概ね実施できました。	支援職員がより多く専門職の相談に立ち会えるよう、体制等で協力します。また、記録を看護師間で確認します。

<p>②-2 看護の専門性を支援に反映できるよう看護師会議で共有します。</p>	<p>送迎添乗を調整し、朝に看護師会議を実施しました。そこで看護技術に関わる最新のエビデンスを共有したり、身体拘束等施設としての取り組みを共有しました。日常タイムリーな情報共有として、送迎添乗・検温終了後に毎日ショートミーティングを実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>看護師会議は随時、毎日のショートミーティングを継続していきます。</p>
<p>③-1 指導看護師として計画的に実地研修を行います。</p>	<p>実地研修対象者を明確にし、日々支援体制の調整と協力を得て、計画的に実施研修を実施することができました。医療的ケア委員会で確認できる「ご利用者医療的ケア一覧及び認定特定行為業務従事者の取得状況一覧」を作成しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>例年、認定特定行為業務従事者の演習・実地研修は、花の郷の医療的ケアには欠かせない業務のため、継続して計画的な実施ができるよう努めます。</p>
<p>③-2 認定特定行為業務従事者の研修マニュアルを作成し、運用します。</p>	<p>認定特定行為業務従事者の研修マニュアルを作成し、運用しました。計画的にフォローアップ研修を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>認定特定行為業務従事者が安全に実施できるよう、継続して計画的な実施ができるよう努めます。</p>
<p>④-1 口腔ケアに関する啓蒙活動及び学習の機会を作ります。</p>	<p>歯科検診の結果及び悩みごとのアドバイスや記録など、歯科検診を実施したご利用者一人ひとりに内容を還元しました。検診内容のまとめから、職員で共有したい内容をポスターで掲示（クイズ）し、職員自ら学ぶ時間を作りました。また、ご利用者向けに歯磨きに関する読み聞かせ本を購入し、活動等で歯磨きの大切さを伝えました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>摂食及び全身状態に影響する口腔ケアの大切さについての啓蒙活動を継続し続けます。</p>

4. 栄養部門

(1) 目標
① 季節感のあるメニュー、味付けや盛り付けの工夫、ご利用者の嗜好の反映等により美味しくて飽きのこない食事の提供に努めます。
② ご利用者個人にあわせた食物形態（形態食）での食事の提供に努めます。
③ 食事環境の整備、職員の衛生の徹底を図り、衛生的で安全な食事を提供します。
④ ご利用者一人ひとりに快適な食事時間を設定し、ご利用者に適切な支援を行います。
⑤ 災害時に備え、防災食の備蓄します。
⑥ 食品ロスを削減する取り組みを行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 季節の食材の使用や行事食を取り入れ、季節の感じられる食事を提供します。	野菜、魚、果物など旬の食材を使用した献立を意識しました。また、季節行事に合わせてこどもの日やハロウィン、クリスマスなどのメニューを献立に反映しました。	実施できました。	今後も、お食事を通して、季節を感じられる行事食を提供していきます。
①-2 嗜好調査（5月・11月）残食調査（8月・2月）を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・残食調査 8月21日～8月25日 2月26日～3月1日 ・嗜好調査 5月22日～5月26日 11月27日～12月1日 に実施しご利用者の嗜好の把握や献立メニューに反映しました。	実施できました。	今後ご利用者の嗜好を把握し、おいしく楽しい食事時間を提供できるよう、工夫していきます。
①-3 献立会議を実施し、献立や食事内容の改善を行います。	花の郷栄養部門でその都度献立についての話し合い、改善を行いました。また、今年度は、栄養会議を3回実施し、厨房職員間で業務改善のため取り組む内容を決めました。マニュアル化されていなかったものを見て確認できるよう、文章、表等にしましたものを共有しました。	概ね実施できました。	今後も、定期的に話し合いを設定していきます。

<p>①-4 リクエスト給食・保護者向けの給食試食会を実施します。</p>	<p>リクエスト給食は各グループご利用者に、昼食時に食べたいメニューなどアンケートを取り、献立に反映させました。 保護者向け給食試食会は、感染予防のため実施を控えました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>感染予防を最優先しながら、保護者向けの試食会の実施については検討していきます。</p>
<p>②-1 個人個人にあった食物形態の食事の提供をします。[形態食(初期・中期・後期) 普通食・アレルギー食・〇〇なし食・ダイエット食]</p>	<p>食札を使用してご利用者個々に合わせた食形態食やアレルギー食など間違えが無いように対応しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>提供できる食数を超えているため、形態食を提供できない分は、各グループにて支援職員が再調理し提供しました。</p>
<p>②-2 ニーズに応じた治療食の提供をします。</p>	<p>治療食の必要のあるご利用者については個別に作業指示書を作成し、ご利用者に合った栄養管理を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も必要に応じ、対応していきます。</p>
<p>③-1 大量調理マニュアル及びハサップに則った衛生管理を行います。</p>	<p>ハサップに準じた形の衛生管理を実施しました。細菌検査、手洗いの徹底、中心温度測定、消毒、マスクの着用などを行い食中毒予防に努め安心して食べられる食事を提供しました。また、毎日の清掃、業者による清掃、年末の清掃など実施することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き、継続していきます。</p>
<p>④-1 食事時の訪問やアンケートの実施、必要に応じて支援職員と連絡を取り合い、喫食状況の把握に努めます。</p>	<p>厨房職員が各グループを回り、ご利用者の食事の様子を観察する機会を作りました。ご利用者が食事を楽しみにしている様子やおいしく食べている様子、また、好み等を支援職員と共有することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き、継続していきます。</p>

<p>④－２ 各グループと協力し、よりよい食事時間・食事環境を整えます。</p>	<p>毎日、一定の時間に提供しました。 2階フロアでの汁物の配膳に栄養士が協力しました。安全に食事をするため、汁物の配膳内容の個別対応（とろみ、具の刻み、具と汁を分ける等）にも配慮しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度は、1階フロア配膳時の再調理に栄養士が協力します。</p>
<p>⑤－１ 防災食の備蓄をし、災害時にも不安なく食事提供ができるよう準備します。</p>	<p>ご利用者60名分を想定した防災食の備蓄をしました。賞味期限を管理し、災害時に不足のないよう補充しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>7日日から10日分の備蓄ができるよう、準備していきます。</p>
<p>⑤－２ 防災食の日を2回設定し、食べる体験、提供する体験を継続し、災害時に備えます。</p>	<p>年2回、防災食の日に昼食として提供し、食べる経験、提供する経験をしました。給食と同様の盛り付けて提供され、ご利用者も抵抗感なく、食べることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き、継続していきます。</p>
<p>⑥－１ 食品ロスを削減する取り組みを行います。</p>	<p>ロスなく提供できるよう配膳状況や喫食状況を確認しました。 また、防災食の日を実施し、備蓄食品が期限内に提供できるよう工夫しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き、継続していきます。</p>

委員会年間総括

1. 虐待防止委員会

(1) 目標
① 虐待防止や身体拘束廃止に取り組みます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 虐待防止責任者を設置し、虐待防止に取り組みます。	虐待防止責任者を施設長とし、毎月虐待防止委員会の開催を行い、ご利用者の呼称ポスターの作製や職員会議資料にて虐待防止の啓蒙を実施しました。虐待防止委員会の中で身体拘束についての適正化に向けた検討を実施することができました。また、職員に虐待防止研修や強度行動障害支援者養成研修（基礎、実践）を受講してもらい、研修で学んだことを職員において発表をしました。	実施できました。	
①-2 毎月最終火曜日に虐待防止委員会を開催し、虐待や身体拘束防止の検討を行います	施設長中心に虐待防止チェックリストの配布集計、ケアカルテへの身体拘束の状況入力を行いました。	実施できました。	
①-3 虐待防止アンケートを実施し職員全体に虐待防止に関わる啓蒙活動を行います。	チェックリストを実施し、3年分の意識の高まったところ下がったところをまとめ、職員会議資料として配布し啓蒙活動に繋げました。	概ね実施できました。	

<p>①-4 12月、2月にグループ会議で虐待に関するケースカンファレンスを行います。</p>	<p>12月に各部署（全職員）を対象に呼称は「〇〇さん」が実施できているかを議題にした会議をしました。3月に強度行動障害支援者養成研修（基礎、実践）を受講した職員が発表を行いました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	
<p>①-5 会議録等は法令順守責任者である理事長へ報告をします。</p>	<p>会議録をデータで所定のフォルダーに入れ理事長時報告しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>①-6 会議で話された内容は職員会議を通して職員周知を行います。</p>	<p>感染予防のため、グループ会議は紙面により実施しました。グループ会議の資料に虐待防止標語を載せ、折に触れて確認できるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	

2. 安全衛生委員会

(1) 目標
① ご利用者・職員の安全及び衛生のための教育を実施します。
② ご利用者・職員の健康の保持増進のための措置を行います。
③ 施設内の重大事故を未然に防ぐ事故防止に努めます。
④ ご利用者・職員が快適に過ごせる施設環境を整えます。
⑤ 感染症対策を徹底し、感染予防に努めます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 毎月定例の安全衛生委員会を開催し、利用者・職員の安全衛生及びひやりはつと事故防止に向けた取り組みを行うとともに緊急の課題（インフルエンザ対応など）が発生した場合はただちに対処します。</p>	<p>毎月定例の委員会他、随時開催することでタイムリーに検討、方針決定をしました。委員会では課題と対応、周知などスケジュールを明確にしました。事業所における感染対策指針、要項の作成及びBCP見直しを行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>感染症対策マニュアル各論を随時見直す必要があります。</p>

<p>①-2 研修会、会議（感染症、事故防止、対策（年2回）、腰痛、車いす操作）の定期開催のほか、職場のニーズに応じた学びの場を作ります。</p>	<p>グループ会議や各部署でのミーティングでそれぞれの事故防止について周知しました。また、腰痛予防等の研修を計画的に実施しました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>職場のニーズについて、事象前に予防できる内容を検討する必要があります。</p>
<p>①-3 職員が安全安心して働ける労働環境の整備をします。</p>	<p>看護主任を中心に職員の相談、アドバイスを行いました。また、安全衛生委員会で検討が必要なケースについては随時検討、確認を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-1 嘱託医と連携を取って安全・衛生面の向上に努めます。</p>	<p>年度途中で嘱託医の変更がありました。ご利用者の健康状態や、医療・健康に関わる運営規定や施設での対策等引継ぎをしました。月1回の定期健診や医療支援の相談等その都度連絡をとり、安全に安心してご利用者が花の郷をご利用いただけるように努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-1 施設内での事故及びひやりはっについて検証し、原因及び再発防止に努めます。</p>	<p>毎月月締めで月ごとのひやりはっの確認を行い、情報の共有を図ることができました。また、ドライブレコーダーによる事故検証及び事故防止の啓蒙を行うことができました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	

<p>④-1 施設内の安全、快適な環境整備について維持し更に改善します。</p>	<p>各事故検証会議において事故の原因再発予防に努めました。また、事故が多いときは職員会議資料にて事故防止の啓蒙を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-2 事故につながる前のひやりはっとについて職員に意識してもらうように啓蒙し、用紙に記入,分析したものを集計し、事故防止につなげます。</p>	<p>ヒヤリハットの件数が減少傾向にある際は各部署に再アナウンスし、職員に意識を持ってもらうように努めました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>委員会前のひやりはっとの確認及び件数減少について対策が必要です。</p>
<p>⑤-1 感染症対策を随時検討し、対応していきます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症第5類移行に伴い、施設感染対策を随時確認しました。世間一般の感覚で解除できない対応もありましたが、ご利用者の健康及び集団感染予防を最優先としました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来年度以降の感染対策を継続的に検討し、感染対策指針等改訂が必要です。</p>

3. 医療的ケア委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>① 医療的ケアを適切に行うために委員会運営を行います。</p>
<p>② 実施者の知識、技術向上に関する教育を適宜行います。</p>
<p>③ 認定特定行為業務従事者、特例実施者が安全・安心に医療的ケアができる環境を整えます。</p>
<p>④ 第3号研修及び医療的ケア、緊急時対応の研修を実施していきます。</p>
<p>⑤ 医療的ケアの啓蒙を行います。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①-1 毎月1回、委員会を開催し、適切に医療的ケアが実施できているか確認します。</p>	<p>毎月1回開催し、認定特定行為従事者、特例実施者の医療的ケアに関する現状確認、要医ケア者の現状確認、検討事項として、たんの吸引等の実施の為の研修内容の確認等々検討し、また、医療的ケアに関する研修に関しても情報を共有するようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>①-2 適宜、医療的ケアの内容の確認や変更事項やご利用者の体調の把握に努めます。</p>	<p>看護師や各フロアの主任に医療的ケアの内容や確認、変更事項、体調把握に関する報告をしてもらい、内容によっては検討し情報を共有し、安全に医療的ケアができるように努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-1 医療的ケアに関する研修への参加の機会を認定特定行為業務従事者及び特例実施者に設けます。</p>	<p>正規職員、有期契約職員に対して認定特定行為業務従事者になるための研修を実施しました。また、異動した正職などの吸引、注入のフォローアップ研修を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-2 医療的ケアを実施する場面で、手技や配慮する点などの看護師によるOJTや確認を実施します。</p>	<p>日常の支援の中で看護師と同じ空間でご利用者支援をしているので、随時看護師によるOJTや確認を実施し、安全に医療的ケアができるようにしました。また、送迎時のみ吸引をする職員には別途看護師の元、手技の確認を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-1 職員にマニュアルの周知徹底を図ります。</p>	<p>4月13日特定職員研修、てんかん発作時の座薬挿入研修の実施しました。 認定特定行為業務従事者研修は、5月10日と9月12日に経験者、未経験者に分けて2回実施しました。それぞれの特徴に合わせて学習を深めることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	

<p>③-2 情報提供を行うことによって指導医と主治医の連携の強化を図ります。</p>	<p>ご利用者の体調の変化や入院等があった場合は指導医に必ず報告し、また、主治医に意見や情報を確認したい場合は書面にて連絡を取り合い、ご利用者の状態をしっかりと把握し、支援することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>③-3 法人の医療的ケア指要項に基づいて花の郷医療的ケア要領、細則の運用を行います。</p>	<p>法人の医療的ケア実施要項に基づいて花の郷医療的ケア要領、細則の運用を行い安全に花の郷での医療的ケアを実施することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-1 計画的に研修を実施し、健全、確実な運用を行います。</p>	<p>年間計画に沿ってに実施しました。花の郷内部での認定特定行為業務従事者の育成を計画的に行うことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>④-2 職員に認定特定行為業務従事者の認定を取得してもらい、ご利用者の生活の保障等を目指していきます。</p>	<p>計画的に研修会を実施し、有期契約職員にも認定特定行為業務従事者の認定取得を計画的に実施できています。そのことごとご利用者の支援に反映することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>⑤-1 施設見学の受け入れや医療的ケアに関する研修や連絡会に参加します。</p>	<p>今年度、希望があれば施設見学や実習を実施しました。積極的な受け入れや研修参加はありませんでした。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分でした。</p>	

4. 送迎委員

(1) 目標	
①	ご利用者が安心して花の郷へ通えるよう、安全な送迎業務に取り組みます。
②	「基本ルート表」に沿って毎月送迎車の運行を行います。
③	総括を行い、送迎業務の見直しをします。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 車検以外にもディーラーに依頼し定期点検を行い、また花の郷でも定期的な点検を実施することで、車輛の安全確保に努めます。	ディーラーに依頼し、6ヶ月点検、12ヶ月点検、車検を行いました。基本的に金曜夕方からの送迎後から日曜にかけて実施することで送迎に支障が出ないように配慮しました。	実施できました。	継続して車両の安全確保に努めます。
①-2 車中ではシートベルトの他に、必要に応じて胸ベルトをすることで更なる安全対策に努めます。	ご利用者の特性や座る座席に合わせ、シートベルト以外に胸ベルトをするなど安全対策を施しました。また、個別支援計画にその旨を記載し、保護者にも確認をとりました。	実施できました。	継続してご利用者の安全確保に努めます。
①-3 運転手は急ブレーキや急発進などをしないよう心がけ、安全な走行に努めます。	運転手はご利用者が安心して乗車できるように安全な運転を心がけました。	概ね実施できました。	継続して運転手は安全な走行に努めます。ヒヤリハットや事故があった際は全員で共有して日々の業務改善に努めます。
①-4 車内では利用者の座席配置に気を配り、安全に過ごせるよう配慮します。	ご利用者の障がい特性に合わせた座席配置を行い、安全に過ごせるように配慮しました。	実施できました。	継続して車内でのご利用者が安全に過ごせるよう配慮します。

<p>①－５ 緊急時におけるマニュアルを作成し、対応の統一を図ります。</p>	<p>緊急時の対応の統一化へ向け「送迎引継ぎ表」を作成しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来年度も継続して使用し緊急時における対応の統一化を行います。</p>
<p>①－６ 「運転手マニュアル」を継続して活用し、断続的に見直しを行います。</p>	<p>昨年度作成した運転手のマニュアル・添乗員のマニュアルを使用し、送迎車の運行を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来年度も継続して使用し業務の統一化を行います。</p>
<p>②－１ 送迎ルートは原則固定とし、年度途中での大幅な見直しは行いません。</p>	<p>新規ご利用者の追加を除き、大幅なルートの変更は行いませんでした。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来年度も原則、ルートを一年間固定します。必要がある場合は臨時の送迎会議を行います。</p>
<p>②－２ 毎月１０日前後に送迎連絡表（キャンセル表）をご利用者に配布し、翌月の送迎ルート表に反映させます。</p>	<p>毎月送迎連絡表を配布することで円滑に送迎業務を行うことができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来年度も送迎業務円滑化のため送迎連絡表を毎月配布します。</p>

5. 防災委員

(1) 目標
① 花の郷関係者の防災への意識を高めます。
② 災害時の食事を体験します。
③ 応急救護訓練の実施をします。
④ 災害備蓄品の見直しを行います。
⑤ 災害時のマニュアル等の整備を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 年2回総合防災訓練を実施し実際に火災が起きた場合の自衛消防隊の動きの確認、消火器の使い方、通報の仕方、避難の仕方を確認し、防災への意識を高めます。	年に2回、総合防災訓練を実施しました。実際に避難訓練を行い、防火管理者による消火器使用の説明事務所内内線を使い通報訓練を実施しました。ご利用者、職員の防災への意識を高めることができました。今年度設置したプロパンガス式の発電機の説明を防災訓練時に行いました。防災訓練の前にBCPの見直しを行いました。	実施できました。	継続していきます。
②-1 年1回炊き出し訓練を行い、防災備蓄品の調理の仕方の確認、ご利用者への適切な食形態への対応の練習、かまどなどの設置の確認を行います。	新型コロナウイルス対応のため、炊き出し訓練は実施できませんでしたが自家発電機エネポの確認を定期的に行うことができました。防災食の日として、防災食を安全に提供しおいしく食べる経験を積むことを目的とした取り組みを実施しました。	概ね実施できました。	炊き出し訓練の実施や厨房で調理ができないときの食事提供の方法を検討していきます。
③-1 防災備蓄品に二時避難所として必要な物品を再確認します。	防災備蓄食材を中心に購入し、備蓄することができました。(形態食含む)	概ね実施できました。	貯蓄量を計画的に増やしていきます。

<p>④－２ 用途別、期限の有無、追加備品などの整理を行います。また、内容について管理していきます。</p>	<p>備蓄食材の在庫管理を行いました</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>貯蓄量を計画的に増やしていきます。</p>
<p>⑤－１ ９，２月に防災委員会を開き、施設及び設備の点検、防災倉庫の整理、花の郷災害マニュアルの作成、花の郷二次避難所開設マニュアルの整備等を行います。</p>	<p>事前に防災倉庫点検及び清掃を実施しました。衛生品を増やせるよう棚を造設しました。防災委員会では施設点検をしました。各種防災関連の引継ぎ時に確認を行いました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>二次避難所開設マニュアルの見直しが必要で</p>

6. 花の郷祭り

<p>(1) 目標</p>
<p>① 年一回の施設の開放と大きな地域交流の場として花の郷関係者及び地域の方々にも楽しんでいただけるようにします。</p>
<p>② 地域の方々に来ていただくためにPR活動を行います。</p>
<p>③ 安全に楽しめるように企画します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>①－１ ステージ企画や模擬店を通じて地域の方々との交流の機会を設けます。</p>	<p>4年ぶりに開催しました。ステージ企画はスティームパン演奏、バンド演奏の2団体の他、町田ゼルビアのマスコットキャラクターにも出演してもらい楽しいステージとなりました。近隣の少年野球チームや他事業所の模擬店、キッチンカー等にも出店してもらい、地域との交流を深めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>ステージ出演団体の選定、依頼法。</p>

<p>①-2 他団体に声をかけ、イベントや外の販売ブースなど充実できるようにします。</p>	<p>法人内のクッカ広場、他事業所の赤い屋根、森工房、少年野球チームの鶴川イーグルスターズ等の他団体に声を掛け、販売ブースを充実させることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>収益を得るための販売の検討。</p>
<p>②-1 ポスターやビラを作成し、近隣へ配ります。</p>	<p>近隣へのビラ配りは行わず、ポスターを大蔵町町内の回覧板や掲示板に掲示してもらうように依頼しました。他事業所や関係者にも案内文と併せ、ポスターの掲示依頼を郵送しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>②-2 ご利用者の活動とも連携し、計画的にビラの配布を行います。</p>	<p>上記の為、ビラ配りは実施しませんでした。</p>	<p>着手できませんでした。</p>	
<p>③-1 花の郷祭り実行委員会を開催し、企画の立案と安全かつ効率的に運営できるようにします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止対策の為の安全対策について検討を重ね、屋外開催についての企画運営を進めました。他、定期的に実行委員会で話し合いを重ね企画準備を進めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>経験の少ない職員含め、実行委員外の職員とも準備の業務を分散しながら、主体的かつ効率的に進めること。</p>
<p>③-2 ご利用者、職員全体が主体的に楽しく、達成感が持てる関わりができるよう企画します。</p>	<p>ご利用者、保護者、職員に対し、4年ぶりの祭りへのモチベーションを高めてもらうため、祭りに先行してTシャツ販売を行ったり、玄関前にステージ出演者の情報を掲示し情報共有を図るなど、各自が主体的に参加できるように工夫しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>ご利用者、職員が準備段階から主体的にかかわるための工夫。</p>

9. 日中一時支援

(1) 目標	
①	今まで日中一時支援の仕組みを再考します。
②	日中一時支援中のご利用者の過ごし方及び送迎について検討します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
①-1 までの日中一時支援について改善点を検討します。	職員が送迎業務が入ることが多く、受け入れ体制が整わなかったが、ご家族の通院など、緊急時のみ、日中一時を実施しました。	実施しましたが、結果が不十分でした。	体制が整い次第、コロナ禍前のように受け入れできるか検討する。
①-2 日中一時支援の内容、業務について改善点を検討します。	実施出来ませんでした。	実施出来ませんでした。	体制が整い次第、コロナ禍前のように受け入れできるか検討する。
②-1 日中一時支援検討委員会の中で送迎の実施について検討していきます。	実施出来ませんでした。	実施出来ませんでした。	体制が整い次第、コロナ禍前のように受け入れできるか検討する。

0.経営計画

(1) 目標
① 障がいのある人の「働くこと」と「自立生活」を支える為に、工賃向上を図ります。(就労継続支援B型)
② 地域資源としての施設の有効活用を行います。
③ 適正収支を確保します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) - ① ダイレクトメール作業を通じ、各ご利用者の技術向上を図りながら、より高い工賃をご提供できるよう、取り組みます。(就労継続支援B型)	ご利用者の得意な作業を提供しつつ、苦手な作業にも挑戦して頂く等の取り組みを行いました。機械操作など、職員が行っていた作業にも少しずつ挑戦してもらった結果、多くの作業に携わって頂きました。	実施できました。	継続して支援していきます。
- ② ご利用者ご自身の体力の低下や情緒面等に考慮し、楽しく働ける環境をご提供します。ご家族の状況等を鑑みて、相談支援事業所や支援センターと協力して適切な対応をとってまいります。(生活介護)	体力の維持向上に繋げられるレクリエーションも取り入れました。ご家庭やGHでの様子も参考にし、生活で悩み事がないか確認し、相談支援事業所や支援センターに繋ぐ取り組みも行いました。	実施できました。	継続して支援していきます。
- ③ SDGSを意識した取り組みを行います。	17のSDGSの取り組みの中の「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。」に注目し、健康的な生活に重点を置き、作業やレクリエーションを提供しました。	概ね実施できました。	継続して取り組みます。

<p>(2) - ①子どもの貧困問題等の収入格差問題のみならず、ひとり親世帯における生活環境の不安定要素やヤングケアラー問題等、子供たちを取り巻く厳しい環境に対し、地域の方々の協力を頂きながら子ども食堂を開設し、児童福祉支援活動を実施します。小中学校や地域からの情報を調査し、食材の提供や、おやつ・お弁当の配布、食事の提供と徐々に取り組みの幅を広げていきます。</p>	<p>子供食堂についての実施におき、各事業所の取り組みの見学や会議に参加しましたが、実施には至っていません。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	<p>町田市や子供食堂を運営されている事業所に対し、アルモニーで協力できることを中心に取り組んでいきます。</p>
<p>一② 二次避難所として整備をしていきます。</p>	<p>二次避難所として有事を想定した整備に取り組みました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>引き続き、食材、飲料水等の確保、BCPを基に有事の想定に取り組んでまいります。</p>
<p>(3) - ① 人件費率を75%以内にします。</p>	<p>離職者も多い状況という理由でアルモニーとしての人件費率は達成できています。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>予算も念頭に置きつつ、健全な人件費率を保てるよう運営してまいります。</p>

<p>一② 事業活動収支差額を10,000,000とする予算管理を目指します。</p>	<p>出勤率の100%を目指しながら運営に取り組みました。</p>	<p>実施しました。</p>	<p>ご利用者の体調や情緒面の様子を確認しながら、出勤率を高めます。ランニングコストの見直しも含め、今後は削れるコストを洗い出し予算管理に努めます。</p>
<p>一③ 水道光熱費、事務消耗品（白黒印刷、ペーパーレス化等）の無駄を省き、コストカットを徹底します。</p>	<p>水道の水漏れや無駄と思われる光熱費にも注目し節約に取り組みました。ペーパーレスを基調とし、できるだけ紙を出さないよう、メールでの対応や可能な範囲で裏紙でのプリントアウトに心掛けました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>継続して取り組みます。</p>

ボワ・アルモニー事業計画（就労継続支援B型）

1. 支援部門

<p>(1) 目標</p>
<p>①心も体も健康に働き続けられるよう支援します。</p>
<p>②地域との関わりを持って生活できるよう支援します。</p>
<p>③集団の中で個別支援をチームで実施します。</p>
<p>④職員の専門性の習得、資質の向上を図り、サービスの質の向上に努めます。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -①日々の健康状態の把握（健康観察票による出勤時の確認）、毎月の体重測定、半年ごとの体脂肪率測定、口腔ケア（休憩時のうがいの実施・口腔ケアの職員補助）、健康診断、歯科検診、問診を実施します。</p>	<p>健康診断、歯科検診、ブラッシング指導を実施しました。 コロナ対策に昼食前検温、適宜換気の実施。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>高齢化に伴う、健康管理・身体機能低下の把握。診断結果を保護者と共有し、治療などに結びつけていく。歯科通院に繋げ、治療の開始となりました。</p>

<p>一②生産活動において、ご利用者の体力、腰痛などの身体への負担に配慮して役割分担や作業を提供します。</p>	<p>腰痛、体力低下の防止のため、長い時間座位にならないよう、立位での作業時間を組みました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>継続して支援していきます。</p>
<p>(2) - ①行事を通して地域の方々の交流の実施。みんなの会で実施する美化活動を通しての地域貢献を行ないます。</p>	<p>コロナの影響により行事は実施できませんでした。美化活動は、生活介護にて実施。</p>	<p>概ね実施できました</p>	<p>コロナの状況に合わせて計画の見直しと代替え案の検討をします。</p>
<p>(3) - ①生産活動を通して、ご利用者の状態像や目標に合わせた作業内容や作業環境を職員で検討、共有を適宜、対応します。</p>	<p>その日々のご利用者の状態に合わせて、適宜、作業環境を調整・設定しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続。</p>
<p>(4) - ①各職員の目標管理に基づいて、外部研修に参加・研修報告を会議などで実施し専門職として必要な知識や専門性を身に付け、適切な支援が出来る様に努めます。</p>	<p>目標管理に則った階級別研修に参加し、専門職として知識を身に付けるため、内部研修を行い、外部研修にも参加しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も達成に向け、計画を行い継続。</p>

2. 生産活動部門

(1) 目標
① “働く” ことから「生きがい」「やりがい」が実感できるよう支援します。
② 授産収入を上げ、工賃アップします。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
【全体】 (1) - ① 毎月の作業実績・売上をグラフで表し、仕事の達成感を共有します。	グラフ化し、支援会議での報告、検討、食堂の掲示板に掲示し、みんなの会にて報告をしました。	実施出来ました	次年度も継続。 1日の封入、宛名貼りの部署ごとに目標数を作業場に掲示して、達成を共有できるようにする。
② ご本人のスキルや目標、作業の納期や作業量に合わせ、ご利用者の作業分担を検討し、個々に設定し実施していただきます。	ご本人の能力に合わせ、封入点数を調整し、質を高めペース良く行なえるようにしました。	実施出来ました。	次年度も継続。
(2) - ① 作業状況を本体・分場の支援職員間で共有し、納期や作業量に応じて臨機応変に職員体制を調整して授産収入および工賃アップを実施します。	ほぼ固定の職員でしたが、状況に合わせて職員の配置を適宜実施しました。	概ね実施出来ました。	職員の欠員の改善
【就B】 (1) - ①ご利用者が毎日意欲を持って、個々の持つ力を大いに発揮していただけよう、作業の組立・工程の工夫、作業ジグの開発、また個別スペースを活用し、作業を実施します。	的確に個人の能力に合わせた作業工程や環境を整備しました	実施できました。	次年度も継続。

<p>(2) - ① 受注量150,000通/月以上、収入月平均1,200,000円/月以上を目標とします</p>	<p>平均工賃35,000円を下回らないように職員欠員の中達成しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続。職員による事前準備、後処理で残業がある。売上、DM Sとの関係性などから受注量を維持するのか残業削減の為受注を減らすのか課題。</p>
---	--	-----------------	---

ボワ・アルモニー事業計画（生活介護事業）

1. 支援部門

(1) 目標			
① 心も体も健康に働き続けられるよう支援します。			
② 地域との関わりを持って生活できるよう支援します。			
③ 職員の資質の向上を図り、サービスの質の向上に努めます。			
④ 余暇活動を設定し、充実した時間を過ごします。			
(2) 計画			
(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) - ① 毎朝バイタルチェックを行い健康状態の把握 毎月の体重測定、半年ごとの体脂肪率測定、口腔ケア（休憩時のうがいの実施・口腔ケアの職員補助）、健康診断、歯科検診、問診を実施します。</p>	<p>看護師との連携の元、毎朝のバイタルチェック健康状態の把握のほか、毎日の口腔ケア、ブラッシング指導、月例の体重測定、健康診断・歯科検診・問診を実施しました。結果については各ご利用者に個別にお伝えしています。コロナワクチンの集団接種を行ないました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続。</p>
<p>- ② 生産活動において、ご利用者の状態像に合う作業を提供し、無理なく取り組めるような作業を提供します。</p>	<p>工程ごとに分けるなど、各ご利用者それぞれのペース・方法で作業に携われるよう作業提供をしました。機械操作にも積極的に取り組んで頂いております。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続。</p>

<p>(2) - ① 行事を通して地域の方々との交流を実施します。みんなの会で実施する美化活動を通しての地域貢献を行います。</p>	<p>感染症等のリスク回避等の理由により、地域交流は出来ませんでした。社会貢献の一環として美化活動に取り組みました。</p>	<p>実施できませんでした。</p>	<p>2024年10月に地域交流イベントを計画中です。</p>
<p>(3) - ① 各職員の目標管理に基づいて、外部研修に参加・研修報告を会議などで実施し専門職として必要な知識や専門性を身に付け、適切な支援が出来るよう努めます。</p>	<p>目標管理に則った階級別研修に参加し、専門職として知識を身に付けるため、内部研修を行い、外部研修にも参加しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>外部研修、リモート研修を増やせるよう取り組んでまいります。</p>
<p>(4) - ① ご利用者のご希望を取り入れながら、毎月2回余暇活動を計画、実施します。</p>	<p>月2回のレクリエーションを計画、実施しました。実施内容をポスターなどで掲示して事前にお知らせする事や製作活動での作品を展示、自分でやりたいものを選択できる機会も設けました。また体力維持向上の面からレクリエーションにストレッチ、ボールやゴムチューブを使用した運動、ダンス、エア卓球、グランドゴルフなど身体を使ったプログラムを多く取り入れました。月2回のレクリエーションに加え、11月に本体分場全体での日帰りレクリエーションも行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	

2.生産活動部門（生活介護）

(1) 目標
① ”働く”ことを大切にします。

計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) - ① DMSからの作業を中心として、平均工賃7,200円を目指します。	適宜個別スペースを活用し、集中して作業に取り組めるよう環境を設定しました。	実施できました。	目標工賃に関しては達成できました。レクリエーション等も含め、ご利用者の体力維持に繋がることを意識しながら作業提供をします。
- ② 個々のご利用者により合った方法で作業を提供し、生産性を高めていきます。	作業内容により、席の配置変更を行いながら、ご利用者が安全に動けるように作業の提供を行いました。	実施できました。	
- ③ 働くことの大切さをご利用者と一緒に考えていきます。	個々の特性にあわせた仕事のしやすい環境を提供することやご利用者自身が取り組みたい作業の提供を行い、働くことの意識が高まりその結果、目標工賃を達成出来ました。	実施できました。	

3. 栄養部門

(1) 目標
① 日本人の食事摂取基準に基づいて、ご利用者一人ひとりに適正な栄養のある食事、年間を通して飽きの来ない美味しいランチ提供を目指します。
② HACCPに基づいた衛生管理の徹底をし、安心・安全な食事提供をします。
③ 年間でテーマを決め、食事と健康の大切さを理解していただけるように食育指導をいたします。
④ 災害時を想定した献立を、喫食者数に応じ対応出来るように訓練を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) - ① 一人ひとりに適正な栄養目標量を設定して献立作成を行います。	個別の栄養目標量を4月、10月に設定して必要な栄養が摂取できる献立作成を行いました。	実施できました。	次年度も継続。
- ② ご利用者の嗜好調査、アンケート、健康診断の結果、食事時の訪問を通して利用者の摂食機能や食事状況の把握に努めて、支援職員、看護師と連携を図り、必要な栄養素を摂取出来る食事量、食事形態を考慮した給食を提供します。 また、肥満の方（BMI 25%以上）には、カロリー33%減で食物繊維が豊富なマンナンヒカリ入りごはんを提供します。	アンケート調査の結果や個人の嗜好への配慮、健康診断や通院の結果を踏まえて個別の計画を立て食事提供を行いました。 肥満傾向のある方にはマンナンヒカリ入りご飯を提供しました。	実施できました。	次年度も継続。
- ③ 季節の行事食の提供、ご利用者一人ひとりの誕生会を誕生者のリクエストメニューで実施します。毎月、選択メニューも実施します。	リクエストをご利用者全員にお聞きし、誕生会とリクエストが多い時には、その月中に実施して喜んでいただけました。選択メニューは月2～3回実施しました。	実施できました。	次年度も継続。

<p>－④年間を通して飽きの来ないように、旬な食材を用いた新メニューを取り入れて提供します。</p>	<p>旬の食材を使用した季節感のある、色彩豊かな食事の提供を行いました。また、ご利用者から、さまざまなリクエストをいただけて、新メニューの開発にもつなげることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続。</p>
<p>(2)－①「食材の品質」 「冷蔵庫・冷凍庫の温度」 「調理員の健康管理や衛生的な作業着の着用」「調理中の重要管理のポイント」など HACCPの考え方を取り入れて立てた衛生管理計画の表に、毎日記録をつけて確認をします。</p>	<p>出勤時や調理中に、それぞれの書式にもれなく記入をして、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の徹底をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続。</p>
<p>－② 昨年度に引き続き、コロナ禍に伴い密をさけてパーティションを設置し、2交代制での給食提供をし、酸性水やアルコールを用いて常に消毒を行います。 ※国の定める感染症法上の分類の引き下げ等を鑑み、給食提供方法を検討します。</p>	<p>6人掛けのテーブルに互い違いに3名の席をご用意して一人ずつにパーティションで仕切り、食堂の準備時、ご利用者の入替時、食事終了後には必ず消毒を行いました。コロナが5類になってからは、パーティションや交代制は中止して、セルフ方式配膳に戻しました。</p>	<p>実施出来ました。</p>	<p>感染状況等に合わせて、食事をする環境を整えていきます。</p>
<p>－③ 清掃チェックリストに基づいた清掃の他、5月と11月に厨房内、食堂の大掃除を実施します。</p>	<p>出来る限り通常業務を早く終わらせるように努力をして、5月、11月に一カ月をかけて、厨房内、食堂、ベランダ、窓、外回り、トイレ、各種フィルター等を丁寧に掃除をしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続。</p>

<p>(3) -① 春夏秋冬に合わせ年間で4つの食育のテーマを決めます。食事のマナーを守って、落ち着いて正しい食事が取れるようにご利用者に伝えていきます。</p>	<p>テーマにそっての実施はせず、食事姿勢、食器の持ち方、ゆっくり噛んで食べること、静かに食事するなどのマナーを、日常的に食事にお伝えしました。</p>	<p>概ね実施できました。</p>	<p>次年度も継続。</p>
<p>-② 食事のありがたさを改めて感じられるように、「食べ物に感謝」「食事を作る人への感謝」の気持ちを感じていただけるようにご利用者に伝えていきます。</p>	<p>給食ができるまで、いろいろな人がかかわっていること。また、防災食メニューで備蓄食品の時は、いつもの食事のありがたさ等をお伝えしました。残食はほぼないので、食品ロスにも勤めています。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続。</p>
<p>-③ 「日本の冬のお祭り」をテーマに各地の郷土料理を含んだお祭りニューを提供する食育週間を1月に実施します。食事をとりながら各地方の伝統食等について学ぶことが出来るよう取り組みます。</p>	<p>1/22~1/26に5都道府県のお祭りを行っている地域の郷土料理を実施しました。お祭りや郷土料理のスライドを見ていただき、その土地の食材を使用した料理を提供してわかりやすくご説明いたしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度は、ご利用者の希望の多かった食育への取り組みを実施予定です。</p>

<p>(4) -①今年度に賞味期限がせまっている備蓄食材を、召し上がっていただいて、作り方やご利用者が食べやすいかなどを確認します。新たに備蓄食材を購入する時の参考にして備蓄食材を選びます。</p>	<p>備蓄食品を召し上がっていただく時は、蓋や袋を開ける、まぜるなど、ご利用者のできることはやっていただきました。備蓄食品の入っているパックのまま食べられずらいか、おいしく食べられているかなどを、見て、聞いて、新たな備蓄食材を購入しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も賞味期限が切れる備蓄食品がありますので、防災食訓練を計画します。</p>
<p>②炊き出し窯やカセットコンロを使用して、給食でローリングストックしている食材で食事作りをします。</p>	<p>給食食材在庫の乾物類、缶詰、冷凍庫にある食材を使用して作る献立を、炊き出しかまど、カセットコンロを使用して食事提供を実施しました。普段から食べなれている食材の料理なので美味しく召し上がっていただけることが出来ました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>給食の在庫食品を増やして、災害時により多くの食事提供が出来るように災害時マニュアルを作成します。</p>

みんなの会

<p>(1) 目標</p>
<p>① みんなの会でご利用者に関わる行事内容などを話し合う機会を設定し、ご利用者を中心に決定します。</p>
<p>② ご利用者一人ひとりが自己表現・自己決定できる機会とします。</p>
<p>③ 地域交流活動を行います。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -①ご利用者の意見を反映させ、良い行事となるようみんなの会で話し合う時間を作ります。</p>	<p>みんなの会でやりたいことや行ってみたいところを話し合う場をつくりました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>話し合いを行い多くのご利用者の意見取り入れられるようにします。</p>

<p>(2) -①行事の内容や参加をご利用者自らの意思で、選択する、設定するなどの自己決定ができるようにします。</p>		<p>実施できました。</p>	<p>意思決定できる機会を増やします。</p>
<p>一②年度末にみんなの会役員選挙を通じて、立候補することや他のご利用者を推薦する・されるなど、自身の自己表現・自己決定ができるようにします。</p>	<p>立候補者を募り立候補者の中から、選挙によりみんなで役員を決めることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>継続します</p>
<p>(3) -①地域の中で共に生活する一員として、地域貢献として美化活動を実施します、</p>	<p>作業の合間に美化活動を実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>来年度は今年度よりも美化活動の回数を増やし、地域に貢献していきます。</p>

保健衛生

(1) 目標
① ご利用者の安心・安全を目指した健康支援を行います。
② 歯科衛生に努めます。
③ 家庭支援としてご家族からの健康相談に応じます。
④ 感染症の予防に努めます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) - ① 希望されるご利用者のみ健康診断を施設にて実施します。	産業健診センターに依頼し、検診車来訪 希望者に対して健康診断を実施しました。今年度は、成人病予防の観点からHBA1cの測定も追加しました。	実施できました。	来期についても産業健診センターに実施依頼していく予定。
- ② 毎月体重・血圧測定を行いません。	基本的に月末に本体、分場と分けて測定しました。	実施できました。	次年度も継続。
- ③年に1度体脂肪率測定を行いません。	健康診断受診時に体脂肪測定を行いました。	実施できました。	次年度も継続。
- ④殺菌効果のある酸性水を使用し、うがいを行なうよう支援します。	毎日の休憩時に行なっています。	実施できました。	次年度も継続。

<p>一⑤服薬管理を適切に行いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常備薬の内容の把握 ・災害時用の3日分の服薬管理（4月・10月に差し替えを行いません） 	<p>日々の服薬管理については、誤薬なく実施しています。常用薬の管理についても、ご家庭と連携を取り、把握した分については効能書の控えを管理しています。災害時の預かり分については、定期的な入れ替えを含めて実施できています。また、返却したくすりの潰れや変性が確認されたため、必要な対策を取りました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続。必需なら対策の変更も考えていく。</p>
<p>（2）－①昼食後の歯みがき支援は、コロナウイルス感染予防を徹底しながら必要な方には仕上げ磨きを行なう。</p>	<p>毎食後の歯磨きは感染対策を行いながら、ブラッシング指導内容を参考に必要な方に磨き直しを行ないました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>継続していきます。</p>
<p>一②歯科衛生士によるブラッシング指導を実施します。（6月予定）</p>	<p>6月、全員を対象に障がい者歯科の歯科衛生士によるブラッシング指導を4回に分けて個別に行いました。結果を受けて食後の歯磨きを徹底し、必要な方には磨き直しを行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続</p>
<p>一③原則全員のご利用者に成人歯科健診を実施します。</p>	<p>12/12に実施しました。その結果必要な方には医師受診を進めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続</p>
<p>（3）－①嘱託医による問診を実施します。</p>	<p>西島医院と調整し2/8に実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続</p>

<p>(4) - ①施設内のインフルエンザ流行を防ぐため、ご利用者・職員の呼びかけ、希望者に予防接種を実施します。</p>	<p>今年度は、嘱託医の西島医院と調整し10/25日実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続</p>
<p>- ②コロナウイルス感染予防のため非接触のアルコール消毒と常時マスクの着用を徹底します。(必要時以外)</p>	<p>毎日手指消毒器の清掃点検を行い、アルコール液の残量も確認した。</p>	<p>実施出来ました。コロナワクチン接種も6回と7回を実施しました。</p>	<p>次年度も継続。</p>
<p>- ③手洗いチェッカーを施設に設置し、7月、11月、3月に手洗い確認を実施します。ご利用者の皆様に正しい手洗い方法を習得していただきます</p>	<p>3回/年の手洗いチェック実施できました。手洗いが不十分な方に対してはネットやブラシを利用して洗っていただくように蛇口横に準備しました。使用後は酸性水で洗浄後乾燥させるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続</p>

実習・ボランティア

(1) 目標
① 職場体験・実習生の受け入れをします。
② ボランティアの方が楽しく作業や行事補助ができるよう配慮します。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) - ① 特別支援学校、福祉、一般学生からの実習受け入れを年間スケジュール、現場の状況から勘案し、計画的に受け入れます。</p>	<p>特別支援学校、一般学生の依頼に沿って実習の受け入れをしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>介護等体験実習について、要請に基づいて受け入れます。</p>

<p>(2) - ① ボランティアセンターと連携を取り、積極的に受け入れを行います。また、ボランティアの方との意見交換を実施して、受け入れについての改善点などを見つけ定着を図っていきます。</p>	<p>ボランティアセンターとは連絡は十分ではなかったが、現在受け入れているボランティアの方とは、意見を交換しながら活動協力をいただくことが出来ています。</p>	<p>実施しましたが、達成できなかった。</p>	<p>ボランティアセンターと連携しましたが結果に結びついておりません。引き続き取り組んでまいります。</p>
<p>- ② ボランティアの方が楽しく作業補助や行事補助が出来るように環境作りします。</p>	<p>ボランティアセンターと連携し、人材を探しました。</p>	<p>実施しましたが、達成できなかった。</p>	<p>今後もボランティアセンターと連携し、取り組んでまいります。</p>

法人広報誌

<p>(1) 目標</p>
<p>① より多くの方々にボワ・アルモニーの行事やお知らせに興味を持っていただけるよう編集します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) - ①年4回発行される法人広報誌の紙面と適宜更新されるホームページを利用して、ボワ・アルモニーで取り組んでいる活動等について、広く地域に向けて発信します。</p>	<p>ボワ・アルモニーで行った行事や日々の活動の様子、取り組みを広報誌やホームページに掲載し、お知らせすることが出来ました。特にホームページ掲載の頻度を上げていく必要があった。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>今後も、ご利用者の日常や活動、作業の様子が常にわかる様、ホームページの掲載数を増やしてまいります。</p>
<p>- ②ご利用者の個人情報に配慮し、行事を通してボワ・アルモニーのご利用者の様子を広くお知らせします。</p>	<p>個人情報等に配慮し、ホームページ、広報誌を媒体として、日々の活動等を広く、お知らせすることができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>個人情報に配慮し、日常のご利用者の活動や、特別な行事等も含め、幅広くお知らせしてまいります。</p>

虐待防止委員会

(1) 目標
① 虐待防止研修を実施しサービスの質の向上をします。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) - ①虐待防止責任者を設置し,虐待防止に取り組みます。	虐待防止責任者を設置し、虐待と思われる案件や繋がる案件について話し合いました。	実施できました。	虐待に繋がる無意識の行為について、常に話し合いができる環境を作ります。
一②虐待防止についての研修を5. 10月に実施し,職員の質の向上・人材育成を行ないます。	アルモニーや他事業所の虐待に繋がる案件等を例に挙げ、職員全員で意見交換をし、虐待に繋がらないような支援について話し合いました。	実施できました。	
一③虐待防止についてのアンケートを全職員に実施して、職員の人権意識の向上を図ります。	自身の行為や他の支援者の行為言動についてアンケートで、意識を高められるよう実施しました。	実施できました。	アンケート結果のデータを基に傾向と対策に取り組める努め、虐待0に向け取り組みます。

防災委員会

(1) 目標
① 災害時に備え、防災意識を高めていけるよう、避難訓練、点検を実施します。
② 災害などが発生して事業継続が危機的状況に陥った際に、より重要な業務への影響を最小限に抑え、できる限り迅速に業務を再開できるように、復旧対策の手立てを事前に策定するBCP計画を基本に災害時の対応を進めて参ります。 (BCPとは災害などが発生して事業継続が危機的状況に陥った際に、より重要な業務への影響を最小限に抑え、できる限り迅速に業務を再開できるように、そのための復旧対策の手立てを事前に策定しておく計画)

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) - ① 避難訓練 (火災、地震、水害被害想定) を実施します	火災、地震を想定し実施しました。また滑り台を使用した避難についても実施しました。	実施できました。	

<p>－② 起震車体験、初期消火訓練を実施します。</p>	<p>計画を立てましたが、コロナウィルスの影響により実施できませんでした。</p>	<p>着手できなかった。</p>	<p>新型コロナウイルスの状況を鑑み、消防署と相談しながら行います。</p>
<p>－③ 防災備蓄品の確認を年に1回行ないます</p>	<p>賞味期限管理を含めて実施し、新たに購入も行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>－④ 年2回、専門業者に委託し、消防設備等の点検を行ないます。</p>	<p>予定通り2回実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>－⑤ 防火管理責任者が、施設・設備の総点検を行ないます。</p>	<p>施設内の設備点検とともに防災設備および防災の視点での点検を毎月1回実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>－⑥ 自主検査チェック票（日常）[閉鎖障害等]を毎日確認、記入します。</p>	<p>本体・分場職員により自主点検を毎日実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>(2) －① BCP計画に基づいたマニュアルを作成します。 自然災害に見舞われた際、迅速に行動するために、訓練・定期的な見直しを行ないます。</p>	<p>BCP計画書を作成に着手致しました。今後は職員、ご利用者と計画に基づく訓練に結び付けて参りたいと思いません。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分。</p>	<p>有事を想定した訓練の計画を立て、実施できるよう取り組む。</p>

安全衛生委員会

(1) 目標	
①	ご利用者・職員の安全及び衛生的な環境で過ごせるための環境整備に努めます
②	感染症対策を徹底し、感染予防に努めます。
③	安全衛生に関する研修を実施し、職員の知識の向上、育成に努めます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) - ①施設内の安全、快適な環境整備を維持する為に、日々の消毒、清掃を実施します。	施設内に於いて、不要なものは処分・片付けを行い整理整頓を心掛け、清潔な環境が保たれるよう消毒、清掃に力を注ぎました。	実施できました。	次年度も継続。
(2) - ①感染症に関する適切な情報収集による早め予防対策を随時検討し、対応します。	コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルスにおける感染予防を徹底しました。発熱がない場合でも鼻水、咳、のどの痛み等の体調不良の訴えがあった際は、抗原検査を行い、早い段階での発見に心掛けました。陽性が出た際は適切に対応することができ、クラスター等は防げました。	実施できました。	次年度も継続。
- ②感染者発生時対応訓練(11月)を実施します。	コロナウイルス感染症のみならず、あらゆる感染症の発症時の対応手順を看護師を中心に取り組みました。	実施できました。	次年度も継続。

<p>(3) - ①感染症及び食中毒等の防止の対策を、内部、外部研修で実施（適宜）します。 外部研修の情報は、職員全体に周知して共有します。</p>	<p>感染症に対応する手順や発生を未然に防ぐ対策を内部研修で学びました。手指の消毒は通常の消毒液を使用し、うがいは酸性水を提供し、感染防止に取り組みました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続。</p>
--	--	-----------------	----------------

日帰りレクリエーション

<p>(1) 目標</p>
<p>① 日頃の作業を離れ、余暇活動を提供します。</p>
<p>② ご利用者が楽しく笑顔になれる時間を提供します。</p>

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) - ① 楽しい余暇活動出来るよう、みんなの会と連携し、何処で何をしたいか話し合い、実施します。</p>	<p>みんなの会と連携して、何処で何をしたいか話し合いました。多数決で行きたい場所を決定し、実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>—② ご利用者の意見や状態を把握し、皆さんが楽しめる企画を検討します。</p>	<p>バーベキューやスイーツバイキングなどの企画を検討しました。</p>	<p>実施できました。</p>	
<p>(2) - ① 心身のリフレッシュを図れる企画を立て、実施します。</p>	<p>スカイウォークや、スイーツバイキングなどを実施しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>日帰りレクリエーションにおいて、晴天の予定で計画を立てたため、楽しめなかった行程もあったので、天候不良を想定した屋内でできる企画も検討します。</p>

内部研修

(1) 目標
① 虐待防止研修を実施しサービスの質の向上をします。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) - ①内部研修として虐待防止についての研修を10月に実施し、職員の質の向上・人材育成を行ないます。	全職員に虐待自己点検シートをアプリケーション通じ、アンケートをとり、虐待に繋がる状況や環境、メンタルについて意識できるよう取り組みました。身体拘束についての内部研修を行い、ご利用者が不穏時の対応について深く議論しました。	実施できました。	

2023年度 ボワ・ミニヨン 年間総括

1. 支援部門

【ボワ・ミニヨン】

(1) 目標
①生活リズムに合わせた支援、余暇活動を充実します。
②eラーニングの積極的活用と目標共有面接を通して職員育成を行います。
③事業継続計画、他マニュアルの立案・見直し、各種訓練を実施します
④安定した事業継続のための職員確保や介護機器の導入を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
1-① 日中活動や余暇活動などの個別活動に合わせた食事の提供や入浴の時間割等を行います。	出勤時間に合わせ朝食提供を6:30に行いました。余暇活動に合わせた夕食提供を行いました。 入浴時間は日々の在寮者に合わせて順番に声掛けを行いました。	実施できました	
1-② カラオケレクや外食、クリスマス会など、ご利用者が一体となって楽しめる余暇活動を行います。	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルスの流行により、当初予定していたホームごとの余暇活動は、8月以降の活動を中止しました。	実施できませんでした	
1-③ 個別の余暇活動では外出日や外出先について、関係先との連絡調整を行います。	青年学級、ドレミのなかま、プール活動や電車鑑賞などの外出時に、ご家庭やご本人と連絡を取り合い、ヘルパーの手配や活動日時の調整を行いました。	実施できました	
2-① 主任が中心となりeラーニングの年間計画に沿って研修の実施と報告会を行います。	年間で4テーマのeラーニング研修の受講と研修報告の作成を通じて、知識を学び定着する取り組みを進めました。シフト勤務の都合上、報告会の開催には至りませんでした。職員会議内での研修報告についても実施できないことがありました。	概ね実施できました	

<p>2-② 年3回以上の目標共有面接を行い、年度目標を管理者、職員双方で計画し、達成状況についての確認を行います。</p>	<p>正規職員を対象に行いました。 1回目を5～6月に行い、目標、計画を共有しました。 2回目を9～10月に行い、目標達成に向けた行動の進捗状況を確認しました。 3回目を2～3月に行い達成状況について確認しました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>2-③ 東京都社会福祉協議会階層別研修、グループホーム世話人研修など、各種研修に参加します。</p>	<p>東京都社会福祉協議会階層別研修（チームリーダー研修）や東京都グループホーム制度説明会、東京都障がい者グループホーム従事者人材育成事業研修等、各種研修をオンライン受講しました。また、主任・指導職層はコーチング／メンタルヘルス等の研修をオンライン受講しました。研修後は報告書の回覧や職員会議を通じたフィードバックを行うことで、内容の周知を図りました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>3-① 11月のマニュアル見直し月間を中心とし、年間を通してマニュアルの立案見直しを行います。</p>	<p>11月に支援マニュアルの上書き作成を中心に、マニュアルの見直しを進めました。各種マニュアルも多岐にわたり、管理の在り方の見直しの必要が出ました。</p>	<p>概ね実施できました</p>	
<p>3-② 初期消火訓練、地震・火災避難訓練、救急救護訓練(AED訓練)、無線電話訓練を行います。</p>	<p>5月に初期消火訓練及び停電時の電源確保訓練、6月、10月に避難訓練をそれぞれ実施しました。9月の救急救護訓練(AED訓練)避難訓練については、コロナ感染拡大の時期と重なり、中止としました。無線電話訓練も同時に実施した他、身の守り方や避難についてご利用者と確認しました。</p>	<p>概ね実施できました</p>	

<p>4-① webでの求人を継続して行います。派遣や紹介会社を通した職員募集を行います。</p>	<p>株式会社リレイティブに依頼し、エンゲージやインディードなどのwebサイトで通年募集を行いました。 リレイティブには人材紹介の依頼も行いました。 正規職員、有期職員ともに採用できましたが、目指す採用人数には至りませんでした。</p>	<p>概ね実施できました</p>	
<p>4-② 入浴時や移乗時に支援をサポートする機器を導入します。</p>	<p>入浴リフトの導入検討のために福祉機器展で機器の情報を集めました。 東京都の補助金事業「障害者支援施設等デジタル技術等活用支援事業」を利用して入浴リフトを購入しました。 導入したことで浴槽への出入り等の支援がご利用者だけでなく、職員も安心、安全なものになりました。</p>	<p>実施できました</p>	

2023年度 短期入所であい 年間総括

1. 支援部門

【であい】

(1) 目標
①生活リズムに合わせた支援をします。
②利用目的に沿った支援をします。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>1-① ご家庭、通所先（日中活動先）と連携し、精神面や体調面における、ご本人の状態把握に努め、安心して安全に過ごせる支援や環境作りをします。</p>	<p>服薬の確認等、必要に応じて、ご家庭や通所先と連絡を取り合いました。事故等なく、安全に過ごすことができました。 また、初めてであいのショートステイを利用された方については、家庭からの引継ぎのほか、通所先などほかの利用事業所に情報提供を求めながら、支援マニュアルの作成を進めました。少しずつ利用にも慣れ、安全に過ごすことができました。</p>	<p>実施できました</p>	

<p>1-② 定時の検温など、健康観察を行います。体調に変化が見られる時や薬についての確認など、必要に応じてご家庭、通所先（日中活動先）、その他関係機関と連携することで、迅速で適切な対応をします。</p>	<p>健康など、必要な情報は連絡帳や電話などを通じて通所先と共有を図りました。利用されたご利用者は安定して過ごされている様子でした。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>1-③ 入浴時や移乗時に支援をサポートする機器を導入します。</p>	<p>入浴リフトの導入検討のために福祉機器展で機器の情報を集めました。 東京都の補助金事業「障害者支援施設等デジタル技術等活用支援事業」を利用して購入しました。 リフトを導入したことで入浴調整をすることも少なくなりサービス提供が広がりました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>2-① グループホーム入居など将来の生活に向けた取り組みを支援します。</p>	<p>ご家庭との連絡において、将来の生活への見通しに関するお話を伺う機会がありました。ご本人及びご家庭が安心してショートステイを利用できることがまず第1歩である事を共有しながら、家庭連絡等をふくめた支援にあたっています。</p>	<p>概ね実施できました</p>	
<p>2-② レスパイトケアを通して、ご家庭や保護者の生活を支援します。</p>	<p>ショートステイの予約がすぐに埋まってしまう都合上、個別の事案についての対応はしかなるものの、ご家庭に安心してご利用いただけるよう取り組むことで、レスパイトケアにつながっています。</p>	<p>概ね実施できました</p>	

2023年度 児童支援部 年間総括

部門別年間総括

1. 支援部門

【全体】

(1) 運営方針
①安心、安全な活動ができる場を提供します。
②いろいろな人との関わりや、発達段階に応じた楽しい遊びを提供します。
③遊びを通して社会性を育みます。
④児童支援部の各事業所が連携し、円滑な運営を行います。
(2) 目標
①児童一人ひとりに寄り添った支援を行います。
②職員は専門的な視点で発達や成長を捉え、質の高い支援や活動を提供します。
③児童の障がいや特性に合わせて、サービス提供を行います。
④ご家庭、学校、地域との連携に積極的に取り組みます。
⑤収支のバランスを整えます。

計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) -① 一人ひとりの得意/不得意、好き/苦手を理解し、持っている力を十分に発揮し活動できる環境を整えます。	児童一人ひとりの好みや得手不得手を把握し、対応や活動設定の工夫をしました。こだわりや、切り替えの難しさなど生活に困難が見られるときは、できるだけこだわりの原因（きっかけ）になる事象を取り除くと同時に、原因の分析や統一した対応を検討し、試行しました。環境を整えることで、不適切行動のきっかけが減り、活動や行動に落ち着きがみられることもありました。	実施できました	次年度も継続します
(1) -② 遊びや活動、人との関わりを通して、安心してチャレンジできる環境を整えます。	年間を通じてクッキングや制作など様々な活動を設定し、いろいろな素材に触れることや経験をすることを大切にしました。活動内容を分かりやすく伝え見通しを持てることや職員からの励ましや適切な介助をすることで、安心してチャレンジできる環境を工夫しました。連絡帳やアンケートを通じて「楽しかった」という意見を多く聞くことができました。	実施できました	次年度も継続します

<p>(2) -① 児童の表情や様子だけでなく、環境や前後の状況、言葉かけのタイミングや内容など多角的な視点で、行動のきっかけや原因を探り解決策を考えます。</p>	<p>日々の打ち合わせや振り返り、職員会議等の中で児童の行動についての気づきを職員間で共有しました。周囲の環境や言葉かけに対する反応について集めた情報をもとに、行動のきっかけや原因を探りました。思い当たる（考えられる）原因を減らすなど、対応を工夫し、行動の変化を観察しながら改善に向けて取り組みました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>
<p>(2) -② 児童の「今」を大切にすると同時に、将来必要となる力にも目を向けて活動や支援を考えます。</p>	<p>児童の要求を受け止め、「願いがかなった、自分が尊重された」という自己肯定感を感じられる関りや支援をすると同時に、必要な場面では待つことや我慢をすることも経験できるような対応を工夫しました。自己決定や自己選択についても、選択決定できる環境を整えつつ、選択範囲が広がり過ぎないように、一定の範囲を考え対応しました。可能な範囲の中で満足できることも大切にしました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>
<p>(2) -③ 研修やケースカンファレンスを通して、障がいや個人についての理解を深めます。対応や手立てについても、専門的な視点を持って検討します。</p>	<p>年二回、外部講師による心理研修（カンファレンス）を行い、直面している対応課題について学びました。障がい特性や固有感覚について理解を深め、個人の感覚世界を理解した上で対応や手立てを検討しました。ケースカンファレンスや相談支援のモニタリング対応の際は、「できることや苦手なこと」だけでなく、個人の状態を把握したうえで「見立て」や「具体的な対応」についても伝えることを意識しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>

<p>(3) -① 3事業所を学年で分けることで、生活年齢を意識した活動やサービスを提供します。</p>	<p>体力や興味、その年代で必要な経験や取り組みについて検討し、活動を設定しました。戸外活動についても、年齢や個人の状態、体力に合わせて、時間や活動内容を工夫しました。自分でできること、選択することなどを活動に取り入れ、それぞれの年齢に合わせた「主体性」を大切にしました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>
<p>(3) -② 法人内看護師と連携し、医療的ケアが必要な児童が利用しやすい環境や体制を整えます。</p>	<p>生活介護の看護体制が整った時は、やや安定した利用をすすめることができました。看護師の離職や、生活介護事業所の看護ニーズの高まりにより、児童の医療的ケアまで手が回らないこともあり、医療的ケア児が安定して利用する状況には至りませんでした。</p>	<p>実施しましたが結果が不十分でした</p>	<p>看護師の配置や車両借用の調整、空間の使用調整を積極的に行い、医ケア児の安定した利用に取り組みます。</p>
<p>(4) -① 保護者向け事業所見学会や保護者懇親会を実施し、学校卒業後のイメージを持つことや保護者間の交流を持つことができる場を提供します。</p>	<p>感染症の状況に配慮しつつ、事業所見学会、保護者懇親会を実施しました。見学会は多くのご希望をいただき、2回に分けて実施しました。利用している児童だけでなく、兄弟児の卒後の参考にされるご家庭もあり「見学できて良かった」「イメージを持つことができた」とのご意見を多くいただきました。懇親会だけでなく、見学会も保護者間交流の機会となりました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>

<p>(4) -② 個別面談の実施と合わせてオンラインで話を聞けるよう「おはなし広場」を開設し、個人の発達や生活に関する疑問や悩みについて相談しやすい環境を整えます。</p>	<p>各事業所で面談期間を設定し、希望者を対象に面談を実施しました。オンラインでの「おはなし広場」の利用は多くはありませんでしたが「話を聞ける場」として面談、メール、電話などのツールと合わせて幅広い選択ができる環境を整えました。話を聞くだけでも、少しの安心や次の展開に向かう力を与えられることが感じられました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>定期的に案内をしながら、相談ツールの一つとして位置づけができるようにします。</p>
<p>(4) -③ 放課後等デイサービスガイドラインの遵守及び自己評価の結果を公表します。</p>	<p>保護者、事業所双方の自己評価を実施しました。プリント、メールでの案内を複数回行い、より多くの意見を集められるようにしました。ガイドラインに沿って、まとめ、検討、公表を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>
<p>(4) -④ 下校時に児童の様子や学校での過ごし方について積極的に確認し、学校との連携した支援を行います。</p>	<p>その日の状況や体調、排泄の有無などについて、下校時に確認し、必要な対応や配慮ができるようにしました。同時に事業所で気になることについても確認し、学校と事業所での違いに気づけるようにしました。学校とギャップがあることに関しては、その原因を考え、対応を検討、工夫しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>支援会議等に積極的に参加し、情報共有や一体的な支援について検討できるようにします。</p>
<p>(4) -⑤ 関係機関との連絡会や支援会議に積極的に参加し、地域の情報を集めます。</p>	<p>設定された支援会議にはできるだけ参加するよう調整しました。時間や体制が整わない時は、担当の方と連絡をとり、資料の提供を行い、会議後には議事録を送ってもらうなどの対応で、全体像を理解したり、足並みを揃えた対応を意識しました。会議や電話連絡を通して、情報共有しやすい関係を作ることができました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>

<p>(5) -① 豊かな時間の提供を工夫しながらも、収支バランスの取れた事業所運営をします。</p>	<p>収支バランスを考え、職員の配置や稼働率を調整しました。以前より少ない職員体制で支援を行うこととなりましたが、活動内容や職員の動きを工夫し、戸外遊びや制作、クッキング活動など様々な活動の設定も大切にし、実施しました。</p>	<p>概ね実施できました</p>	<p>利用率の低下による、収入減少がありました。限られた職員でも様々な活動ができるよう工夫し、取り組みました。</p>
<p>(5) -② 法人内複数事業所契約や固定日の調整などにより利用しやすい環境を整え、稼働率の安定を図ります。</p>	<p>一人の児童がコンサールとフルール/フルールとエールの2事業所を利用できる仕組みを整え、より多くの利用受け止めができる体制を整えました。事業所間の調整を丁寧に行い、円滑な実施をすることができました。</p>	<p>実施しましたが結果が不十分でした</p>	<p>2事業所契約により一定の効果はあげることができましたが、全体的に予約の少なさがみられ、また、感染症等により利用率が低下する時期がありました。</p>

委員会年間総括

1. 虐待防止委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①虐待防止や児童の安全と権利擁護に向けて取り組みます。</p>

計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 運営会議と合わせて虐待防止委員会を開催し、虐待や身体拘束防止の検討を行います。事業所ごとの状況を把握し、情報共有したうえで適切な対応を検討し、児童支援部として共通認識が持てるようにします。</p>	<p>毎月運営会議の際、責任者が中心となり、月1回虐待防止委員会を設定し取り組みの検討、情報共有を行いました。。事業所ごとの状況の確認、検討事項の検討も合わせて行い、適切な支援について検討しました。 3か月ごとの身体拘束適正化委員会も実施し、事業所ごとの状況を確認し情報共有しました。 虐待防止研修の内容や進め方の検討を行い実施しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>

<p>(1) -② 10月、全職員を対象とした虐待防止研修を行います。権利擁護や虐待防止について学び理解を深めます。また、虐待防止チェックリストの結果をもとに、児童支援部としての対応を検討し、事業所ごとに改善方法を検討します。</p>	<p>職員会議内で全職員対象で研修を行いました。虐待防止研修前にチェックリストを実施し、集計結果を含め全職員に周知しました。回答が分かれる項目に関しては、全体の会議内で対応方法や課題の検討を行い改善策の話し合いを行いました。 研修の中では虐待防止の手引きの確認と、eラーニングにて研修を行いました。欠席者にも個別で説明を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -③ 気づきを共有できる、風通しの良い職場環境を整えます。事業所ごとの打ち合わせ等で、支援方法や関わり方などに関しても意見交換できるようにします。状況に応じて児童支援部全体の会議でも取り上げ、支援の不安や悩みを共有し、一人が抱え込まない環境を作ります。</p>	<p>事業所ごとに、支援前の引継ぎや打ち合わせを実施しました。支援の根拠を明確にし必要性を共有すると同時に、他に手立てがないかということについて、職員間で話し合い、より良い支援のあり方を工夫しました。 各事業所で検討されたことや上がった意見に関しては委員会内で議題として提案し、検討し結果の報告を全体に行いました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します</p>

2023年度 児童支援部全体 委員会年間総括

1. 虐待防止委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①事業所内での身体拘束廃止に向けた取り組みを実施します。</p>
<p>①安全確保のため、やむを得ず身体拘束をする場合の検討を行い、記録を徹底します。</p>

計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 3ヶ月に一度身体拘束委員会を開催し、身体拘束に関わる現状把握、見直し等について検討します。</p>	<p>予定通り委員会を開催し、必要な内容について確認、検討しました。個別の対応について、丁寧に情報共有し、適正についての検討を深めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

<p>(1) -② 虐待防止と合わせて身体拘束に関する研修を実施し、身体拘束廃止に向けた基本方針や取り組みに対する理解を深めます。</p>	<p>10月の虐待防止研修を合わせて、身体拘束に関する研修を行いました。車いすのベルトなど、ご本人の安全を守るためのものでも身体拘束にあたることもあるという事実を理解し、その必要性や実施についても丁寧に考えられるようにしました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -① 安全確保を目的とした身体拘束について、事業所内での定期的な見直し、改善を検討し、身体拘束適正化委員会の中でさらに検討を深めます。</p>	<p>会議において実施の状況や個人の様子、ご家庭との連絡について確認しました。定期的な見直しの中で、身体拘束ではない方法で安全を確保する方法について議論し、対応を検討しました。個人の安全を守るために必要なもの（取り組み）については、その必要性についても十分に議論しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -② 安全確保を目的とした身体拘束を行う際は、ご利用者、保護者への説明を丁寧に言い同意を得ます。また、実施の際は状況や必要性について丁寧な記録を徹底します。</p>	<p>車内での補助ベルトなど、その必要性については、児童の状況や行動を含め、丁寧にご家庭に伝え確認を行いました。自主送迎の実施など代替策も選択肢として提示し、より適切な対応についてもご家庭と検討しました。 実施については、ケアカルテにて日々の状況を記録しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

2. 安全衛生委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①児童・職員の安全及び衛生のための取り組みを実施します。</p>
<p>②事業所内の重大事故を未然に防ぐ事故予防に努めます。</p>
<p>③児童・職員が健康で快適に過ごせる施設環境を整えます。</p>

計画	実施状況	評価	今後の課題
----	------	----	-------

<p>(1) -① 運営会議と合わせて安全衛生委員会を開催し、児童・職員の安全衛生及び労務環境についての検討、整備を行います。</p>	<p>月に一度、安全衛生委員会を実施し児童の健康状態や職員の健康、労務環境について検討、情報共有しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -② 11月、全職員を対象とした感染症研修を実施し、感染症予防、衛生環境についての理解を深めます。</p>	<p>11月に、全職員を対象とした感染予防研修を実施しました。感染症対応マニュアルの確認を中心に行い、必要な対策について周知しました。各事業所に設置している、感染症対応セット（吐物処理セット）の内容を確認し、必要時には迅速に対応できるよう整えました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>引き続き、基礎的な知識や実践的な技術を学べるような研修を工夫します。</p>
<p>(2) -① 事業所内でのひやりはっとなについて検証、必要な対策を講じることで重大事故を予防します。</p>	<p>それぞれの事業所で気づいたひやりはっとなや安全衛生に関わることについて、安全衛生委員会の中でも検討し、必要な対応について、職員会議で周知できるようにしました。社会的にニュースになった事故についても、自事業所に置き換えて危険やリスクについて検討し、事故防止に努めました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>ひやりはっとなの抽出方法を工夫し、より安全な支援ができるよう検討します。</p>

<p>(2) -② 事故検証では、直接的な要因だけでなく背景となる要因にも目を向け、環境改善を含めた再発防止に努めます。</p>	<p>事故発生の際は、各事業所で原因、対策について検討しました。児童に関わる事故については、本人の行動特性や得たい刺激、支援のあり方、空間環境などさまざまな視点から検証し、解決策を模索しました。安全衛生委員会の中でもさらに深め、再発防止に努めました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -③ 防犯研修や訓練、マニュアルの整備等を行い、防犯に対する意識を高めます。</p>	<p>研修やマニュアルの整備には至りませんでした。不審者の侵入などの際に、児童、職員の安全を守ることを堂について話をし、意識を持てるようにしました。社会的な事件や事故についても情報を集め、防止や抑止への意識を高めました。</p>	<p>概ね実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) -① 定期的に設備や備品、玩具等の安全を確認します。</p>	<p>備品や玩具の点検を定期的実施し、破損や不具合がみられるものについては適切に修理、破棄しました。備品や玩具の破損による事故は発生しませんでした。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(3) -② 定期的な換気や季節に合わせた温度湿度に配慮し、健康に快適に過ごせる環境を整えます。</p>	<p>感染症に気を付け、定期的な室内の換気や温度調節を行いました。感染症の対応については市や保健所とのやり取りをしながら適切な対応ができるよう努めました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>感染症対応については、学校等の対応に準じた対応ができるよう検討します。</p>

3. 防災委員会

(1) 目標
①災害に備え、避難訓練を実施し、職員・児童の防災意識を高めます。
②消火訓練、応急救護訓練、AED研修を実施します。
③災害備蓄品の適正な管理や補充を行います。

計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) -① 火災想定 of 避難訓練、地震想定 of 避難訓練を1回ずつ、1週間を通して実施します。	火災（5月）、地震（1月）を想定した避難訓練を実施しました。一週間を通して設定することで多くの児童、職員が避難訓練に参加し安全意識の向上に努めました。	実施できました。	年間予定、連絡帳、広報、HPなどで保護者へお知らせをしています。周知しきれていない様子があるので周知のあり方について検討します。
(1) -② 避難訓練の振り返りを行い、必要な備品や人の動きを確認し、適切な防災環境を整えます。	訓練実施後に各事業所ごとで振り返りを実施しました。備品や避難のあり方を再検討し、実際に避難が必要な場面でスムーズな避難ができるよう環境を整えました。実施内容については報告書を作成し次年度に活かせるようにしました。	実施できました。	次年度も継続します。
(2) -① 年間計画で日程を整え、計画的に実施します。	年間計画（児童支援部共通）で決めた日程で計画的に実施しました。年間計画、連絡帳、HPなどを通して実施状況を保護者にも周知しました。居住支援部、児童支援部合同での初期消火訓練やAEDの取り扱いについて研修形式で訓練を実施し防災、応急救護への意識を高めました。	実施できました。	次年度も継続します。

<p>(3) -① 各事業所で必要な防災備蓄の確認をします。賞味期限を確認し、無駄なく消費、追加をします。また、備蓄内容についてリスト化し、分かりやすく管理します。</p>	<p>各事業所ごと必要な防災備蓄品の確認を進めました。賞味期限を確認しながら、活動の中で（おやつ、昼食など）無理なく消費してからの購入を進めました。備蓄内容、消費期限リスト化し見やすいところに掲示するなどして管理しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
--	---	-----------------	-------------------

4. 送迎委員会

(1) 目標
①安全な送迎を実施します。
②災害や事故に備え、マニュアルの作成や災害対応訓練を実施します。

計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 半年に一度の定期点検を行います。また各事業所での走行前点検を行い、安全に走行できるような車両を整備します。</p>	<p>各事業所で半年点検、車検を実施しました。また送迎実施前には全車両点検を行い、安全に走行が行えるように車両の整備を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -② 運転者チェックリストや健康確認等、運転者の適正を確認し、安全に送迎業務を行います。</p>	<p>運転手の健康確認や適正については運転手に直接確認を行いました。運転手からの申し出により勤務日の変更や運転車両を限定するなど、安全な送迎が行えるように努めました。</p>	<p>実施しましたが、結果が不十分でした。</p>	<p>次年度も継続します。運転者チェックリストの整備を行う。運転前の健康確認を行えるツールを整備する。</p>

<p>(1) -③ 運転者は、交通ルールを遵守し安全な走行に努めます。</p>	<p>送迎実施中の人身事故・違反はなく、交通ルールを遵守した安全な送迎が実施できました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -④ 車内では児童の座席配置に配慮し、安全に乗車できるようにします。</p>	<p>乗降順や児童同士の相性や特性を考慮して座席を配置しました。また、置き去り防止装置を全車両に設置し、児童の置き去りが無いようにしました。車内での大きなトラブル・事故はなく、安全な送迎が実施できました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -① 事故時におけるマニュアルを整備し、迅速な対応ができるようにします。</p>	<p>事故対応マニュアルを各事務所に設置しており、いつでも閲覧できる環境を整えています。年に1度、災害対応訓練の際に確認をし、事故が起きた際に迅速な対応ができるように努めました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -② 災害時に備え、実際に車両を運行させた災害対応訓練を実施し、適切な判断ができるようにします。</p>	<p>年に1回、送迎に関わる職員（運転手、添乗員）を対象にして、災害対応訓練を実施しました。実際に車両を走行させ、安全確保と連絡の訓練を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

5. 広報委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①広報誌にて、児童支援部の取り組みや活動の様子を広く伝えます。</p>
<p>②ホームページを活用し、活動の様子や必要な情報を発信します。</p>

<p>計画</p>	<p>実施状況</p>	<p>評価</p>	<p>今後の課題</p>
-----------	-------------	-----------	--------------

<p>(1) -① 広報発行に合わせて、原稿を構成し地域や保護者に向けて活動の様子や取り組みを紹介します。</p>	<p>今年度の広報発行（4月、7月、9月、1月）に合わせて、原稿のテーマを受けて記事を作成しました。事業所ごとの活動の様子や取り組みを写真を使用して紹介することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(1) -② 写真使用について、毎年、個人情報同意書にて同意の有無について確認をします。個人情報の取扱いに厳重に注意します。</p>	<p>写真使用について同意があるご利用者のみ掲載するように広報誌やホームページを作成しました。広報発行前、HP掲載前には決裁にて内容や写真の使用可否の確認を行いました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -① 保護者会資料や年間予定など、必要な情報をホームページ上で確認できるようにします。</p>	<p>ホームページの児童支援部専用ページにおいて、保護者会資料や年間予定などの情報提供を行いました。また、法人ホームページにて2023年度児童支援部事業所自己評価集計及び検討結果を掲載しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>
<p>(2) -② 事業所での活動について、定期的に記事を投稿しお知らせします。</p>	<p>各事業所ごとに定期的にホームページの記事を作成し、更新をしました。活動の様子を写真を交えて紹介することができました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します。</p>

6. 苦情解決委員会

<p>(1) 目標</p>
<p>①利用児童、保護者、地域からの苦情や要望に対して、適切な対応を検討します。</p>

計画	実施状況	評価	今後の課題
----	------	----	-------

<p>(1) -① 苦情や要望の内容を正確に把握できるよう丁寧な聞き取りを行い、適切な対応を検討します。</p>	<p>年間を通して苦情の発生はありませんでした。要望については傾聴姿勢を意識し、丁寧に話を聞くと同時に、具体的な要望を確認し、事業所としてできることとできないことを明確にお伝えしました。会議にて情報を共有し統一した対応ができるよう整えました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します</p>
<p>(1) -② 苦情、要望、相談については、迅速に対応します。</p>	<p>寄せられた要望、相談については、職員、主任、園長など対応職員について判断し、時間をあけずに対応しました。判断の内容についても全体で共有し、ズレのない対応を心掛けました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します</p>
<p>(1) -③ 苦情の内容や対応の経過、検討結果について、必要に応じて情報開示できるように、透明性の高い対応をします。</p>	<p>苦情の発生はありませんでしたが、苦情につながりそうな事故については苦情解決第三者委員会へも報告しました。委員会でいただいたご意見を活かし、より良い対応やサービスを工夫しました。求めがあった場合には当事者へも開示できる内容で報告書を作成しました。</p>	<p>実施できました。</p>	<p>次年度も継続します</p>

1. 支援部門

【ボワ・コンサール】

(1) 目標

①一人ひとりの障がい特性や発達、性格を理解し、個人に合わせた適切な対応をします。

②安心できる環境の中で、好きな遊びや得意な遊びに取り組み、楽しい時間を過ごせるようにします。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
<p>(1) -① 個人の発達の段階や特性を理解し、成長を促せるよう適切な支援を検討・実施します。研修やケースカンファレンスを通して、多角的に個人を理解し柔軟な視点で支援を検討します。支援方法の根拠を明確に持ち、統一した対応ができるようになります。</p>	<p>好きなことや興味を持てることを探りながら、活動や関りを工夫しました。好きな遊びをじっくりと楽しんだり、好きなことをきっかけに、職員や友達とのコミュニケーションをとることを楽しみました。友達や職員、集団を意識できるような活動も取り入れ、「友達と遊ぶこと」「みんなで楽しむこと」ができるよう工夫しました。ごっこ遊びやすごろく、トランプ、ビンゴ大会等集団遊びを楽しむ様子が多くみられました。児童同士のトラブルには、職員が介入し、解決することやトラブルに繋がらない遊び方を経験しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>個人の障がい特性の理解や成長を促す支援について、更に専門的な視点で支援ができるようになります。</p>
<p>(1) -② 児童一人ひとりの得意や苦手を把握し、「見て分かる」「単語で分かる」「行動で伝える」など、個人にとって分かりやすい方法で情報を伝えます。文字や視覚的な手がかりなど様々なツールを工夫し意思表示をしやすい環境を整えます。</p>	<p>個人に合わせた言葉の量や視覚的な手がかりの使用など、分かりやすい情報の伝え方を工夫しました。言葉の影響を受けやすい児童に対しては、なるべく言葉を減らし、耳からの情報に振り回されない対応を心掛けました。また、玩具カードや文字盤の使用、言葉やジャスチャーなど、伝えたいことをできるだけ正確に伝えることや受け止められることができるよう支援しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>相手にしっかりと伝わる情報の伝え方や受け止め方を工夫し、できるだけ正確に気持ちの疎通ができるよう工夫します。</p>

<p>(1) -③ 児童の思いを理解し、寄り添いながらも善悪については明確に伝えます。気持ちをしっかりと受け止めていることを伝えつつ、意志を貫くための激しい行動に対しては揺れない対応をすることで信頼関係を築きます。信頼関係をもとに、気持ちを伝え方やより適切な行動を促し、成功体験を増やします。</p>	<p>表現される感情や表出される行動の本質を理解しつつ、表現や表出の方法については適切に行えるよう支援しました。「善い/悪い」「できる/できない」ことを端的に明確に伝え、納得を促しました。職員の反応を伺うような行動については揺れない対応をし、適切な関係を築きました。気持ちを適切に伝えられる環境や関係を整えました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>個人の思いや気持ちを受け止め、尊重しつつ、気持ちや意志の伝え方については、その適正さについても伝えることができるよう支援します。</p>
<p>(1) -④ 行動のきっかけや原因となる事象や環境について丁寧に分析します。複合的な要因を視野に入れ、対応や環境を工夫します。視点や対応についてPDCAを繰り返しより精度の高い分析を目指します。不適切な行動につながる要因を減らすことで、持っている力を十分発揮して生活できるよう支援します。</p>	<p>行動前、行動中、行動後の様子を丁寧に観察し、本人がどのような結果（効果）を得ているのか分析をすることを大切にしました。「注目」「感覚」など、同時に複数の結果（効果）を期待している行動も多く、不適切な行動で得られるものを最小限にできるよう対応を工夫しました。必要に応じて、刺激の少ない場所で個別の活動設定をするなどし、穏やかな気持ちで遊びや人との関りを楽しむ経験を積めるようにしました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>児童の様子を丁寧に観察し、行動のきっかけや本人が得ようとしていることを正しく把握し、適切な対応（支援）ができるようにします。</p>
<p>(2) -① 一日の活動の中で動きのある遊びと、ゆっくりじっくり楽しむ遊び、また集団で楽しむことと、少人数で安心して過ごせることを、バランスよく行えるよう活動や環境を設定します。</p>	<p>一日の活動を2チームに分け、「戸外遊び」「室内遊び」を交互に設定しました。戸外では職員体制を整え、安心して好きな遊びを楽しめるよう活動を行いました。室内の人数も半数になることで、集中して自分の好きな遊びに取り組める環境を整えました。個人の興味や得意なことに合わせて、活動場所を設定するなど、遊びやすさを考えることを大切にしました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>大人数でも安心して、満足して遊べる環境や活動設定を工夫します。</p>

<p>(2) -② 一人ひとりの興味やできることを把握し活動に取り入れ、楽しめることや自信を持って取り組めることを大切にします。同時に、苦手なことに対しても取り組みやすい環境や「できそう」と思える設定、安心できる人からの励ましを工夫し、チャレンジすることを大切にします。</p>	<p>個人の好みや得手不得手を把握しながら活動や遊びを設定し、遊びやすい環境を整えました。個人の様子を観察し、どのような感覚をどのように楽しんでいるかを知り、遊びを提案しました。遊びを通して「楽しむ」「チャレンジする」「合わせる」などの経験ができるよう活動内容や支援を工夫しました。遊びの中で得られる達成感や満足感を大切にし、褒める、認めるなどの方法で気持ちに寄り添える支援を行いました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>チャレンジしやすい環境や関りを工夫し「やってみよう」と思えることを大切にします。職員らの働きかけだけでなく、児童を同士の刺激（自分もやってみよう！と思えること）も大切にします。</p>
<p>(2) -③ 児童がしっかりと力を使う（発揮する）場面を設定し、児童自身が「がんばった！できた！」と感じられるような経験を増やします。個人の力が最大限に発揮できるよう「やりすぎない、やらないすぎない支援」を検討し、実施します。がんばったことやできるようになったことを褒められる（認められる）経験を通して、多くの満足感や達成感を得られるよう支援します。</p>	<p>活動の中に仕事を設定し全員が取り組むことを大切にしました。「今日の工作は何？」と楽しみにしている児童も多く、意欲的に取り組む姿がみられました。「見本を見て一人で作る」「職員が説明をして作業する」「職員が手添えて作業する」など、児童に合わせて取り組み方や支援量を調整し、達成感や満足感を得ることを大切にしました。日常生活の中でも「自分でできること」を見極め、「やってみよう！」と思える環境を整えました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>「持っている力をしっかりと使う」「正しくエネルギーを使う」ことを計画的に活動に取り入れ、本人ががんばったと思えることで褒められることを大切にします。</p>

2023年度 ボワ・フルール 年間総括

1. 支援部門

【ボワ・フルール】

(1) 目標

①一人ひとりの気持ちに寄り添い、個人に合わせて適切な支援をします。

②安心して活動できる環境を整え、遊びながら社会性を育みます。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1)-① 障がい特性や発達段階を理解し、一人ひとりにあった適切な支援をします。ケース検討会議を通して児童の様子、行動の背景を正確に捉え支援方法の検討、振り返りを実施し児童が穏やかに楽しく過ごせるようにします。	特性や発達段階を踏まえ、ケース検討会議や支援前の打ち合わせを行いました。児童の様子や行動の背景などを探りながら支援方法の検討、共有に努め統一した支援に繋がりました。	実施できました	
(1)-② 興味のあることに集中して取り組む時間と、集団活動で皆と一緒に取り組む活動をバランスよく設定します。	エアポリンやフィットネスシーズンなどの集団活動と興味のあることに集中して取り組む活動をバランスよく設定しました。児童の興味、関心があることについても職員間で共有し、楽しく過ごせる環境を整えるなど工夫して取り組むことができました。	実施できました	
(1)-③ 得意や苦手を職員間で共有し、遊びの幅や他者との関係性を拡げていけるよう支援方法の検討、工夫をしていきます。苦手なことにも遊びを通して無理なく挑戦し成功体験を重ねていけるように支援します。	児童が苦手なことなどについても職員間で共有し、無理なく挑戦できる環境を整えました。必要に応じて職員が間に入り苦手なことにも遊びながら挑戦し、成功体験を重ねることで自信に繋がりました。失敗に繋がってしまう場面でも、次は頑張れるような関わりを続けました。	実施できました	
(1)-④ 安心、安全に活動できるように施設設備、玩具の整理整頓、清掃、感染症予防（消毒、換気など）に努め衛生的な環境を整えます。	玩具、扉、窓、送迎車の車内などの清掃、消毒、換気を徹底し、施設の美化衛生や感染リスクの軽減に努めました。遊具は定期的に点検し安全に使用できるようにしました。食事、おやつを食べる時の距離や座席に配慮し感染防止に努めました。	実施できました	

<p>(2)-① 身の回りのこと、できることは自分で最後までやりきることを大切にします。できたことを認められる、褒められる経験を重ね、達成感を味わい他者との適切な関わりを支援します。</p>	<p>必要に応じて職員が手伝いながらも、身の回りのことやできることは最後までやりきることを大切にしました。できたことやお手伝いをしたことは褒められたり、感謝される経験を重ねることで達成感や次の意欲に繋がりました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(2)-② 季節に合わせた制作やクッキングを年間スケジュールに沿って計画的に実施します。作る、食べることを通して達成感を味わい、友達と協力する経験を大切にします。また、児童が主体となり相談しながらやりたいことを決定し、活動に取り入れます。自分たちで活動を決めることで楽しみや達成感に繋がります。</p>	<p>年間計画に沿って、季節の制作やクッキングを実施しました。制作は、季節を意識できる内容や自然物を取り入れながら日本の風習も感じられるようにしました。児童が「どこまでできるか」を見極めながら集中して取り組める環境を整えました。クッキングでは皆で協力して作る体験を味わいました。夏休み中には昼食（焼きそば）作りや買い物（おやつ）、水遊び、夏祭りなど夏休みにしかできない活動を設定し楽しみました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(2)-③ 移籍対象の児童が、移籍後も安心して楽しく活動できるように、環境を整え情報を共有しながら必要な支援を継続します。児童の気持ちを受け止め、相手に認められる経験を重ね信頼関係を築きます。</p>	<p>児童の移籍に関しては、移籍前の利用や個別支援計画などを利用し情報共有をしながら引き継ぎを行いました。新しい環境でも移籍児童が安心して楽しく過ごせるように気持ちに寄り添いながら信頼関係を築きました。</p>	<p>実施できました</p>	
<p>(2)-④ 安心、安全に活動できるように施設設備、玩具の整理整頓、清掃、感染症予防（消毒、換気など）に努め衛生的な環境を整えます。</p>	<p>支援前後に保育室の清掃、整頓を行いました備品や玩具についてもアルコール消毒を行い衛生的な環境を整えました。活動中にも保育室の換気を心がけ感染症予防に努めました。</p>	<p>実施できました</p>	

1. 支援部門

【ボワ・エール】

(1) 目標
①一人ひとりが、安心して楽しく過ごせるように支援します。
②社会性を育む支援を行います。

(2) 計画	実施状況	評価	今後の課題
(1) -① 一人ひとりの障がいや行動の特性、心と体の状態を理解し、個々の気持ちに寄り添った支援を行います。行動の背景を含め、不適切な行動の要因となり得ることの検証を行い支援の手立てや環境の設定を検討・実施します。	支援前に職員間で一日の活動の内容、支援での留意点や個人に関する振り返りを行い、情報共有をしました。対応方法で迷うことや困っていることに関しては、職員会議や打ち合わせで具体的にどのような対応をしていくかを全体で検討し、実施しました。全体で検討することで、職員が共通の認識をもって支援することができました。	実施できました	次年度も継続します。 障がい特性を理解したうえで、適切な支援ができるようにしていきます。 見える行動だけでなく、行動の背景を探り具体的な支援方法を見つけていきます。
(1) -② 活動の中で、体を動かす活動や、のんびりリラックスした気持ちで過ごせること、集団で活動することをバランスよく設定します。	集団活動、個別活動をバランスよく提供しました。制作、クッキングなどの行事を設定し、季節を感じたり、みんなで協力しながら取り組むことを大切にしました。 外出などについても、それぞれの体調等を考慮して活動の組み立てをしました。	実施できました	A部門児童とB部門児童が一緒に過ごしているため、体調面には留意し各個人にとって無理の無い活動の提供をしていきます。
(1) -③ 活動の狙いや目的を明確にし、児童の特性に合わせた活動を提供します。	室内活動の制作やクッキング、夏休みには夏休み用の制作を用意し、季節行事を意識した活動設定を行いました。手先に意識を向け、作業に集中しやすくなるように環境整備を行いました。同じ制作物でも児童の個々の特性に合わせて作業工程を見直しを行い、適切に取り組めるように工夫をしました。屋外活動では散歩を積極的に取り入れ、屋外の空気に触れ、季節を感じながら体を動かす機会を多く設けることができました。	実施できました	次年度も継続します。 引き続き児童の個々の特性に合わせた作業工程の見直しを行い、適切に活動に参加できるようにしていきます。

<p>(1) -④ 医ケア・肢体不自由児の支援の充実を図ります。体を動かすこと、体をほぐすこと、リラックスできる環境を整えます。体を動かしたり様々な感触に触れたりすることを通して、心の動きを感じながら感情を豊かに表現できる支援をします。</p>	<p>看護師の体制により、吸引を必要とする児童の受け入れが年間を通して継続的にできませんでした。医療的ケア児の受け入れに関しては、まだ制限のある状態がありましたが、スポットでの対応の場合は花の家の看護師の協力を受け、受け入れができました。車いす利用の児童も外に出て全体の活動に参加したり、車いすから降りてリラックスできる時間も設定しました。クッキングや制作も行い、みんなと一緒に活動することも大切にしました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。医療的ケア児・肢体不自由児の安定した利用ができるよう受け入れ体制を整えていく必要があります。体調面に留意しながら、様々な刺激や感覚を楽しめる活動の提供を検討していきます。</p>
<p>(1) -⑤ 季節の制作やクッキングを年間のスケジュールで計画し、季節を感じることを、伝統行事に触れる機会を大切にします。手先を使って集中すること、様々な感触に触れる経験、他児と協力することを通し、満足感や達成感を味わいます。</p>	<p>年間予定に沿って実施しました。クッキングは感染防止対策をしながら、なるべく個人で工程を進められるような手順にしたり工夫しながら実施しました。季節に合わせて制作をしたり、外の活動も夏は水遊び、冬は氷を触ったりと季節を感じられる活動を意識して設定しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。年間計画に沿って活動設定を行います。季節感を取り入れながら満足感や達成感を味わえる活動設定を行います。</p>
<p>(1) -⑥ 玩具や備品の整理整頓と衛生管理を徹底し、安心・安全な活動ができるよう環境を整えます。</p>	<p>支援前後に保育室の清掃、感染予防として備品のアルコール消毒を行いました。また使用する玩具についてもアルコール消毒をしながら破損や危険がないか確認し、安全に使用できるようにしました。保育室内も、車いすでも動きやすいようにレイアウトの変更を適宜行い保育室内での移動や活動スペースを有効に使えるように工夫しました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。保育室内の環境整備、衛生管理については継続していきます。全ての児童が安全に過ごせるような環境を整えていきます。</p>

<p>(2) -① 集団活動を通して、周りに合わせる力を身に付けられるようにします。自分ペースで物事を進めるだけでなく、周囲の意見を聞くこと、全体で話し合っただけでなく、納得して合わせることの経験を積めるようにします。</p>	<p>児童の呼称や介助時の留意点を確認し、生活年齢に応じた対応を心掛けました。 個人の課題も理解しながら声掛けの工夫や集団に合わせて活動するための支援の手立てを検討して情報共有しました。児童一人一人の力を伸ばしていくことを大切に、身の回りのことができるようにそれぞれに合わせた支援をしました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>定期的に児童の呼称については確認を行い、職員一人一人が意識をもって接することができるようにします。 職員が先行してやってしまうことが多くなってしまったため、児童が行動を獲得・定着できるように支援を検討し必要な支援をしていきます。</p>
<p>(2) -② 身の回りのことを自身で行う意識付けを行い、できることを増やし、定着できるようにします。個人が持つできる力を伸ばす支援を行っていきます。</p>	<p>各自で荷物の管理ができるよう、必要に応じて職員から声掛けを行いました。また、排泄時や更衣時にも自分で出来ることは自分で、必要に応じて職員に声を掛けられる環境を整えました。更衣の際の協力動作などについても本人の動きに職員が合わせることでお互いの負担を軽減させることができました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>次年度も継続します。 自身で出来る事を大切に、必要な場面で適切に助けを求められる環境整備を引き続き行っていきます。</p>
<p>(2) -③ 困ったこと、不安なことなどの自分の気持ちを周囲に伝え、解決できた・対処できたことの経験を積み重ね、対処する力や気持ちをコントロールする力を身に付けていけるようにします。</p>	<p>活動で内容を決める時や、児童同士で相談し合う時に、児童の意思を確認しながら「どのようにしたらよいか」を考えられるよう、複数の選択肢や決定の仕方を提案しながら児童自身が選択・決定することを大切にしました。 行動の問題があった時は、その理由を確認し、児童が自身の行動を振り返れるようにしました。感情や行動を言語化しながら、気持ちに寄り添いつつ正しい行動を促す支援をしました。</p>	<p>実施できました</p>	<p>学校の行事や年度の変り目など様々な要因で気持ちの波が生じることもあるため、行動の背景を含めて適切な対応をその都度検討して対応できるようにしていきます。 行動や感情を言語化し、気持ちに共感し、望ましい行動を伝えていきます。</p>